日本語 PrintServer Software for OpenVMS

インストレーション・ガイド

AA–PM1UC–TE

1996 年 2 月

本書は，日本語 OpenVMS オペレーティング・システムが稼動中のコンピュータに，日本語 PrintServer Software for OpenVMS をインストールする方法について記述します。

改訂/更新情報:	改訂ドキュメントです。
オペレーティング・システム:	日本語 OpenVMS VAX V5.5-2 以降 日本語 OpenVMS Alpha V1.5 以降
ソフトウェア・バージョン:	日本語 PrintServer Software V5.1 for OpenVMS

日本ディジタル イクイップメント株式会社

1996 年 2 月

本書の著作権は日本ディジタル イクイップメント株式会社 (日本 DEC) が保有しており，本書中の解説および図，表は日本 DEC の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本 DEC は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

日本 DEC は，日本 DEC または日本 DEC の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

© Digital Equipment Corporation Japan 1996.

All Rights Reserved.
Printed in Japan.

以下は他社の商標です。

PostScript は日本および各国で登録されたアドビシステムズ社の商標です。
UNIX は X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
AIX および IBM は，米国 International Business Machines 社の商標です。
HP， HP-UX，および LaserJet は米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
Microsoft， Windows および Windows NT は米国 Microsoft 社の商標です。
NetWare および Novell は米国 Novell 社の商標です。
OSF/1 は米国 Open Software Foundation 社の商標です。
SCO は米国 Santa Cruz Operations 社の商標です。
Sun および SunOS は米国 Sun Microsystems 社の商標です。
その他のすべての商標および登録商標は，それぞれの所有者が保有しています。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき xi

1 インストレーションの準備

1.1 インストレーションの種類 1–1
1.2 インストレーションにかかる時間 1–2
1.3 特権 1–2
1.4 ディスク空間 1–3
1.5 必要なハードウェア 1–3
1.5.1 プリンタに必要なメモリ 1–4
1.6 必要なソフトウェア 1–4
1.7 ソフトウェア・キットの内容 1–5
1.8 リリース・ノートの確認 1–6
1.9 インストレーションを実行するための必要条件 1–6
1.9.1 論理名の確認 1–6
1.9.2 ユーザ識別コード 1–7
1.10 システム・ディスクのバックアップ 1–7

2 日本語 PrintServer Software のインストレーション

2.1 ソフトウェアのインストレーション 2–1
2.2 VMSINSTAL のエラー 2–10
2.2.1 メッセージの形式 2–10
2.2.2 重大度レベル 2–11
2.2.3 メッセージの説明 2–11

3 PrintServer プリンタの構成

3.1 LPS$ADD_PRINTSERVER.COM の起動 3–5
3.1.1 DECnet ノード名 3–5
3.1.2 PrintServer プリンタのタイプ 3–5
3.1.3 DECnet アドレス 3–6
3.1.4 サービス・サーキット 3–6
3.1.5 Ethernet ハードウェア・アドレス 3–7
3.1.6 ネットワーク・データベース情報の要約 3–8
3.1.7 構成情報のまとめ 3–9
3.1.8 プリンタ・パスワード 3–10
3.1.9 PrintServer のフロント・パネル言語の選択 3–11
3.1.10 アカウンティング機能 3–11
3.1.11 イベント・ロギング機能 3–12
3.1.12 イメージ・インタプリタ 3–12
3.1.13 DECnet アクセスの制限 3–13
3.1.14 Internet ノードからのアクセスの提供 3–14
3.1.14.1 Internet アドレス 3–14
3.1.14.2 Internet サブネット・マスク 3–15
3.1.14.3 Internet ゲートウェイ・ノード・アドレス 3–15
3.1.14.4 Internet アクセスの制限 3–15
3.1.15 SNMP (シンプル・ネットワーク・マネージメント・プロトコル) 3–16
3.1.16 構成情報の保存 3–18
3.2 LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM の実行 3–19
3.3 LPS$FONTKEY の起動 (ポストスクリプト・レベル 2 のみ) 3–20
3.3.1 DECnet ノード名 3–21
3.3.2 フォント・キーの入力 3–21
3.4 マネージメント・デーモンの停止/再起動 (アップグレードのみ) 3–23
3.5 サポーティング・ホスト・サービスを有効にする 3–24
3.5.1 スタートアップ・ファイルを有効にする — スタンドアロン・ノード 3–25
3.5.2 スタートアップ・ファイルを有効にする — VAXcluster ノード 3–26
3.6 複数のサポーティング・ホストの構成 3–26
3.7 NETSETUP データベースの変換 (アップグレードのみ) 3–27

4 PrintServer プリンタのブート

4.1 概要 4–1
4.2 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのブート 4–1
4.3 日本語 turbo PrintServer または日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのブート 4–3
4.4 日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタのブート 4–6
4.5 問題の判断と報告 4–6

5 マネージメント・クライアント機能について

5.1 マネージメント・クライアントのオプション 5–2
5.1.1 ノード名オプション (-N) 5–2
5.1.2 構成サービス・オプション (-C) 5–2
5.1.3 ログ・オプション (-L) 5–3
5.1.4 アカウンティング・オプション (-A) 5–3
5.1.5 オプション・ファイルの例 5–4
5.1.6 オプション・ファイルの変更 5–4
5.2 構成ファイル 5–5
5.2.1 構成ファイルのコマンド 5–6
5.2.1.1 Accounting コマンド 5–8
5.2.1.2 Logging コマンド 5–8
5.2.1.3 Ps-error-trace コマンド 5–8
5.2.1.4 Printername コマンド 5–8
5.2.1.5 Password コマンド 5–8
5.2.1.6 Variant kanji コマンド 5–9
5.2.1.7 Language コマンド 5–9
5.2.1.8 Allowdn コマンド 5–10
5.2.1.9 Denydn コマンド 5–10
5.2.1.10 Ipaddress 5–10
5.2.1.11 Subnetmask コマンド 5–10
5.2.1.12 Gateway コマンド 5–11
5.2.1.13 Allowip コマンド 5–11
5.2.1.14 Denyip コマンド 5–11
5.2.2 構成ファイルの変更 5–12
5.2.3 異なったパスワード 5–12
5.3 デフォルト・ファイル 5–13
5.3.1 デフォルト・ファイル (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア) 5–13

5.3.2 デフォルト・ファイル (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア) 5–17
5.3.3 デフォルト・ファイルの変更 5–21
5.3.3.1 デフォルト・ファイルおよびシステム・パラメータ・ファイルの編集 5–23
5.3.4 PCL パラメータの変更 5–24
5.3.4.1 PCL デフォルト・ファイルの編集 5–25
5.3.4.2 PCL サンプル・ファイルの印刷 5–26
5.4 リソース・ローディング・ファイル 5–26
5.4.1 テキスト・トランスレータのプロローグ・ファイル処理 5–26
5.4.2 リソース・ローディング・ファイルの変更 5–27
5.4.3 リソース・ローディング・ファイルの格納場所 5–28
5.5 セットアップ・ファイル 5–28
5.6 その他 5–29

6 PRISM (Printer Status Manager) およびコンソール・クライアント機能について

6.1 PRISM (Printer Status Manager) によるネットワーク上のプリンタの監視 6–1
6.1.1 PRISM の起動 6–2
6.1.2 PRISM へのプリンタの登録 6–2
6.1.3 プリンタの状態の確認 6–3
6.1.4 プリンタ状態の監視 6–4
6.1.5 表示枠の変更 6–4
6.1.6 PRISM のチェック回数の指定 6–4
6.1.7 プリンタ・リストとウィンドウ設定の保存 6–4
6.1.8 プリンタ・リストとウィンドウ設定のリストア 6–5
6.2 リモート・コンソール・クライアントの起動方法 6–5
6.3 HELP ファイルの提供 6–8
6.4 リモート・コンソール・クライアントへのブロードキャスト・メッセージ 6–8
6.5 リモート・コンソール・クライアントのタブ設定 6–9
6.6 コンソール・クライアント・コマンド 6–10
6.6.1 コンソール・クライアント・コマンドの入力方法 6–10
6.6.2 help の使い方 6–10

6.6.3 非特権コマンド 6–12
6.6.3.1 Configuration コマンド 6–12
6.6.3.2 Exit または Quit コマンド 6–12
6.6.3.3 Jobs または Showq コマンド 6–13
6.6.3.4 Netstat コマンド 6–13
6.6.3.5 Permissions コマンド 6–13
6.6.3.6 Status コマンド 6–14
6.6.3.7 Versions コマンド 6–15
6.6.4 コンソール・クライアントの特権コマンド 6–15
6.6.4.1 Abort コマンド 6–16
6.6.4.2 Accept コマンド 6–16
6.6.4.3 Continuous コマンド 6–16
6.6.4.4 Exit または Quit コマンド 6–16
6.6.4.5 Newfile コマンド 6–17
6.6.4.6 Next コマンド 6–17
6.6.4.7 Reconfigure コマンド 6–17
6.6.4.8 Reject コマンド 6–18
6.6.4.9 Repeat コマンド 6–18
6.6.4.10 Single コマンド 6–19
6.6.4.11 Reboot コマンド 6–19

7 アカウンティング機能について

7.1 構成ファイルの設定 7–1
7.2 マネージメント・クライアントの設定 7–1
7.3 アカウンティング情報 7–2
7.4 アカウンティング・ユーティリティの起動 7–2
7.5 アカウンティング・ユーティリティの起動例 7–2
7.6 ジョブが強制終了した場合のアカウンティング処理 7–3

8 問題解決の手順

8.1 プライマリ・ブート・プロシージャが失敗する 8–2
8.1.1 ステップ 1: サポーティング・ホストの論理名の確認 8–2
8.1.2 ステップ 2: ネットワーク・イベントの監視 8–2
8.1.2.1 DECnet Phase V MOP のチェック 8–4
8.1.2.2 NCP データベースのチェック 8–4
8.1.2.3 サービス・サーキットのチェック 8–5
8.1.2.4 ネットワーク・イベントの報告機能を有効にする 8–6

8.1.2.5 OPCOM メッセージのチェック 8–7
8.1.2.6 ネットワーク構成のチェック 8–9
8.1.2.7 プリンタがブートされたかどうかの判断 8–9
8.1.2.8 リモート・ブート・サービスのシャットダウン 8–11
8.1.3 ステップ 3: ハードウェア接続のチェック 8–11
8.2 セカンダリ・ブート・プロシージャが失敗する 8–12
8.2.1 Phase V DECnet アドレスの追加のチェック 8–12
8.2.2 構成サービスのチェック 8–13
8.2.3 マネージメント・クライアント・ステータス (LPS$SERVICES) のチェック 8–13
8.2.4 マネージメント・クライアント接続のチェック 8–14
8.2.5 マネージメント・クライアントのバージョンのチェック 8–15
8.2.6 マネージメント・クライアントの再起動 8–15
8.2.7 PrintServer プリンタのイベント・ログ・ファイル 8–16
8.3 PrintServer プリンタをブートした後，クラッシュが発生した 8–18
8.4 プリンタは“Ready”状態になるが，印刷を実行しない 8–18
8.4.1 Internet アクセスの制限 8–19
8.4.2 DECnet アクセスの制限 8–19
8.4.3 プリント・キューが設定されていない 8–20
8.5 日本語が正しく印刷されない (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェアのみ) 8–20
8.5.1 フォント・キー 8–21
8.5.2 マネージメント・クライアント接続チェック 8–21

A インストレーション・セッションの例

B インストレーションで追加されるファイル

B.1 ユーティリティ・ファイル B–1
B.2 情報ファイル B–2
B.3 実行可能ファイル B–3
B.4 ポストスクリプト・ファイル B–7
B.5 リモート・コンソール機能ヘルプ・ページ (ファイル) B–8
B.6 データ・ファイル B–9
B.7 日本語フォント V3.0 . . . . . B–10

C Ethernet ハードウェア・アドレスの確認

C.1 はじめに C–1
C.2 オペレータ・パネルでの Ethernet ハードウェア・アドレスの確認 C–1
C.3 日本語 PrintServer 40 Plus の Ethernet ハードウェア・アドレス C–2
C.3.1 操作手順 C–3

D PostScript プリンタ・ソフトウェアの関連資料

D.1 日本語 PrintServer Software for OpenVMS D–1
D.2 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS D–1
D.3 ポストスクリプト・ドキュメント D–2
D.4 その他の PostScript プリンタ関連ドキュメント D–2
D.5 日本語 ULTRIX PrintServer クライアント・ユーザーズ・ガイド D–2

索引

例

5–1 デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア) 5–14
5–2 デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア) 5–18
A–1 インストレーションの例 A–1
A–2 オプショナル・フォント・インストレーションの例 A–5

図

6–1 リモート・コンソール機能 — DECWindows 6–6
6–2 リモート・コンソール機能 — コマンド・ライン 6–7

表

1–1 ソフトウェアをインストールするのに必要なハードウェア 1–4
3–1 構成データ 3–2
5–1 PCL パラメータ 5–24
B–1 システム・ファイル B–10
B–2 ユーザ・ファイル B–10
B–3 ファイル・システム・サポート・ファイル B–11
B–4 エンコーディング・ファイル B–11
B–5 キャラクタストリング・ファイル B–12
B–6 PG フォント・ファイル B–13
B–7 PG フォント・サポート・ファイル B–13
B–8 ベースフォント・ファイル B–14
B–9 コンポジット・フォント B–16
B–10 コンポジット・フォント・サポート・ファイル B–17

まえがき

本書は，日本語 PrintServer Software V5.1 for OpenVMS および次のメジャー・プロダクト・リリースまでの，すべてのメンテナンス・リリースに適用されます。

対象読者

本書は，システム管理者に対して，日本語 PrintServer Software for OpenVMS のインストレーションの方法を説明します。本書を読めば，インストレーションが正しく実行されたかどうかを確認し，問題を解決し，システム・ファイルを必要に応じて変更することができます。

本書を参照する場合には，インストレーション・ユーティリティ (VMSINSTAL)，ネットワーク制御プログラム (NCP)，および基本的な OpenVMS VAX および OpenVMS Alpha システム管理プロシージャを十分理解しておく必要があります。

日本語 PrintServer Software for OpenVMS を DECnet/OSI (DECnet Phase V) が稼動しているシステムにインストールする場合は，ユーザはネットワーク制御言語 (NCL) を十分理解しておく必要があります。

本書の構成

本書は，インストレーションの説明 (第 1 章 ~ 第 4 章)，本製品の機能概要 (第 5 章 ~ 第 8 章)，および 4 つの付録で構成されています。

- 第 1 章 — インストレーション前の準備について説明します。
- 第 2 章 — インストレーションの操作について説明します。
- 第 3 章 —PrintServer プリンタを構成する方法について説明します。
- 第 4 章 —PrintServer プリンタのブートについて説明します。

- 第 5 章 — マネージメント・クライアント機能の概要について説明します。
- 第 6 章 — コンソール・クライアント機能の概要について説明します。
- 第 7 章 — アカウンティング機能の概要について説明します。
- 第 8 章 — 問題解決の手順について説明します。
- 付録 A— インストレーション・セッションの例を示します。
- 付録 B— インストレーションで追加されるファイルの一覧を示します。
- 付録 C—Ethernet ハードウェア・アドレスの確認方法について説明します。
- 付録 D—PrintServer プリンタ・ソフトウェアの関連資料を示します。

関連製品

以下は DEC の PrintServer ファミリ・プリンタの関連ソフトウェア製品です。

日本語 PrintServer ソフトウェア for DEC OSF/1 AXP システム
日本語 PrintServer ソフトウェア for HP-UX
日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS
PrintServer Software for IBM AIX
PrintServer Software for Microsoft Windows NT
PrintServer Software for NetWare
PrintServer Software for SCO UNIX
PrintServer Software for SCO UNIX/DECadvantage
PrintServer Software for Solaris
PrintServer Software for SunOS
PrintServer Software for ULTRIX

表記法

OpenVMS AXP オペレーティング・システムは OpenVMS Alpha に名称が変更されました。

本書では以下の表記法を使用します。

表記法	意味
英大文字	OpenVMS コマンドの名前，ファイル，およびユーティリティは大文字で示されます。しかし， OpenVMS コマンドは大文字で入力しても，小文字で入力してもかまいません。
斜体	斜体は，例の中で適切な単語または値に置き換えなければならない要素を示します。
太字	太字のテキストはポストスクリプト・オペレータを示します。オンライン・ディスプレイの場合には，太字のテキストは例の中のユーザ入力も示します。
[ ]	大括弧は構文の中で省略可能な項目を囲みます。
Ctrl/x	例の中で，Ctrlキーを押した状態で，同時に別のキーを押さなければならないことを示します。たとえば，Ctrl/Zと示します。
Return	このシンボルは，Returnキーを押さなければならないことを示します。
『 』，「 」	参照文献を示します。二重かぎ括弧で示されたマニュアルは，本ソフトウェアのドキュメント・キットに含まれています。

注意

ユーザ入力 (太字) の最後にはReturnキーが省略されています。必ずReturnキーを押してください。省略時設定を選ぶときは，Returnキーのみを押してください。

1

インストレーションの準備

この章では，日本語 PrintServer Software をインストールするために準備しておかなければならない情報と，コンピューティング環境について説明します。

1.1 インストレーションの種類

本プロダクトでは，3 種類のインストレーション (ベース・インストレーション，オプショナル・フォント・インストレーション，フル・インストレーション) が選択できます。 VMSINSTAL プロシージャを起動すると，以下のメッセージが表示されます。

```
        1.  Base Installation
        2.  Optional Kanji Fonts Installation
        3.  Full Installation (Base + Optional Kanji Fonts)
        4.  Exit
* Please select installation type [1]:
```

1. 日本語 PrintServer 32 シリーズ，日本語 turbo PrintServer，日本語 PrintServer 40 Plus，および日本語 PrintServer 17/600 プリンタをブートおよび管理するだけで，オプショナル・フォントを購入される予定のない場合は，1 番を選択してください。
2. ポストスクリプト・レベル 2 搭載のプリンタをお持ちで，オプショナル・フォントを購入され，オプショナル・フォントのみをインストールされる場合は，2 番を選択してください。この場合，すでにベース・インストレーション (1 番) を行っていることを前提としています。

3. ポストスクリプト・レベル 2 搭載のプリンタをお持ちで，オプショナル・フォントを購入された，または購入される予定の場合は，3 番を選択してください。 3 番では，他のプリンタもブートおよび管理することができます。

注意

ポストスクリプト・レベル 1 搭載のプリンタでは，オプショナル・フォントをサポートしていません。

本バージョンでは，日本語 PrintServer 40 (LPS40-AJ) はサポートされません。

1.2 インストレーションにかかる時間

インストレーション操作を実行するのに必要な時間は，使用するメディアのタイプ，システム構成およびインストレーションの種類に応じて異なりますが，20 分から 40 分くらいかかります。

1.3 特権

このソフトウェアをインストールするには，少なくとも以下の特権が必要です。

- SYSPRV
- SETPRV
- CMKRNL
- WORLD

VMSINSTAL プロシージャでインストレーション操作を開始する時点では，BYPASS 特権は禁止された状態になっています。

1.4 ディスク空間

日本語 PrintServer Software をインストールするのに必要なディスク空間は，インストレーションの種類によって異なります (第 1.1 節参照)。

1.	ベース・インストレーション	71,000 ブロック
2.	オプショナル・フォント・インストレーション	57,000 ブロック
3.	フル・インストレーション	125,000 ブロック

現在のディスク空間の使用状況を表示するには， SHOW DEVICE コマンドを使用します。たとえば，システム・ディスクにソフトウェアをインストールする場合には，以下のコマンドを入力してください。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

ソフトウェアは，システム・ディスク以外のディスクへもインストールできます。

1.5 必要なハードウェア

表 1–1 は，日本語 PrintServer Software をインストールするのに必要なハードウェアを示しています。

表 1–1　ソフトウェアをインストールするのに必要なハードウェア

項目	説明
PrintServer プリンタ	以下のタイプの PrintServer プリンタを 1 台以上接続できます。 日本語 PrintServer 40 Plus 日本語 turbo PrintServer 日本語 PrintServer 32 シリーズ (第 1.5.1 項を参照) 日本語 PrintServer 17/600 (第 1.5.1 項を参照)
Ethernet コントローラ	サポーティング・ホスト・システム構成には，Ethernet 上のトランシーバに接続されている Ethernet コントローラが必要です。サポーティング・ホストは，PrintServer プリンタと同じ Ethernet ネットワークに存在しなければなりません。[1]
入力装置	サポーティング・ホスト・システム構成には，以下のいずれかのソフトウェア・ディストリビューション・メディアにとって適切な入力装置が必要です。 • TK50 カートリッジ • CD-ROM

[1] ブート要求をフィルタしないローカル・エリア・ネットワーク (LAN)・ブリッジによって 2 つの Ethernet が接続されている場合には，PrintServer プリンタはサポーティング・ホストと異なる Ethernet に接続できます。第 8.1.2.6 項を参照してください。

1.5.1　プリンタに必要なメモリ

日本語 PrintServer 17/600 および日本語 PrintServer 32 plus では，最低でも 24M バイトのメモリが必要です。

1.6　必要なソフトウェア

サポーティング・ホスト・システムは，日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム V5.5-2 以降のバージョン，もしくは日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V1.5 以降のバージョンを実行していなければなりません。

日本語 PrintServer Software を実行するシステムでは，DECnet 機能を実行していなければなりません。日本語 PrintServer Software は，OpenVMS DECnet Phase V ノードへもインストールできますが，PrintServer プリンタは DECnet Phase IV ノードでなければなりません。

リモート・コンソール機能をウィンドウ・モードで実行するには，DECwindows Motif for OpenVMS バージョン 1.1 が必要です。

1.7 ソフトウェア・キットの内容

日本語 PrintServer Software は，6 つのセーブ・セットにパッケージされています。

セーブ・セット名	内容
LPSJ051.A	インストレーション・プロシージャ リリース・ノート ヘルプ・ファイル PostScript™(ポストスクリプト) ファイル ユーティリティ
LPSJ051.B	PrintServer 実行ファイルおよびシステム・ファイル
LPSJ051.C	OpenVMS VAX プラットフォームのための実行ファイル
LPSJ051.D	OpenVMS Alpha プラットフォームのための実行ファイル
LPSJ051.E	日本語 PrintServer 用漢字フォント
LPSJ051.F	日本語オプショナル・フォント

メディアの番号と内容は，本ソフトウェアの納入時に添付されているリスト (BOM と BIL) に示されています。キットの内容をこの情報と照合してください。キットが破損している場合や，必要な要素が不足している場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所へ連絡してください。

1.8 リリース・ノートの確認

VMSINSTAL プロシージャを使用すれば，オンライン・リリース・ノートを印刷または表示できます。リリース・ノート・オプションを選択した後，インストレーション・ダイアログを終了し，後でソフトウェアをインストールするためにそのダイアログを再度実行できます (第 2.1 節を参照してください)。リリース・ノートは自動的に SYS$HELP ディレクトリにコピーされます。

1.9 インストレーションを実行するための必要条件

VMSINSTAL プロシージャを起動する前に，以下のことを確認してください。

- 論理名が正しく定義されているかどうか
- LPS$SERVER アカウントのユーザ定義コード (UIC) がわかっているかどうか

1.9.1 論理名の確認

以下の論理名が正しく定義されていることを確認してください。

SYSUAF
SYSUAF が定義されていない場合には，SYSUAF.DAT ファイルを示すように SYSUAF を定義してください。インストレーション操作は，SYSUAF.DAT ファイルが SYS$SYSTEM ディレクトリに登録されているものと解釈します。

```
$ SHOW LOGICAL SYSUAF
%SHOW-S-NOTRAN, no translation for logical name SYSUAF
$ DEFINE SYSUAF "file-specification"
```

LPS$SUPPORT と LPS$ROOT (アップグレードのみ)
サポーティング・ホスト・ソフトウェアをアップグレードする場合には，論理名 LPS$SUPPORT と LPS$ROOT が正しく定義されていることを確認してください。

```
$ SHOW LOGICAL LPS$SUPPORT, LPS$ROOT
"LPS$SUPPORT" = "SYS$SYSDEVICE:[LPS$SERVER]" (LNM$SYSTEM_TABLE)
"LPS$ROOT" =    "SYS$SYSDEVICE:[LPS$SERVER.]" (LNM$SYSTEM_TABLE)
```

論理名が正しく定義されていない場合は，以下のコマンド・プロシージャを実行してください。

```
$ @SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM LOGICALS
```

1.9.2 ユーザ識別コード

このシステムにソフトウェアを初めてインストールする場合には，LPS$SERVER アカウントのユーザ識別コード (UIC) を指定しなければなりません。 UIC は以下の例のように，グループ番号とメンバ番号で構成されます。

```
[group,member]
```

インストレーション・プロシージャでは， UIC の省略時の値として[477,477]が使用されます。 LPS$SERVER アカウントに対して別のグループ番号を選択する場合には，以下に示すように System Generation ユーティリティ (SYSGEN) の MAXSYSGROUP パラメータを確認してください。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN>  SHOW MAXSYSGROUP

Parameter Name           Current   Default   Minimum   Maximum Unit  Dynamic
--------------           -------   -------   -------   ------- ----  -------
MAXSYSGROUP                    8         8         1     32768 UIC   Group D
```

そして，現在の MAXSYSGROUP の値より大きい値を選択してください。

1.10 システム・ディスクのバックアップ

ソフトウェアをインストールする場合には，必ずシステム・ディスクをバックアップしてください。

各システムで設定されているバックアップの手続きに従ってください。システム・ディスクのバックアップの方法についての詳しい説明は，「VMS System Management Subkit」の Backup ユーティリティの説明を参照してください。

2

日本語 PrintServer Software のインストレーション

この章では，日本語 PrintServer Software のインストレーションの方法について，1 段階ずつ説明します。また，エラーが起きる状態についても説明しています。

2.1 ソフトウェアのインストレーション

日本語 PrintServer Software for OpenVMS をインストールするには，以下の操作を実行します。このインストレーション操作を実行しているときにヘルプが必要な場合には，いつでも疑問符(?)を入力して要求できます。インストレーション・プロシージャは，Ctrl/Y を押すことによりいつでも終了できます。Ctrl/Y を押すと，インストレーション・プロシージャはその時点まで作成したすべてのファイルを削除し，VMSINSTAL を終了します。

1. VMSINSTAL プロシージャを起動します

   インストレーションを開始するには，システム管理者のアカウントから VMSINSTAL コマンド・プロシージャを起動します。

   ```
   $ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL LPSJ051 device-name OPTIONS N
   ```

   以下のリストは VMSINSTAL コマンド・ラインの要素を定義しています。

   - LPSJ051 は，セーブ・セット名です。
   - *device-name* は，媒体を装着する装置の名前 (たとえば， MUA0:) です。
   - OPTIONS N は，オンライン・リリース・ノートに関する質問を表示するために使用します。 OPTIONS N パラメータを指定しなかった場合には，VMSINSTAL はリリース・ノートに関する質問を表示しません。インストレーションを実行する前には，リリース・ノートを確認してください。イン

ストレーションを再開した後，オンライン・リリース・ノートを再度確認する必要がない場合には，OPTIONS N を指定する必要はありません。

2. インストレーションを継続します

VMSINSTAL は，疑問符(?)を入力すれば，いつでもヘルプを要求できることを示します。すべてのアクティブ・プロセスのリストが表示されます。

```
      VAX/VMS Software Product Installation Procedure V5.5-2

It is 01-DEC-1993 at 11:07.

Enter a question mark (?) at any time for help.
%VMSINSTAL-W-ACTIVE, The following processes are still active:
        DECW$TE_1
        TWA5:
        GILROY
        DECW$WM_1
        SMITH_SM1

* Do you want to continue anyway [NO]? ?
```

インストレーションを継続するには，Yes と入力します。VMSINSTAL を終了するには，No と入力するか，または Return を押します。

疑問符(?)を入力した場合には，VMSINSTAL は以下のように，SYSTEM アカウントからのインストレーションでない場合や，他にアクティブ・ユーザがいる場合には，インストレーションが失敗する可能性があるという説明を表示します。

```
The above conditions may cause VMSINSTAL to function improperly.  In
particular, problems may occur with file ownership if you are not logged
into the SYSTEM account.  Furthermore, the existence of other processes
may lead to interactions with VMSINSTAL that cannot be anticipated.
If you continue at this point, you do so at your own risk.

* Do you want to continue anyway [NO]? Y
```

3. システム・バックアップを確認します

VMSINSTAL は，システム・ディスクのバックアップをとっているかどうかを質問します。システム・ディスクのバックアップをとっている場合には，Return を押してください。とっていない場合には，No と入力し，インス

トレーションを終了してください。その後，システム・ディスクのバックアップをとり，インストレーションを再開します。

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? ?
```

疑問符(?)を入力した場合には， VMSINSTAL は以下のように，インストレーションの前にバックアップを取ることを勧めるメッセージを表示します。

```
VMSINSTAL attempts to ensure that a power failure or system crash will
not corrupt your system disk.  However, for absolute safety we
recommend that you back it up before installing new products.  Please
see the documentation for more information on crashes during installation.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? Y
```

4. 媒体を装着します

VMSINSTAL は， VMSINSTAL プロシージャを起動したときに指定した装置に，最初のディストリビューション・ボリュームを装着するように要求します。

```
Please mount the first volume of the set on  MUA0:.
* Are you ready? Y

%MOUNT-I-MOUNTED, LPSJ051 mounted on _MUA0:.

The following products will be processed:
  LPSJ V5.1

 Beginning installation of LPSJ V5.1 at 11:09

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
```

VMSINSTAL は処理するプロダクトの名前を表示します。その後，プロダクト・セーブ・セット A の内容を展開します。最後に， VMSINSTAL はリリース・ノートに関するオプションから 1 つを選択するように要求します。

5. リリース・ノート・オプションを選択します

VMSINSTAL を起動したときに OPTIONS N を指定した場合には，オンライン・リリース・ノートを確認するためのオプションのいずれかを選択するように要求されます。どのオプションを選択した場合も， VMSINSTAL はリリース・ノートを SYS$HELP ディレクトリにコピーします。

```
    Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.

    Additional Release Notes Options:

        1.  Display release notes
        2.  Print release notes
        3.  Both 1 and 2
        4.  None of the above

* Select option [2]: 2
```

VMSINSTAL は次に，インストレーションを継続するかどうかを質問します。

6. インストレーションを継続します

```
* Do you want to continue the installation [NO]?: Y
```

インストレーションを継続するには，Yes と入力します。継続しない場合には，Return を押します。どちらの場合も，プロダクトのリリース・ノートは SYS$HELP ディレクトリの以下のファイルにコピーされます。

```
SYS$HELP:LPSJ051.RELEASE_NOTES
```

VMSINSTAL は，リリース・ノートが SYS$HELP ディレクトリに正しくコピーされたことを示すメッセージを表示します。

```
VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.
```

7. プリンタの確認をします

```
    ******************************************************************
    You are installing a JAPANESE VERSION of LPS software.  This software
    requires minimum of one Japanese PrintServer.  If you DO NOT HAVE
    Japanese PrintServer(s), please terminate this installation because
    you are installing a wrong software.
    ******************************************************************

* Do you want to continue [Y]?
```

プリンタを確認するためのメッセージが表示されます。お持ちのプリンタが日本 DEC より購入された日本語 PrintServer であれば，問題はありませんので Return を押してください。

8. インストレーションの種類を選択します

```
 1.  Base Installation
 2.  Optional Kanji Fonts Installation
 3.  Full Installation (Base + Optional Kanji Fonts)
 4.  Exit

* Please select installation type [1]:
```

1. 日本語 PrintServer 32 シリーズ，日本語 turbo PrintServer，日本語 PrintServer 40 Plus，および日本語 PrintServer 17/600 をブートおよび管理するだけで，オプショナル・フォントを購入される予定のない場合は，1 番を選択してください。
2. ポストスクリプト・レベル 2 搭載のプリンタをお持ちで，オプショナル・フォントを購入され，オプショナル・フォントのみをインストールされる場合は，2 番を選択してください。この場合，すでにベース・インストレーション (1 番) を行っている事を前提としています。
3. ポストスクリプト・レベル 2 搭載のプリンタをお持ちで，オプショナル・フォントを購入された，または購入される予定の場合は，3 番を選択してください。 3 番では，他のプリンタもブートおよび管理することができます。

注意

ポストスクリプト・レベル 1 搭載のプリンタでは，オプショナル・フォントをサポートしていません。

9. ファイルをパージします

```
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? Y
```

VMSINSTAL は，このインストレーションによって置換されるファイルをパージするかどうかを質問します。なるべくパージするようにしてください。しかし，前のバージョンのファイルを保存しなければならない場合には，この質問に対する応答として， No と入力してください。

疑問符(?)を入力した場合には，VMSINSTAL は以下の説明を表示します。

```
During this installation, new files will be provided to replace
existing versions.  You may purge these older versions to save
disk space, or keep them if you feel they may be of use.  Purging
is recommended.
```

アップグレードの場合には，"12. 情報メッセージを確認します" へ進んでください。

初めてインストレーションを実行する場合には，VMSINSTAL プロシージャは引き続き以下の質問を表示します (10. と 11.)。

10. LPS$SERVER アカウントのユーザ識別コード (UIC) を入力します

この質問は，ソフトウェアをこのシステムへ初めてインストールする場合にのみ表示されます。

省略時の UIC をそのまま使用することができ，適切な範囲で適切な形式の UIC を選択することもできます。

システムは UIC を選択するために以下の情報を表示します。

```
This installation will create an account named LPS$SERVER.
The UIC of this account will be used by the management client process
to provide the PrintServer with its secondary boot files and to
create event log and accounting files on this supporting host system.

You must specify a unique UIC for this account. In order to maintain
proper system security, please choose a UIC with a group number that does
not give the account system privileges.

Enter the UIC for LPS$SERVER account (include brackets)
[[477,477]]: Return
```

この質問に対する応答として Return を押した場合には，省略時の UIC である[477,477]が使用されます。

11. LPS$SERVER ディレクトリの省略時のディスク装置を入力します

この質問は，このシステムへのソフトウェアのインストレーションが初めての場合にのみ表示されます。

省略時のディスク装置 (SYS$SYSDEVICE) をそのまま使用することができ，また，独自のディスク装置を入力することもできます。

```
Enter the name of one of the disk devices available on your host system.
Be sure that the device you specify has enough free blocks.

* Enter the device name where the supporting host directory will
be created [[SYS$SYSDEVICE]]: Return
```

12. 情報メッセージを確認します

この時点で，インストレーション・プロシージャはインストレーションの進捗状況に関する情報を表示します。この後，質問は表示されません。

初めてのインストレーションの場合には
初めてインストレーションを実行している場合には，VMSINSTAL はアカウントの作成に関するメッセージを表示します。

```
%LPSJ-I-NO_MORE_QUESTIONS, No further questions will be asked during this installation.
%LPSJ-I-ESTTIME, This installation will take approximately 20-40 minutes.
%LPSJ-I-CREATE_ACCOUNT, Creating LPS$SERVER account for the PrintServer supporting host
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation creates an ACCOUNT named LPS$SERVER.
%UAF-I-ADDMSG, user record successfully added
%UAF-I-RDBADDMSGU, identifier LPS$SERVER value: [000477,000477] added to rights data base
%UAF-I-RDBADDMSGU, identifier LPS value: [000477,177777] added to rights data base
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named LPS$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated
%LPSJ-I-ADD_LOGICALS, Creating the LPS$SUPPORT and LPS$ROOT logicals.
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[CAT].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[SYS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[FS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[USR].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[ENCODINGS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[FSUPP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[PGFONTS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[PGFSUPP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[FONTS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[CHARSTRINGS].
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set E ...
```

インストレーションが終了すると，VMSINSTAL は以下のメッセージを表示します。

```
The installation of PrintServer Software for OpenVMS has completed successfully.
```

次に，VMSINSTAL はインストレーション後に実行しなければならないコマンド・プロシージャに関する情報を表示します。このプロシージャについては第 3 章を参照してください。

```
The installation of PrintServer Software for OpenVMS has completed successfully.

For both an upgrade and new installation, you must perform the following steps:

* Execute SYS$MANAGER:LPS$ADD_PRINTSERVER.COM for each new PrintServer printer.

* Execute SYS$MANAGER:LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM for each existing PrintServer
  printer you want to upgrade to PostScript Level 2.

* Your system-specific startup command file must call the supporting host
  startup file, SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM.

* Execute SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON.COM and
  SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM and reboot the PrintServer printers.

Failure to follow the above steps may prevent your PrintServer printers from
booting. Please refer to the PrintServer Software for OpenVMS Installation Guide
for further instructions.
```

オプション・フォントのみインストールする場合には
オプション・フォントのみインストールする場合には，かわりに以下の行が表示されます。

```
%LPSJ-I-NO_MORE_QUESTIONS, No further questions will be asked during this installation.
%LPSJ-I-ESTTIME, This installation will take approximately 20-40 minutes.
%LPSJ-I-SH_LOGICAL_EXISTS, The LPS$SUPPORT logical exists.  Assume it is correct.

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set F ...
```

インストレーションが終了すると，VMSINSTAL は以下のメッセージを表示します。

```
The installation of Optional Kanji Fonts has completed successfully.
```

次に，VMSINSTAL はインストレーション後に実行しなければならないコマンド・プロシージャに関する情報を表示します。このプロシージャについては第 3 章を参照してください。

```
The installation of PrintServer Software for OpenVMS has completed successfully.

For both an upgrade and new installation, you must perform the following steps:

* Execute SYS$MANAGER:LPS$ADD_PRINTSERVER.COM for each new PrintServer printer.

* Execute SYS$MANAGER:LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM for each existing PrintServer
  printer you want to upgrade to PostScript Level 2.

* Your system-specific startup command file must call the supporting host
  startup file, SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM.

* Execute SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON.COM and
  SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM and reboot the PrintServer printers.

Failure to follow the above steps may prevent your PrintServer printers from
booting. Please refer to the PrintServer Software for OpenVMS Installation Guide
for further instructions.
```

13. インストレーション・プロシージャを終了します

以下のメッセージは，インストレーション・プロシージャ全体が正常終了したことを示します。

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target
directories...
        Installation of LPSJ V5.1 completed at 11:33

        VMSINSTAL procedure done at 11:33
```

VMSINSTAL はインストレーションの途中で，プロセス・シンボル・テーブルのエントリを削除または変更します。したがって，システム管理者のアカウントを今後も使用し，これらのシンボルを回復したい場合には，システムからログアウトした後，再度ログインしなければなりません。

この後の操作は，ソフトウェアの構成 (第 3 章) とプリンタのブート (第 4 章) へ続きます。

2.2 VMSINSTAL のエラー

インストレーションの途中でエラーが発生すると，VMSINSTAL プロシージャはエラー・メッセージを表示します。インストレーションが異常終了した場合には，以下のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-E-INSFAIL, The installation of LPSJ051 has failed.
```

以下の状況では，インストレーションの途中でエラーが発生することがあります。

- 空きディスクの容量が不十分である
- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない
- インストレーションを正常終了するには，システム・パラメータの値が不足している
- VMS ヘルプ・ライブラリが現在使用されている

この後の項ではエラー・メッセージを示し，各問題の解決方法について説明します。

2.2.1 メッセージの形式

インストレーション・プロシージャから出力されるシステム・メッセージは以下の形式です。

```
%LPS-s-ident, text
```

ここに示したメッセージの形式では，以下のタイプの情報が表示されます。

%	すべてのプライマリ・メッセージの接頭辞
LPS	メッセージのソース指定
s	メッセージの重大度レベル
ident	メッセージ・テキストの省略形
text	メッセージの完全なテキスト

2.2.2 重大度レベル

VMSINSTAL メッセージには，以下のいずれかの重大度レベルが割り当てられています。

コード	意味	説明
S	正常終了	要求が正しく終了したことを示す
I	情報	ユーザの処置が必要な場合も，必要でない場合もある
W	警告	要求は正しく終了しておらず，ユーザの処置が必要である
E	エラー	システムで回復可能なエラーが検出された
F	回復不可能	システムで回復不可能なエラーが検出され，この要求の処理を継続することができない

2.2.3 メッセージの説明

以下のメッセージの説明は，メッセージ・コードの *ident* と *text* が，*ident* の部分のアルファベット順に並べられています。メッセージの接頭辞，ソース指定，および重大度コードは示されていません。

ADD_LOGICALS, Creating the LPS$SUPPORT and LPS$ROOT logicals.

説明: これは情報メッセージです。インストレーション・プロシージャがこれらの論理名を定義していることを示します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

BADACC, The existing LPS$SERVER account cannot be used. Please delete or repair it before reattempting the installation.

説明: インストレーション・プロシージャが，LPS$SERVER アカウントの省略時のディレクトリを見つけることができませんでした。インストレーション・プロシージャは強制終了されました。

ユーザの処置: ディレクトリをアクセス可能な状態にしてください。アクセス可能な状態にできない場合には，LPS$SERVER アカウントを削除し，インストレーション・プロシージャを再開してください。

BADUAF, Serious problem with system authorization file.

説明: システム登録ファイル (SYSUAF.DAT) を見つけることができないか，アクセスできないか，またはこのファイルを更新しようとしたときに，Authorize ユーティリティが異常終了するような問題が発生しました。

ユーザの処置: SYSUAF.DAT ファイルがアクセス可能であるかどうかを確認してください (第 1.9.1 項を参照)。このファイルが存在し，システム論理名が正しく設定されている場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所へ連絡してください。この問題が解決されるまで，ソフトウェア・インストレーション・プロシージャを正しく実行することはできません。

CREATE_ACCOUNT, Creating LPS$SERVER account for the PrintServer Supporting Host.

説明: これは情報メッセージです。 LPS$SERVER アカウントが SYSUAF ファイルに追加されたことを示します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

EXISTS, The LPS$SERVER account already exists with *device-name*:[LPS$SERVER] as its default directory.

説明: これは情報メッセージです。 PrintServer ソフトウェアの以前のバージョンが，すでにこのシステムにインストールされていることを示します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

EXTTIME, Estimated time to completion of the VMSINSTAL procedure.

説明: これは情報メッセージです。 VMSINSTAL プロシージャが終了するおおよその時間を表示します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

NO_DISK_DEVICE, Not a valid device.

説明: 指定された装置名が正しい名前ではありません。

ユーザの処置: 正しい装置名を入力してください。

NO_DISK_SPACE, PrintServer Software requires *xxxx* disk blocks for this installation.

説明: このソフトウェアをインストールするのに必要なディスク空間が十分ではありません。インストレーションを実行するには，インストレーション・デバイスに，少なくともメッセージで示された未使用ディスク・ブロックが必要です。インストレーション・プロシージャは自動的に終了します。

ユーザの処置: 少なくとも示された数の未使用ディスク・ブロックが残されているかどうかを確認し，インストレーションを再開してください。

NO_MORE_QUESTIONS, No further questions will be asked during this installation.

説明: これは情報メッセージです。この後，インストレーション・プロシージャで質問が表示されることはありません。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

NO_SH_LOGICAL, The LPS$SUPPORT logical does not exist.

説明: インストレーション・プロシージャが，アップグレードの途中で LPS$SUPPORT の論理名定義を見つけることができませんでした。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。インストレーション・プロシージャは定義を自動的に作成します。

SH_LOGICAL_EXISTS, The LPS$SUPPORT logical exists. Assume it is correct.

説明: インストレーション・プロシージャが LPS$SUPPORT の定義を検出しました。

ユーザの処置: 論理名の定義が正しい場合には，処置は必要ありません (第 1.9.1 項を参照してください)。

UIC_ENTER_UNIQUE, Please enter a unique UIC.

説明: 入力されたユーザ識別コード (UIC) の値はすでに使用されています。

ユーザの処置: 別の UIC の値を選択してください。

UIC_INUSE, The UIC you have specified is already in use.

説明: 入力されたユーザ識別コード (UIC) の値はすでに使用されています。

ユーザの処置: 別の UIC の値を選択してください。

UIC_INVALID, The UIC you have entered is invalid.

説明: ユーザ識別コード (UIC) の値を入力するときに，誤った構文が使用されました。

ユーザの処置: 正しい UIC を入力するか，または疑問符 (?) を入力してヘルプを要求してください。

UIC_PRIVILEGED, The UIC you have chosen is privileged. Please select another.

説明: 使用できないユーザ識別コード (UIC) の値が入力されました。第 1.9.2 項を参照してください。

ユーザの処置: 正しい UIC を入力するか，または疑問符 (?) を入力してヘルプを要求してください。

UPGRADE_VMS, Please install version x.x or later of OpenVMS VAX software before installing PrintServer for OpenVMS, Version 5.1.

説明: 使用中の OpenVMS VAX または OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのバージョンが，PrintServer ソフトウェアにとって必要なバージョンではありません。ソフトウェアは OpenVMS VAX バージョン 5.5-2 以降，または OpenVMS Alpha バージョン 1.5 以降を必要とします。

ユーザの処置: OpenVMS ソフトウェアを適切なバージョンにアップグレードしてください。

WRONG_VMS, PrintServer Software for OpenVMS VAX, Version 5.1 requires Version x.x or later of OpenVMS VAX

説明: ソフトウェアは OpenVMS VAX バージョン 5.5-2 以降，または OpenVMS Alpha バージョン 1.5 以降を必要とします。

ユーザの処置: オペレーティング・システムを正しいバージョンにアップグレードしてください。

3

PrintServer プリンタの構成

PrintServer プリンタをブートする前に，プリンタを DECnet データベースへ追加し，サポーティング・ホスト・サービスを設定します。この章では，これらの手続きの方法について説明します。

こんな場合は . . .	手続き	参照
初めてソフトウェアをインストールする	LPS$ADD_PRINTSERVER.COM をサポートする各プリンタに対して実行する。 LPS$STARTUP_SERVICES.COM を有効にする。	表 3–1 および 第 3.1 節，第 3.3 節 第 3.5 節
アップグレードして新しいプリンタを追加する	LPS$ADD_PRINTSERVER.COM を新しく追加する各プリンタに対して実行する。 マネージメント・クライアントを一度停止して，再起動する。 NETSETUP データベースを変換する。	表 3–1 および 第 3.1 節，第 3.3 節 第 3.4 節 第 3.7 節
既存の日本語 turbo PrintServer，日本語 PrintServer 32 プリンタをアップグレードする	LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM を既存の各日本語 PrintServer プリンタに対して実行する。 マネージメント・クライアントを一度停止して，再起動する。 NETSETUP データベースを変換する。	第 3.2 節 第 3.4 節 第 3.7 節
他の既存プリンタのためにソフトウェアをアップグレードする	マネージメント・クライアントを一度停止して，再起動する。 NETSETUP データベースを変換する。	第 3.4 節 第 3.7 節

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM を実行する前に，表 3–1 の設定を行ってください。追加する各 PrintServer プリンタ 1 つに対して，この設定を 1 回ずつ行ってください。

ポストスクリプト・レベル 2 プリンタの設定 — フォント・キー
ポストスクリプト・レベル 2 プリンタを設定する場合は，LPS$ADD_PRINTSERVER.COM を実行した後，必ず LPS$FONTKEY (フォント・キー設定プログラム) を実行してください (第 3.3 節を参照)。

ポストスクリプト・レベル 1 からレベル 2 にアップグレードする場合は，LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM を実行してから LPS$FONTKEY を実行してください (第 3.2 節を参照)。

DECnet Phase V システム
サポーティング・ホスト・システムが DECnet Phase V を実行している場合には，以下のコマンドで MOP が動いていることを確認してください (Phase IV を使用している場合は NCL は使えませんので，このステップは飛ばしてください)。

```
$ MCR NCL SHOW MOP
```

システムが以下のメッセージを返し，他にメッセージがない場合は，MOP が動いています。

```
Node 0 MOP
at YYYY-MM-DD-HH:MM:SS.578+00:00.113
```

システムがエラーを返す場合は，第 8.1.2.1 項を参照してください。

表 3–1 構成データ

必要なデータ	情報 (ここに記録してください)	参照項目
❶PrintServer の DECnet ノード名	_____	第 3.1.1 項
❷PrintServer のタイプ	_____	第 3.1.2 項
❸PrintServer の DECnet アドレス	_____	第 3.1.3 項

(次ページに続く)

表 3–1 (続き) 構成データ

必要なデータ	情報 (ここに記録してください)	参照項目
❹サポーティング・ホスト・サービス・サーキット		第 3.1.4 項
❺PrintServer の Ethernet ハードウェア・アドレス		第 3.1.5 項
❻プリンタ・パスワード		第 3.1.8 項
❼PrintServer のフロント・パネルの言語		第 3.1.9 項
❽アカウンティング機能	Yes ☐ No ☐ Reliable ☐	第 3.1.10 項
❾イベント・ロギング機能	Yes ☐ No ☐	第 3.1.11 項
❿イメージ・インタプリタ	Yes ☐ No ☐	第 3.1.12 項
⓫DECnet アクセスの制限	Yes ☐ No ☐	第 3.1.13 項
yes の場合には，アクセスが認められるノードの DECnet アドレスを指定する		
yes の場合には，アクセスが禁止されるノードの DECnet アドレスを指定する		

(次ページに続く)

表 3–1 (続き) 構成データ

必要なデータ	情報 (ここに記録してください)	参照項目
⓬Internet 接続	Yes ☐ No ☐	第 3.1.14 項
yes の場合には，PrintServer Internet アドレスを指定する		
yes の場合には，Internet サブネット・マスクを指定する		
yes の場合には，Internet ゲートウェイ・アドレスを指定する		
⓭ Internet アクセスの制限	Yes ☐ No ☐	第 3.1.14.4 項
yes の場合には，アクセスが許可されるノードの Internet アドレスを指定する		
yes の場合には，アクセスが禁止されるノードの Internet アドレスを指定する		
⓮ SNMP の制限	Yes ☐ No ☐	第 3.1.15 項
yes の場合には， - PrintServer のロケーション		
- PrintServer 管理者の連絡先		
- トラップ・メッセージの使用	Yes ☐ No ☐	
- トラップ・コミュニティ名		
- トラップの Internet アドレス		
- SNMP コミュニティ名		
- コミュニティの Internet アドレス		
- コミュニティのアクセス・モード	Read-Only ☐ Read/Write ☐	

3.1 LPS$ADD_PRINTSERVER.COM の起動

LPS$ADD_PRINTSERVER コマンド・プロシージャを起動するには，以下のコマンドを入力してください。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$ADD_PRINTSERVER
```

コマンド・プロシージャは情報メッセージを示し，次に質問を表示します。プロシージャの途中でいつでも疑問符(?)を入力することにより，ヘルプ・メッセージを表示できます。

3.1.1 DECnet ノード名

```
❶ What is the DECnet node name of PrintServer printer you want to
   add? IMPALA
```

必ず，DECnet Phase IV ノード名を入れてください。 DECnet データベースに登録したいプリンタの，DECnet ノード名を入力してください。

ノード名はネットワーク管理者が割り当てます。

形式:

DECnet Phase IV ノード名は，DECnet ネットワーク内で固有の名前でなければならず，1 ~ 6 文字の長さの英数字文字列であり，少なくとも 1 文字の英字を含まなければなりません。

DECnet ノード名は，省略時の PrintServer プリンタ名として使用されます。

3.1.2 PrintServer プリンタのタイプ

```
❷ Which type of PrintServer is IMPALA ?

 1) PrintServer 40 or PrintServer 40 Plus
 2) PrintServer 32 or turbo PrintServer PostScript level 1
 3) PrintServer 32 or turbo PrintServer PostScript level 2
 4) PrintServer 17/600

Choose the appropriate number ([no default])? 4
```

設定する PrintServer プリンタのタイプを指定してください。

3.1.3 DECnet アドレス

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM は NCP データベース内の DECnet アドレスを検索します。アドレスを検索できない場合は，アドレスを問い合わせます。

❸ What is the DECnet address of PrintServer IMPALA? **55.495**

必ず，DECnet Phase IV アドレスを入れてください。アドレスがすでに割り当てられているときは，それが省略時設定として表示されます。省略時設定を選ぶには，Return を押してください。

定義:
DECnet アドレスは，ネットワーク内の各ノードに割り当てられる，固有の 10 進整数です。 DECnet アドレスは， Ethernet ハードウェア・アドレスとは異なります (第 3.1.5 項を参照)。

DECnet アドレスは，ネットワーク管理者が PrintServer ノードに割り当てます。

形式:
アドレスの形式は以下のとおりです。

[area-number.]node-number

- *area-number* は， 1 ~ 63 の範囲の数値です。エリア番号を省略した場合には，サポーティング・ホスト・ノードのエリア番号が，省略時の設定として使用されます。
- *node-number* は， 1 ~ 1023 の範囲の数値です。

3.1.4 サービス・サーキット

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM は NCP データベース内のサービス・サーキットを検索します。サーキットを検索できない場合は，その情報を問い合わせます。

❹ What supporting host service circuit will be used to connect to IMPALA?) **SVA-0**

PrintServer プリンタからのブート要求をサービスするために使用される，サポーティング・ホスト・システムのサービス・サーキットを入力します。

形式:

サービス・サーキットの形式は以下のいずれかです。

dev-c
dev-c-u
dev-c.t
dev-c-u.t

サービス・サーキット名の各フィールドの定義は以下のとおりです。

dev	Ethernet コントローラのデバイス名
c	デバイスのハードウェア・コントローラの番号を指定する 10 進数 (0 または正の整数)
u	10 進数で表現したユニット番号またはサーキット番号 (0 または正の整数) サーキット番号はコントローラに複数のユニットが接続されている場合にだけ指定される
t	マルチポイント・サーキットの従属ステーションを識別する 10 進数 (0 または正の整数) これは従属ステーションの論理番号であり，従属ステーションをポールするために使用される従属ステーション・アドレスではない

3.1.5 Ethernet ハードウェア・アドレス

```
❺ What is the Ethernet hardware address of PrintServer
   IMPALA? 08-00-2B-05-15-F6
```

PrintServer プリンタの Ethernet ハードウェア・アドレスを入力してください。

形式:

Ethernet アドレスの形式は 6 つの 16 進数を並べたものであり，各 16 進数は 00 ~ FF の範囲です。

Ethernet ハードウェア・アドレスの確認方法

Ethernet ハードウェア・アドレスをまだ確認していない場合には， PrintServer プリンタからアドレスを確認できます (付録 C を参照)。

3.1.6 ネットワーク・データベース情報の要約

コマンド・プロシージャは，ネットワーク・データベースに追加した情報を表示します。

```
The following information will be entered into LPS$SUPPORT:LPSNETSETUP.DAT:

  1)  PrintServer Node Name:         IMPALA
  2)  DECnet Address:                55.495
  3)  Type of printer:               PrintServer 17/600
  4)  Service Circuit:               SVA-0
  5)  Ethernet Hardware Address:     08-00-2B-05-15-F6

 99) Quit without adding new PrintServer

Enter number to change (press return if data is correct): Return
```

応答	コマンド・プロシージャ
1 ~ 5	指定したデータを変更する。
99	LPS$SUPPORT:LPSNETSETUP.DAT ファイルに情報を追加することなく終了する。
Y (省略時設定)	続けて LPS$SUPPORT:LPSNETSETUP.DAT ファイルに情報を追加し，次のメッセージを表示する。 PrintServer data will be added to LPS$SUPPORT:LPSNETSETUP.DAT SYS$MANAGER:LPS$NETSETUP.COM プロシージャが起動され，ネットワーク・データベースが更新される。

サービス・サーキットを有効にする操作

コマンド・プロシージャは，PrintServer プリンタにサービスするサービス・サーキットを有効な状態に設定することを要求します。

```
Please enable the service circuits serving the PrintServer
nodes that you have just set up.  You may want to add lines
to LPS$NETSETUP.COM to enable service circuits automatically.

Please refer to the PrintServer Software for OpenVMS Installation
Guide for additional information.
```

以下のコマンドを LPS$NETSETUP.COM に追加しておけば，サービス・サーキットを自動的に有効な状態に設定できます。

```
$ MCR NCP SET CIRCUIT circuit_name STATE OFF
$ MCR NCP SET CIRCUIT circuit_name SERVICE ENABLED STATE ON
```

注意

このプロシージャは，特定のサーキット上にアクティブ・リンクを持つプロセスを中断します。

DECnet Phase V システム:
システムで NCP が有効でない場合は， NCP コマンドのかわりに NCL コマンドを使用してください。 NCP コマンドを NCL コマンドに変換する DECNET_MIGRATE ツールの使用に関しては，「DECnet/OSI Network Management Guide」を参照してください。

サービス・サーキットが有効な状態に設定されているかどうかを確認するには，以下のコマンドを入力します。

```
$ MCR NCP SHOW CIRCUIT circuit_name CHAR
```

3.1.7 構成情報のまとめ

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM プロシージャは，入力した構成情報を表示します。

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM プロシージャは次のような構成情報を表示します。

```
The following information will be entered in LPSCONFIG.IMPALA
  1) PrintServer name:              IMPALA
  2) Type of printer:               PrintServer 17/600
  3) Password:                      LPS
  4) Front panel language:          English
  5) Accounting:                    off
  6) Event logging:                 on
  7) Image interpreter:             N/A
  8) DECnet access restriction:     no
  9) Access from Internet nodes:    no
 10) SNMP:                          no

 99) Quit without saving configuration

Enter number to change (press return if data is correct): Return
```

応答	処理
変更したい項目の番号 (1 ~ 10) を入力する。以降の各項に，Internet ノードからのアクセスを有効にする方法などを説明している。	表示された情報を変更する。
99 を入力する。	構成情報を保存することなく終了する。
Return	情報を LPS$SUPPORT:LPSCONFIGDEFAULT.DAT ファイルに追加する。以降は，新しいプリンタを追加するたびに，LPS$ADD_PRINTSERVER.COM は省略時の構成情報ファイルの値を省略時の設定値として使用する。これにより，同一情報を繰り返して入力する労力を軽減している。

3.1.8 プリンタ・パスワード

❻What is PrintServer IMPALA's password [LPS]? Return

省略時のパスワードを変更したいときは，新しいパスワードを入力してください。
省略時のパスワードを使用するときは，Returnを押してください。

プリンタ・パスワードは，特権が必要なポストスクリプト・ジョブで使用します。

機能:
このパスワードは以下のことを許可します。

- 特権つきのポストスクリプト・コマンドを実行するプリント・ジョブ
- リモート・コンソール・クライアントの特権コマンドへのアクセス

詳しくは『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

3.1.9 PrintServer のフロント・パネル言語の選択

プリンタのオペレータ・パネル (フロント・パネル・ディスプレイ) に表示させたい言語を選択します (この質問は，日本語 PrintServer 40 シリーズのプリンタでは表示されません)。

```
The next question asks you to choose the language to be displayed on
the PrintServer nn front panel.

The languages you may choose from are the following:

   Dutch
   ...
   Spanish
   Swedish

❼ What language would you like to display on the
PrintServer nn front panel [English]? Return
```

注意

フロント・パネル言語では，日本語はサポートされていません。

3.1.10 アカウンティング機能

```
❽Do you want accounting enabled (Y=on, N=off, R=reliable [N])? Y
```

PrintServer プリンタが，アカウンティング情報を受信できるように設定されているすべてのサポーティング・ホストに対して，その情報を提供するかどうかを選択します。

この質問に対するオプションは以下のとおりです。

オプション	説明
On	アカウンティング・データを送信する。
Off (省略時の設定)	アカウンティング・データを送信しない。
Reliable	アカウンティング・データは送信するが，マネージメント・クライアントがデータを受信するように設定されていないときは，印刷を停止する。

3.1.11 イベント・ロギング機能

❾`Should PrintServer IMPALA enable event logging (Y/N [Y])? Y`

以下のように， PrintServer プリンタでイベント・ロギングを有効に設定するかどうかを選択します。

オプション	説明
On (Y) (省略時の設定)	プリンタはイベント・メッセージを受信するように設定された各サポーティング・ホストにメッセージを送信する。
Off (N)	プリンタはサポーティング・ホストにイベント・メッセージを送信しない。

3.1.12 イメージ・インタプリタ

DDIF2 値イメージを PostScript レベル 1 プリンタで高速に印刷するイメージ・インタプリタをインストールするときは， Y と入力します。

この質問は，日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタまたはポストスクリプト・レベル 2 を搭載しているプリンタを構成している場合は表示されません。

イメージ・インタプリタを使用すると，300dpi の DDIF2 値イメージを，日本語 turbo PrintServer プリンタなら毎分 20 枚，日本語 PrintServer 32 プリンタなら毎分 28 枚印刷できます。

イメージ・インタプリタにアクセスするには，システムが日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS V1.2 以上を実行している必要があります。

```
The Image interpreter provides faster printing
of DDIF compressed images on the PrintServer 32 and turbo PrintServer 20
printers that load PostScript Level 1. Your print client software must
support the Image interpreter in order to make use of this feature.

❿ Do you want to install the Image interpreter  (Y/N [N])? N
```

3.1.13 DECnet アクセスの制限

ネットワーク構成に複数のサポーティング・ホストが含まれる場合は，PrintServer プリンタへのアクセスの制限を選ぶまえに，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

PrintServer プリンタに対するアクセスを制限する場合には，プリント・ジョブだけでなく，構成サービスなどのサポーティング・ホスト・サービスも制限されます。

```
⓫Do you wish to restrict access to PrintServer IMPALA from specific
DECnet node addresses or area numbers (Y/N [N])? ?

By default, the printer allows access to any DECnet client that
wishes to connect to it.  If you want to restrict access from
specific DECnet addresses or area numbers then answer "Y" to this
question.

If you answer "Y" to the question, then you will be asked to specify
the DECnet area numbers or DECnet addresses of nodes allowed access to
the printer and/or the DECnet area numbers or DECnet addresses of
nodes denied access to the printer.  Please see the PrintServer
Software documentation for details.

Do you wish to restrict access to PrintServer IMPALA from specific
DECnet node addresses or area numbers (Y/N [N])? Y
```

```
Enter the DECnet address or area number ALLOWED access to IMPALA.
Press return if there are none to enter []: 33

Enter the DECnet address or area number ALLOWED access to IMPALA.
Press return if there are none to enter []: Return

Enter DECnet areas and nodes that cannot access the PrintServer printer.
Use this feature to deny access to the PrintServer system from
particular nodes in a DECnet area that were previously allowed access.

Enter the DECnet address or area DENIED access to IMPALA.
Press return if there are none to enter []: 33.505

Enter the next DECnet address or area number DENIED access to IMPALA.
Press return if there are none to enter []: Return
```

3.1.14 Internet ノードからのアクセスの提供

⓬ `Do you want to provide an Internet address for PrintServer IMPALA (Y/N [N])? Y`

PrintServer プリンタが TCP/IP (Internet) ネットワークの ULTRIX または UNIX ノードからプリント・ジョブとサポーティング・ホスト・サービスを受け付けることを許可するときは，Y と入力してください。

Y と入力した場合には，以下の情報を入力する必要があります。

```
What is the Internet address of PrintServer IMPALA?
16.122.128.10

What is the Internet subnet mask for your network? 255.255.240.0

What is the address of the Internet gateway, if one is required
for accessing the PrintServer from remote clients?
Press Return if none is required: Return
```

各質問について詳しくは，以下を参照してください。

3.1.14.1 Internet アドレス

PrintServer プリンタの Internet ネットワーク・アドレスは，ネットワーク管理者が割り当てます。 Internet アドレスは 32 ビットの数値であり，通常，ピリオドで区切った 4 つの 10 進数として表現されます。以下の例を参照してください。

```
128.45.9.1
```

3.1.14.2 Internet サブネット・マスク

ネットワークのサブネット・マスクが分からない場合には，ネットワーク管理者に問い合わせてください。以下の例は Internet サブネット・マスクを示しています。

```
255.255.255.0
```

3.1.14.3 Internet ゲートウェイ・ノード・アドレス

ゲートウェイはプリンタが別の Internet からのプリント・ジョブを受け付けることを許可します。ゲートウェイ・ノードの Internet アドレスを入力してください。このアドレスはネットワーク管理者からもらってください。以下の例はゲートウェイ・ノード・アドレスを示しています。

```
128.46.33.45
```

注意

PrintServer プリンタは，ゲートウェイ・ノードの外側の Internet ノードからはブートできません。

3.1.14.4 Internet アクセスの制限

```
⓭ Do you want to restrict access to PrintServer IMPALA from specific Internet
addresses or network numbers. (Y/N [N])? Y
```

インターネット・ノードからプリンタへのアクセスを制限するときは，Y と入力してください。以下の情報が表示されます。

```
Enter the Internet address or network number ALLOWED access to IMPALA.
Press Return if there are none to enter []: 16

Enter the Internet address or network number ALLOWED access to IMPALA.
Press Return if there are none to enter []: Return
Enter the Internet address or network number DENIED access to IMPALA.
Press Return if there are none to enter []: 16.122.128.10
Enter the Internet address or network number DENIED access to IMPALA.
Press Return if there are none to enter []: Return
```

3.1.15　SNMP (シンプル・ネットワーク・マネージメント・プロトコル)

SNMP (シンプル・ネットワーク・マネージメント・プロトコル) は，多くのネットワーク管理アプリケーションでネットワーク・ノードを監視するために使用されている Internet 標準プロトコルです。 PrintServer のオプションである SNMP エージェントを有効にすることで，ネットワーク管理アプリケーションでプリンタの監視ができます。

このオプションは，日本語 PrintServer 40 シリーズでは使用できません。

```
The next question asks if you would like to enable SNMP (the Simple
Network Management Protocol). SNMP is a standard protocol used
by many network management applications to remotely monitor
Internet network devices.

If you answer "YES" to this question, you will be asked for additional
information required to configure SNMP.

⓮Do you want to enable SNMP (Y/N [N])? Y

Enter a text string that describes the printer's location []:
LAB IV

Enter a text string that identifies the primary contact for this
printer []: HOTLINE 555-5959
```

システムは次の情報を表示します。

```
 10 SNMP:                      yes
10a) Printer's location:       LAB IV
10b) Primary contact:          HOTLINE 555-5959
10c) SNMP trap messages:       no
10d) Add SNMP Community:       no
Current list:
public, 0.0.0.0, read

99) Quit without saving configuration

Enter number to change (press return if data is correct): 10c
```

SNMP トラップ・メッセージ

トラップ・メッセージを有効にした場合，プリンタの SNMP エージェントはネットワーク上のあらかじめ定義されたホストに認証のためのエラー・メッセージを送信します。このホストはそのコミュニティ名と Internet アドレスで識別されます。コミュニティ名の詳細については次の「SNMP コミュニティの追加」の項を参照してください。

```
Do you want to create one or more SNMP trap specifications (Y/N [N])?
y

Enter the TRAP community name. Press return if there are none
to enter []: printer-manager

Enter the trap Internet host address []: 16.34.56.78

Enter next TRAP community name. Press return if there are no more
to enter []: Return
```

SNMP コミュニティの追加

「コミュニティ」を指定することで，プリンタの SNMP エージェントにアクセスできる管理ノードを制御できます。次の情報を指定します。

- コミュニティ名
- Internet アドレス
- 管理ノードに提供されるアクセスのレベル

たとえば，ソフトウェアが省略時のコミュニティ名 "public"， Internet アドレス 0.0.0.0，アクセス・レベル "read"を提供するとします。この場合，ネットワーク上のあらゆる SNMP を基本とした管理アプリケーションが SNMP データの参照のためにプリンタのエージェントにアクセスできることを意味します。次のように構成ファイルにコミュニティを追加することが可能です。

```
Do you want to define additional SNMP communities (Y/N [N])?
```

```
Y

Enter community name. Press return if there are none
to enter []: printer-manager

Enter the community's Internet host address [0.0.0.0]:
192.9.200.67

Enter the community's access mode (1=READ-ONLY, 2=READ/WRITE [1])?
2

Enter community name. Press return if there are none
to enter []: Return
```

注意

構成ファイルでは，コメントを指定するためにシャープ記号 (#) を使用します。したがって，SNMP 構成のための文字列にこの記号を使用することは避けてください。

3.1.16 構成情報の保存

情報の追加を終了する場合は，次のプロンプトに対して Return を入力します。

```
Enter number to change (press return if data is correct): Return
```

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM は次のようなファイルを作成します。

```
Configuration data will be entered in LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.IMPALA

%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSDEFAULTS.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSSYSPARAMS.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSPCLDEFAULTS.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSRESOURCES.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSSETUP.IMPALA has been created
```

3.2 LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM の実行

既存の PostScript レベル 1 プリンタを PostScript レベル 2 にアップグレードする場合は，LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM を実行します。

次のようにコマンド・プロシージャを起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$UPGRADE_PRINTSERVER
```

コマンド・プロシージャは次のように表示します。

```
    Copyright Digital Equipment Corporation 1995. All Rights Reserved.

    *** Use this command procedure ONLY for existing,          ***
    *** turbo PrintServer and PrintServer 32 printer.                ***

This command procedure is for upgrading existing turbo PrintServer
and PrintServer 32 printer to PostScript Level 2.
This command procedure will do the following:

 o Create a new PostScript Level 2 defaults file (LPSDEFAULTS.printer-node-name)
 o Create a system parameters file (LPSSYSPARAMS.printer-node-name)
 o Create a PCL defaults file (LPSPCLDEFAULTS.printer-node-name)
 o Modify the existing configuration file (LPSCONFIG.printer-node-name)
 o Modify the existing resources file (LPSRESOURCES.printer-node-name)

If you have previously edited the defaults file, those changes will not appear
in the new file. If you want to retain those changes you must edit the new file.

Depending upon your turbo PrintServer and PrintServer 32 printer's
configuration, the PostScript Level 2 image may contain additional fonts.
If you had previously modified your resource file
(LPSRESOURCE.printer-node-name) to load additional fonts, these
modifications may no longer be necessary. Refer to the PrintServer Software for
OpenVMS Management Guide.

What is the DECnet node name of the turbo PrintServer
or PrintServer 32 printer you want to upgrade (press return to exit) ? impala

%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSDEFAULTS.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSSYSPARAMS.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, The file LPS$SUPPORT:LPSPCLDEFAULTS.IMPALA has been created
%LPS-I-FILECREATE, A new version of file LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.IMPALA has been created.
%LPS-I-FILECREATE, A new version of file LPS$SUPPORT:LPSRESOURCES.IMPALA has been created.
```

```
Do you want to upgrade another turbo PrintServer or
PrintServer 32 printer (Y/N [N] ?) n
$
```

3.3 LPS$FONTKEY の起動 (ポストスクリプト・レベル 2 のみ)

ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェアを搭載している日本語 PrintServer プリンタで和文フォントを使用する場合，プリンタの Ethernet アドレスを含んだフォント・キーが各フォントごとに必要となります。これらのフォント・キーは，プリンタと共に梱包されています。ソフトウェアのインストレーションおよび PrintServer の設定後に，フォント・キー設定プログラムを起動し，これらのフォント・キーを入力すると，各プリンタの設定ファイルに書き込まれます。プリンタの設定ファイルは，ブート時にロードされますが，正しいフォント・キーがプリンタにロードされないと，和文フォントは使用できません。欧文フォントには，フォント・キーは必要ありません。

フォント・キーが入力されていない場合や，誤って入力された場合は，ブート時に印刷されるスタート・ページの各和文フォント名の横に，‘‘Not-Installed’’または，‘‘Option’’と表示されます。これらが表示されている和文フォントは使用できません。

例)

Ryumin Light KL—Not Installed
Jun 101—Option

LPS$ADD_PRINTSERVER.COM または LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM を起動した後，ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェアを搭載した日本語 PrintServer に対して LPS$FONTKEY を起動して，各フォント・キーを入力してください。入力の誤りを防ぐように，フォント・キーはアルファベットの大文字 (A ~ Z)，英数字 (2 ~ 7)，およびハイフン (-) より構成されています。

オプショナル・フォントを購入された場合も， LPS$FONTKEY を起動して，それぞれのフォント・キーを入力してください。すでに入力したフォント・キーは，再入力する必要はありません。オプショナル・フォントについては，最寄りの日本 DEC 各支店/営業所へお問い合わせください。

LPS$FONTKEY プログラムを起動するには，以下のコマンドを入力してください。

```
$ MCR LPS$FONTKEY
```

3.3.1 DECnet ノード名

LPS$ADD_PRINTSERVER を起動した時に入力したのと同じく，PrintServer の DECnet Phase IV ノード名を入力してください。 Return のみを入力すると，プログラムは終了します。

```
What is the DECnet node name of the PrintServer
you need to add Font Key(s) (to exit press Return)?  IMPALA

%LPS-I-DEFAULT, Default file for IMPALA is successfully opened
```

上記のメッセージは，IMPALA のデフォルト・ファイル (LPS$SUPPORT:LPSDEFAULT.IMPALA) が存在し，オープンできたことを示します。

IMPALA のデフォルト・ファイルが存在しない場合，またはオープンできない場合は，以下のメッセージが表示され，LPS$FONTKEY プログラムは終了します。

```
%LPS-E-OPENFAIL, Failure to open default file LPS$SUPPORT:LPSDEFAULTS.IMPALA
```

3.3.2 フォント・キーの入力

各フォントのフォント・キーを入力してください。以下の例では，リュウミン L-KL™のフォント・キーを入力します。

```
Enter Font Key for Ryumin Light KL.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> JODPS-NAUWD-7SI7H-IGUEN-PL4VN-FI6L2
```

™ リュウミン L-KL および中ゴシック BBB は，株式会社モリサワの登録商標です。

入力したフォント・キーを表示します。正しく表示された場合は，Returnを入力してください。

```
The Font Key for Ryumin Light KL is
JODPS-NAUWD-7SI7H-IGUEN-PL4VN-FI6L2, okay ? (Y/N) [Y] Return
```

すでにフォント・キーが入力されている場合は，再入力する必要はありません。ただし，前回 LPS$FONTKEY を起動した時に誤ったフォント・キーを入力された場合は， N を入力して，正しいフォント・キーを再入力してください。

```
%LPS-I-KEY, Font Key for Ryumin Light KL is already installed.
Do you want to modify the Font Key for Ryumin Light KL (Y/N) [N] ? Return
```

以下の例では，中ゴシック BBB™のフォント・キーを入力します。

```
Enter Font Key for Gothic Medium BBB.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> GEVIS-FATOC-XGU6L-ODPYQ-6LAJ4-CHUY6-EXHHO
```

入力したフォント・キーが誤っている場合は， N を入力してください。

```
The Font Key for Gothic Medium BBB is
GEVIS-FATOC-XGU6L-ODPYQ-6LAJ4-CHUY6-EXHHO, okay ? (Y/N) [Y] N
```

正しいフォント・キーを再入力してください。

```
--> [GEVIS-FATOC-XGU6L-ODPYQ-6LAJ4-CHUY6-EXHHO]
-->  WWDPS-NAQ6D-7UMJH-IGUDZ-PL4VN-CI6L2
```

入力したフォント・キーを再確認します。正しければ，Returnを入力してください。

```
The Font Key for Gothic Medium BBB is
WWDPS-NAQ6D-7UMJH-IGUDZ-PL4VN-CI6L2, okay ? (Y/N) [Y] Return
```

オプショナル・フォントを購入された場合は，上記のように各フォント・キーを入力してください。また購入されなかった場合は，フォント・キーはありませんので，Returnを入力してください。

```
Enter Font Key for Jun 101.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> Return

Enter Font Key for Futo Min A101.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> Return

Enter Font Key for Futo Go B101.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> Return

Enter Font Key for Midashi Min MA31.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> Return

Enter Font Key for Midashi Go MB31.
Press Return if you don't have a Font Key for this font or skip entry.
--> Return
```

新しいデフォルト・ファイルを作成する場合は，Returnを入力してください。

```
Entry completed, create a new default file to save font keys ? (Y/N) [Y] Return

%LPS-I-DEFAULT, New Default file for IMPALA is created
```

この問いに対してNを入力すると，今まで入力したフォント・キーはすべて失われ，新しいデフォルトファイルは作成されません。

```
%LPS-I-DEFAULT, New Default file is NOT created
```

3.4 マネージメント・デーモンの停止/再起動 (アップグレードのみ)

バージョン 5.1 のソフトウェア構成要素は，以前のバージョンのものと互換性がありません。ソフトウェアをアップグレードする場合には，再ブートする前にすべてのマネージメント・クライアント・プロセスを止めてください。そうしないと，以前のバージョンのマネージメント・クライアントはバージョン 5.1 の PrintServer プリンタへの接続を試みてから，以下のエラー・メッセージで終わります。

```
Management session from node "node" rejected: incompatible versions
```

メッセージは LPS$SUPPORT:LPSLOG.*printer-node-name* ファイルへ書き込まれます。このエラーは，2 つのサポーティング・ホストを持つ PrintServer プリンタで，そのうちの 1 つのサポーティング・ホストだけをアップグレードした場合にも起ります。

各プリンタに対して，以下のステップを実行してください。

1. VMSINSTAL プロシージャが完了した後，次のコマンドを入力してマネージメント・デーモンを止める

   ```
   $ @SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON.COM printer-node-name
   ```

2. プリンタの電源を落し，再び入れる
3. 次のコマンドを入力してマネージメント・デーモンを起動する

   ```
   $ @SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON.COM printer-node-name
   ```

4. バージョンの確認をする

   インストレーション，インストレーション後の手続き，および PrintServer のブートが完了してから， PrintServer コンソール・クライアント (日本語 PrintServer 40 シリーズのローカル・コンソール，または各 PrintServer プリンタのリモート・コンソール) を使用して新しいソフトウェアが正しく動作していることを確認してください。

   リモート・コンソールの version コマンドを使用して，ソフトウェアのバージョンを示す以下の行が表示されることを確認してください。

   ```
   PrintServer Software:   V5.1-nn
   ```

3.5 サポーティング・ホスト・サービスを有効にする

LPS$STARTUP_SERVICES.COM ファイルを実行すると，次のことを行います。

- サポーティング・ホスト論理名の LPS$SUPPORT と LPS$ROOT を設定する
- 設定した各 PrintServer プリンタに対してマネージメント・クライアントを起動する

- プリンタがクラスタの一部である場合，PrintServer サポーティング・ホスト・ノードとしてひとつのノードを設定する

3.5.1 スタートアップ・ファイルを有効にする — スタンドアロン・ノード

サポーティング・ホストがスタンドアロン・ノードの場合は，システム・スタートアップ・ファイルを編集してください。

日本語 OpenVMS VAX V5.5-2 を実行している場合には，次のファイルを編集してください。

```
$ EDIT SYS$STARTUP:SYSTARTUP_V5.COM
```

日本語 OpenVMS VAX V6.0 以降または日本語 OpenVMS Alpha V1.5 以降を実行している場合には，次のファイルを編集してください。

```
$ EDIT SYS$STARTUP:SYSTARTUP_VMS.COM
```

ファイルの最後の方に以下のコマンドを追加してください。 DECnet 機能を開始するためのコマンド行が，この項目の前にあることを確認してください。

```
$ @SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES
```

アップグレードの場合は，前回のインストレーション中にこれが完了しているはずです。

DECnet Phase V システム

DECnet Phase V システムの場合は，次のものを追加してください。

- PrintServer プリンタが MOP ブートできるように，次のコマンド行を追加します。これがないとプリンタはブートしません。

  ```
  $ @SYS$MANAGER:LPS$NETSETUP.COM
  ```

- DECnet Phase V を有効にするために， LPS$NETSETUP.COM の後に次のコマンド行を追加します。

  ```
  $ @SYS$STARTUP:NET$STARTUP NETWORK MOP
  ```

3.5.2 スタートアップ・ファイルを有効にする — VAXcluster ノード

VAXcluster 内でスタートアップ・ファイルを有効にするためには，以下のコードをクラスタ全体で有効なシステム・スタートアップ・コマンド・ファイルに追加してください。

```
$ !Find the node on which the startup file is running
$ !
$ cluster_member = F$GETSYI("NODENAME")
$ !
$ ! Test to see if the node is the Supporting Host
$ !
$ if "''cluster_member'" .eqs. "supporting-host-node-name"
$ then
$ @SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES
$ endif
```

supporting-host-node-name はサポーティング・ホスト・ノードの名前です。サポーティング・ホストの名前は引用符 (" ") で囲んでください。

上記のコードは，マネージメント・クライアントを実行するクラスタ・メンバに対して， LPS$STARTUP_SERVICES を起動します。

```
LPS$START_DAEMON: Management client already exists for
                  PrintServer node-name.
```

3.6 複数のサポーティング・ホストの構成

複数のサポーティング・ホストが必要な場合には，完全なサービスまたはサポーティング・ホスト・サービスの一部分のみを提供するように，他のサポーティング・ホストを設定できます。たとえば，バックアップ・ブートとマネージメント・クライアント・サービスを提供するように， 2 番目のサポーティング・ホストを設定できます。複数のサポーティング・ホストを設定する操作についての詳しい説明は，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

3.7 NETSETUP データベースの変換 (アップグレードのみ)

日本語 PrintServer Software をアップグレードする場合，以下のコマンドを入力してください。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$ADD_NETSETUP -CONVERT
```

このコマンドは，NETSETUP データベースを新しいバージョン 5.1 形式に変換します。 NETSETUP データベースがすでに変換されている場合，または変換の必要がない場合は，変換が行われなかったことを示すメッセージを受取ります。

バージョン 5.0 以前の NETSETUP データベースは，

- SYS$MANAGER:LPS$NETSETUP.COM (バージョン 3.*nn* 以前)

  または，

- SYS$MANAGER:LPS$NETSETUP_V4.COM (バージョン 4.*nn*).

です。これらのファイルは，PrintServer プリンタの DECnet データベースをリストアする NCP コマンドを含んでいます。

バージョン 5.1 では，LPS$SUPPORT:LPSNETSETUP.DATが NETSETUP データベースで，新しいバージョンの LPS$NETSETUP.COM と共に動作します。新しいバージョンの LPS$NETSETUP.COM は，NCP コマンド (DECnet Phase IV システムの場合) または NCL コマンド (DECnet Phase V システムの場合) のどちらかを使用して，DECnet データベースへ NETSETUP 情報をロードします。

4

PrintServer プリンタのブート

4.1 概要

ソフトウェアをインストールし，LPS$ADD_PRINTSERVER.COM プロシージャを実行してマネージメント・クライアント・プロセスを起動した後，プリンタをブートできます。

PrintServer プリンタはブートに，Maintenance Operation Protocol (MOP) または BOOTP という 2 種類のプロトコルを使用できます。しかし，OpenVMS ソフトウェアは MOP プロトコルのみをサポートするため，この章では MOP プロトコルを使用したブート・プロセスについて説明します。

ブート・プロセス

PrintServer プリンタをブートすると，以下のイベントが起ります。

1. PrintServer プリンタは‘‘boot assistance required’’メッセージを送信する
2. 適切に構成されたサポーティング・ホスト・ノードは，要求どおりサービスされるというメッセージを返信する
3. PrintServer プリンタは，サポーティング・ホスト・ノードからプライマリ・システム・イメージを受取る
4. マネージメント・クライアント・プロセスは，構成ファイル，セカンダリ・イメージ・ファイル，デフォルト・ファイル，スタートアップ・ページ，リソース・ファイルおよびセットアップ・ファイルを供給する

4.2 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのブート

プリンタの電源を入れると，ブート・プロセスが自動的に実行されます。オペレータ・パネルにステータスが表示されます。

ページ・カウント
最初に，ページ・カウントが PrintServer プリンタのオペレータ・パネルに表示されます。たとえば，以下のようになります。

```
000292
```

セルフ・テスト
次に，自己診断セルフ・テストが実行されます。

```
9,8,7,6,5,4,3,2,1,0
```

Ethernet ハードウェア・アドレス
最初の行は， Ethernet ハードウェア・アドレスを示します。 2 行目は，ファームウェアのバージョン番号です。これはプライマリ・ブートが行われていることを示します。

```
08-00-2B-0C-48-EE
x.x y.y z.z
```

ここで，

x.x はコントローラ・ファームウェアのバージョン番号です。
y.y はプリント・エンジン・ファームウェアのバージョン番号です。
z.z はオペレータ・パネル・ファームウェアのバージョン番号です。

プライマリ・ブートの成功
オペレータ・パネルの以下の表示は，システム・ファイル LPS_PRINTSERVER17.SYS がロードされたことを示します。

```
08-00-2B-0C-48-EE
VAXELN V4.5 LPS17
```

セカンダリ・ブートの開始
サポーティング・ホスト・ノード上のマネージメント・クライアント・プロセスがプリンタへ接続すると，以下のように表示されます。

```
VAXELN V4.5 LPS17
....
```

ファイルのロード
プリンタ固有の構成ファイルとシステム・イメージ・ファイルが，マネージメント・クライアントによってロードされます。さらに，以下のファイルがロードされます。

プリンタ固有のデフォルト・ファイル
スタートアップ・ページ・ファイル
プリンタ固有のリソース・ファイル
プリンタ固有のセットアップ・ファイル

セカンダリ・ブートの成功
ソフトウェアがロードされてスタートすると，次のシーケンスが表示されます。

```
    Copyright 1995
Digital Equipment Corp.

Ready
```

スタートアップ・ページ
つぎに，スタートアップ・ページを印刷します。このプロセスの間には，以下のように表示されます。

```
Processing

Printing
```

印刷可能な状態
以下の表示は，スタートアップ・ページが印刷されて， PrintServer プリンタが印刷可能な状態になったことを示しています。

```
Ready
```

ブート・プロセスが失敗した場合，またはプリンタをブートした後も印刷できない場合は，第 8 章の問題解決の手順を参照してください。

4.3 日本語 turbo PrintServer または日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのブート

プリンタの電源を入れると，ブート・プロセスが自動的に実行されます。オペレータ・パネルにステータスが表示されます。

セルフ・テスト
診断テストが実行され，次の番号が PrintServer プリンタのオペレータ・パネルに表示されます。

```
9,8,7,6,5,4,3,2,1,0
```

Ethernet ハードウェア・アドレス
上の表示は，ただちに以下のようになります。

```
08-00-2B-0C-48-EE
x.x y.y z.z
```

これは Ethernet ハードウェア・アドレスとファームウェア・バージョン番号を示しています。

ここでは，

x.x はコントローラ・ファームウエアのバージョン番号です。
y.y はプリント・エンジン・ファームウェアのバージョン番号です。
z.z は大容量給紙トレイ (LCIT)・ファームウェアのバージョン番号です。

これはプライマリ・ブートが行われていることを示します。

プライマリ・ブートの成功
プライマリ・ブートが成功すると，以下のように表示されます。

```
08-00-2B-0C-48-EE
VAXELN V4.5 LPS
```

この表示は，システム・ファイル LPS_PRINTSERVER.SYS がロードされたことを示します。

セカンダリ・ブートの開始
サポーティング・ホスト・ノード上のマネージメント・クライアントがプリンタへ接続すると，以下のように表示されます。

```
VAXELN V4.5 LPS
....
```

ファイルのロード
プリンタ固有の構成ファイルおよびシステム・イメージ・ファイルが，マネージメント・クライアントによってロードされます。以下のファイルもロードされます。

- プリンタ固有のデフォルト・ファイル
- スタートアップ・ページ・ファイル
- プリンタ固有のリソース・ファイル
- プリンタ固有のセットアップ・ファイル

セカンダリ・ブートの成功
ソフトウェアがロードされると，以下のシーケンスが表示されます。

```
    Copyright 1995
Digital Equipment Corp.

Please wait ...
Initializing ...

Print engine is in
warmup state

Ready
```

スタートアップ・ページ
プリンタはスタートアップ・ページを印刷して，次のように表示します。

```
Processing

Printing
```

印刷可能な状態
スタートアップ・ページが印刷されて， PrintServer プリンタが印刷可能な状態になると，以下のように表示されます。

```
Ready
```

ブート・プロセスが失敗した場合，またはプリンタをブートした後も印刷できない場合は，第 8 章の問題解決の手順を参照してください。

4.4 日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタのブート

プリンタの電源を入れてください。

BOOT コマンドの入力

PrintServer プリンタは自動的にブートするようにインストールされていません。プロンプト(>>>)がローカル・コンソール・ディスプレイに表示されたら，プロンプトに対して次のブート・コマンドを入力してください。

```
>>> B
```

プライマリ・ブート

ブート・プロセスが実行され， KPS_PRINTSERVER40.SYS ファイルをロードします。ローカル・コンソール・ディスプレイはプリンタ・タイプと‘‘Waiting for Configuration’’というメッセージをバナー・ラインに表示します (リモート・コンソールもこのメッセージを表示します)。

セカンダリ・ブート

マネージメント・クライアントが PrintServer プリンタへの接続を確立すると，接続されたことを示すメッセージがコンソールに表示されます。バナー行には‘‘Loading’’と表示され，ロード中のステータスが示されます。

セカンダリ・ブートの成功

ブート・プロセスが完了すると，コンソール画面のバナー行に‘‘Idle’’と表示されます。バナー行が Idle 状態を示しているときは， PrintServer プリンタはプリント・ジョブを受け付けます。

ブート・プロセスが正しく完了しないときは，第 8.1 節の問題解決の手続きを参照してください。

4.5 問題の判断と報告

日本語 PrintServer Software for OpenVMS を使用しているときに問題が発生した場合には，第 8 章に示されている問題解決の手続きを参照して，問題を診断し，解決してください。問題が継続的に発生する場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所に報告してください。問題の性質とサポート契約の種類に応じて，以下のいずれかの処理を実行してください。

- ソフトウェア契約または保証契約で，電話によるサポートが提供されることになっている場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所に連絡してください。
- ソフトウェア・パフォーマンス・レポート (SPR) を，弊社社員にお渡しください。
- 日本語 PrintServer Software for OpenVMS の解説書に問題がある場合には，その解説書の「マニュアルに対するご意見」に必要事項を記入し，弊社社員にお渡しください。「マニュアルに対するご意見」は各マニュアルの最後に添付されています。問題のあるマニュアルに貼付されている用紙を使用してください。問題のある節およびページ番号を記入し，問題の内容を正確に記述してください。

保証についての詳しい説明は，「ソフトウェア仕様書 (SPD)」を参照してください。保証期間中に問題が検出された場合には，上記の方法で問題を報告するか，または SPD に準拠しない問題を報告する場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所の指示に従ってください。

5

マネージメント・クライアント機能について

この章では，マネージメント・クライアント・ソフトウェアについて説明します。この章での説明は概略ですので，詳しくは『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

マネージメント・クライアント・ソフトウェアは， PrintServer の構成サービス，およびブート後に PrintServer から送られてくる情報などの管理を行います。マネージメント・クライアント・ソフトウェアは，サポーティング・ホスト上で実行され， PrintServer に対して以下のサービスを提供します。

- 2 次ブート・イメージのローディングによる構成サービス
- 構成ファイル，デフォルト・ファイル，リソース・ローディング・ファイル，セットアップ・ファイルの作成および管理
- スタート・ページの印刷
- アカウンティング情報の収集
- ログ情報 (イベント，エラー) の収集
- ポストスクリプト・レベル 2 搭載のプリンタに対するフォント・フォルティング

PrintServer のブートは 2 段階で行われ， 1 次ブート (プライマリ・ブート) は，PrintServer 上で動くオペレーティング・システムをサポーティング・ホストから PrintServer へダウンロードします。 2 次ブートは 1 次ブートが終了した後，マネージメント・クライアントが PrintServer に必要なファイルをダウンロードして，最後に構成サービスを行います。 1 次ブートと 2 次ブートは，同じサポーティング・ホストである必要はありません。 1 次ブートのリクエストに答えたサポーティング・ホストを，ブート・ホストと呼び，2 次ブートの構成サービスを行ったサポーティング・ホストを，構成ホストと呼びます。また，上記に示すサービスを，異なったサポーティング・ホストに分散することもできます。マネージメント・クラ

イアントは，デタッチド・プロセス (SYS$SYSTEM:LPS$SERVICES.EXE) として動作します。

5.1 マネージメント・クライアントのオプション

マネージメント・クライアントのオプションは，
LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.*printer-node-name* ファイルに記述されます。
以下にその例を示します。

```
-N      IMPALA
-C      LPS$ROOT
-A      LPS$SUPPORT:LPSACCT.IMPALA
-L      LPS$SUPPORT:LPSLOG.IMPALA
```

5.1.1 ノード名オプション (-N)

このオプションは， PrintServer の DECnet ノード名を指定します。マネージメント・クライアントは，このノード名を使って PrintServer に対して接続を図ろうとします。もしノード名が間違っていると，マネージメント・クライアントは PrintServer に接続できないので注意してください。

```
-N      IMPALA
```

5.1.2 構成サービス・オプション (-C)

マネージメント・クライアントの -C オプションは， PrintServer に対して構成サービスを行います。このオプションは，同じネットワーク上の最低 1 台以上のサポーティング・ホストで設定されていないと， PrintServer のブートは完了しませんので注意してください。このオプションは以下のように定義されます。

```
-C      LPS$ROOT
```

ノード名を impala と -N オプションで指定し，また構成ファイル・ディレクトリを上記のように指定した場合，以下のファイルが構成サービスに使用されます。

構成ファイル	LPS$ROOT:[000000]LPSCONFIG.IMPALA
デフォルト・ファイル	LPS$ROOT:[000000]LPSDEFAULTS.IMPALA
システム・パラメータ・ファイル (ポストスクリプト・レベル 2 プリンタのみ)	LPS$ROOT:[000000]LPSSYSPARAMS.IMPALA
PCL デフォルト・ファイル (ポストスクリプト・レベル 2 プリンタのみ)	LPS$ROOT:[000000]LPSPCLDEFAULTS.IMPALA
リソース・ファイル	LPS$ROOT:[000000]LPSRESOURCES.IMPALA
セットアップ・ファイル	LPS$ROOT:[000000]LPSSETUP.IMPALA

5.1.3 ログ・オプション (-L)

このオプションを指定した場合，マネージメント・クライアントは PrintServer からログ情報を受けとり，その内容を -L オプションで指定されたログ・ファイルに書き込みます。もしこのファイルが存在しない場合は，自動的に以下のログ・ファイルを作成します。

-L LPS$SUPPORT:LPSLOG.IMPALA

5.1.4 アカウンティング・オプション (-A)

このオプションを指定した場合，マネージメント・クライアントは PrintServer からアカウンティング情報を受けとり，その内容を -A オプションで指定されたアカウンティング・ファイルに書き込みます。もしこのファイルが存在しない場合は，自動的に以下のアカウンティング・ファイルを作成します。

-A LPS$SUPPORT:LPSACCT.IMPALA

5.1.5 オプション・ファイルの例

```
$ type LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.IMPALA
-N IMPALA
-C LPS$ROOT
-A LPS$SUPPORT:LPSACCT.IMPALA
-L LPS$SUPPORT:LPSLOG.IMPALA
```

5.1.6 オプション・ファイルの変更

インストレーション後，マネージメント・クライアントのサービスの変更は，オプション・ファイルをアップデートすることによって行います。たとえば，ログおよびアカウンティング情報をファイルに保存したくない場合などは，以下のように設定を変更します。

1. SYS$MANAGER:LPS$OPTIONS.COM を起動して，新しいオプション・ファイルを作成します。この例では， PrintServer impala に対して構成サービスを行い，ログおよびアカウンティング情報は収集しないとします。

```
$  @SYS$MANAGER:LPS$OPTIONS

What is the DECnet node name of the PrintServer printer you would like to provide
management client options for?  impala

Do you wish to provide configuration services to PrintServer IMPALA
(Y/N [N])? y

Do you wish to receive accounting data from PrintServer IMPALA (Y/N [N])?  Return

Do you wish to receive event logging information from PrintServer IMPALA
(Y/N [Y])? n

The following information will be entered in LPSOPTIONS.IMPALA.

      Node name:                  IMPALA
      Configuration Services:     Y
      Accounting:                 N
      Logging:                    N

Is the data correct (Y/N [Y])?  Return

Management client options will be entered in LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.IMPALA
```

SYS$MANAGER:LPS$OPTIONS.COM を起動することによって，LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.IMPALA という新しいオプション・ファイルができます。このファイルの内容を，以下に示します。

```
$ type LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.IMPALA
-N IMPALA
-C LPS$ROOT
```

2. SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON.COM を起動してマネージメント・クライアント・プロセスを止めます。

```
$  @SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON IMPALA
```

3. SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON.COM を起動してマネージメント・クライアント・プロセスを動かすと，変更したオプションが反映されます。

```
$  @SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON IMPALA
```

5.2 構成ファイル

構成ファイル LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.*printer-node-name* は，インストレーション後の手続きで行われる質問への回答によって作成されます。このファイルは， PrintServer のブート時にダウンライン・ロードされ，プリンタの構成に使用されます。構成ファイルには， PrintServer の構成を行うための以下の項目が含まれます。

- PrintServer がマネージメント・クライアントに，アカウンティング情報を送るか送らないかの設定
- PrintServer がマネージメント・クライアントに，ログ情報を送るか送らないかの設定
- PrintServer 名の設定
- PrintServer パスワードの設定
- 日本語ポストスクリプト・インタプリタをロードする設定
- 日本語 turbo PrintServer および日本語 PrintServer 32 プリンタのフロント・パネル言語の設定 (注：日本語は設定できません)

- PrintServer を利用できるプリント・クライアント，マネージメント・クライアント，およびコンソール・クライアントの設定
- ネットワーク・サブセット・マスク，およびゲートウェイの設定 (TCP/IP のみ)

構成ファイルは同じネットワーク上の，最低 1 台以上のサポーティング・ホスト上にあり，またマネージメント・クライアントの -C オプションで設定されたディレクトリ上になくてはなりません (第 5.1.2 項参照)。

5.2.1 構成ファイルのコマンド

構成ファイルのコマンドは 1 行に 1 つで，コマンドとその値はスペースによって分けられます。コマンドおよびその値は，大文字，小文字どちらで書かれていてもかまいません。たとえば， ACCOUNTING OFF， accounting off， Accounting Off はすべて同じ意味を持ちます。

構成ファイルの例

```
accounting off
logging on
printername cougar
password (LPS20)
variant kanji
#The "password" key-value pair above can be commented out and replaced with
#the following 3 lines of key-value pairs that allow you to specify separate
#passwords for separate privileged functions.
```

```
#manage-password (LPS)       # Password for remote console's privileged commands
#ps-password (LPS)           # PostScript Level 1 password, or StartJobPassword
                             # password in PostScript Level 2
#systemparams-password (LPS) # PostScript Level 2 SystemParamsPassword password
language eng
subnetmask 255.255.240.0
allowdn 62
allowdn 55
denydn 62.123
denydn 62.124
denydn 55.93
allowip 16
allowip 13
denyip 16.122.128.11
denyip 16.122.128.12
gateway 16.122.128.67
```

以下に，構成ファイルの例を説明します。

- アカウンティング情報，およびログ情報をマネージメント・クライアントに送る
- PrintServer 名を cougar に設定
- PrintServer のパスワードを LPS20 に設定
- 日本語ポストスクリプト・インタプリタのロードを設定
- フロント・パネル言語を英語に設定
- ネットワーク・サブセット・マスクを 255.255.240.0 に設定
- DECnet エリア・アドレスが 62 および 55 のクライアントは利用許可するが，62.123， 62.124， 55.93 は利用できないようにする
- Internet アドレスが 16 および 13 で始まるクライアントは利用許可するが，16.122.128.11， 16.122.128.12 は利用できないようにする
- ゲートウェイを 16.122.128.67 に設定

5.2.1.1 Accounting コマンド

Accounting コマンドでは，PrintServer がアカウンティング情報をマネージメント・クライアントに送るかどうか，またマネージメント・クライアントと PrintServer のリンクが切れたときに印刷を継続するかどうかを設定します。

off	PrintServer は，マネージメント・クライアントに対してアカウンティング情報を送りません
on	PrintServer は，マネージメント・クライアントに対してアカウンティング情報を送り，またマネージメント・クライアントと PrintServer のリンクが切れても，印刷は継続されます。この場合，アカウンティング情報は紛失します
reliable	詳細なアカウンティング情報を送ります。この設定では，アカウンティング情報を受け取れる 1 台以上のマネージメント・クライアントがない限り，PrintServer は印刷を行いません

5.2.1.2 Logging コマンド

Logging コマンドでは，PrintServer がログ情報をマネージメント・クライアントに送るかどうかを設定します。

off	PrintServer はマネージメント・クライアントに対してログ情報を送りません
on	PrintServer はマネージメント・クライアントに対してログ情報を送ります

5.2.1.3 Ps-error-trace コマンド

このコマンドはポストスクリプト・エラーをログ・ファイルに書き込みます。

例:

```
ps-error-trace on
```

5.2.1.4 Printername コマンド

PrintServer 名を示します。ここで指定したプリンタ名は，コンソール・クライアントのバナー・ウィンドウに表示されます。図 6–1 または図 6–2 を参照してください。

5.2.1.5 Password コマンド

Password コマンドは，PrintServer のパスワードを設定します。

例:

```
password (LPS)
```

5.2.1.6 Variant kanji コマンド

日本語ポストスクリプト・インタプリタのロードを示します。日本語 PrintServer を利用する場合は，このコマンドは必須です。

日本語 PrintServer 32 シリーズおよび日本語 turbo PrintServer では， variant kanji-2 でポストスクリプト・レベル 2 用のイメージが variant kanji でポストスクリプト・レベル 1 用のイメージがブートされます。日本語 PrintServer 17/600 では variant kanji でポストスクリプト・レベル 2 用のイメージがブートされます。

例:

```
variant kanji
```

5.2.1.7 Language コマンド

Language コマンドは，フロント・パネルの言語を設定します。日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタでは，この設定はありません。

dut	オランダ語
eng	英語
fre	フランス語
ger	ドイツ語
ita	イタリア語
nor	ノルウェー語
por	ポルトガル語
spa	スペイン語
swe	スウェーデン語

省略時設定では，英語 (eng) が使われます。

例:

```
language eng
```

5.2.1.8 Allowdn コマンド

Allowdn コマンドは，PrintServer が利用できるクライアントを DECnet ノード・アドレスまたはエリアで指定します。

allowdn 55	DECnet エリアが 55 を持つクライアントが PrintServer を利用できます 例：55.100，55.2
allowdn 4.470	DECnet ノード・アドレスが 4.470 のクライアントが PrintServer を利用できます

5.2.1.9 Denydn コマンド

Denydn コマンドは，PrintServer を利用させたくないクライアントを，DECnet ノード・アドレスまたはエリアで指定します。

denydn 4	DECnet エリア 4 のクライアントは，PrintServer を利用できません 例：4.1，4.2
denydn 55.480	DECnet ノード・アドレス 55.480 のクライアントは，PrintServer を利用することができません

5.2.1.10 Ipaddress

PrintServer の Internet アドレスを指定します。 ipaddress コマンドは，OpenVMS サポーティング・ホスト上の構成ファイルで設定できます。 DECnet クライアントしかない環境では，ipaddress none を指定します。

例:

```
ipaddress 16.163.10.0
```

5.2.1.11 Subnetmask コマンド

Subnetmask コマンドを使って，すでに設定されているサブネット・マスクを変更することができます。

例:

```
subnetmask 255.255.249.0
```

5.2.1.12 Gateway コマンド

PrintServer がゲートウェイによって別の Internet から登録されたジョブを印刷する場合には，ゲートウェイ・ノードの Internet アドレスを指定しなければなりません。

例:

```
gateway 128.46.33.45
```

5.2.1.13 Allowip コマンド

Allowip コマンドは， PrintServer が利用できるクライアントを Internet アドレス，ネットワーク，サブネットで指定します。

allowip 36	Internet Class-A ネットワーク 36 のクライアントが PrintServer を利用できます
allowip 128.45.37	Internet Class-B サブネット 128.45.37 のクライアントが PrintServer を利用できます

5.2.1.14 Denyip コマンド

Denyip コマンドは， PrintServer を利用させたくないクライアントを Internet アドレス，ネットワーク，サブネットで指定します。

denyip 13	Internet Class-A ネットワーク 13 のクライアントは PrintServer を利用することができません
denyip 192.9.200	Internet Class-B サブネット 192.9.200 のクライアントは PrintServer を利用することができません

注意

allowdn， denydn コマンドを VAXcluster に対して設定する場合，実行キューが設定されているノード・アドレスを使用してください。

allowdn， denydn， allowip， denyip で指定されるクライアントとは，プリント・クライアント，マネージメント・クライアント，およびコンソール・クライアントを含みます。

5.2.2 構成ファイルの変更

以下のコマンド・プロシージャを起動することによって，各 PrintServer の構成ファイル (LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.*printer-node-name*) ができます。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$CONFIG.COM
```

実際の起動例は，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

5.2.3 異なったパスワード

PrintServer のパスワード (省略時設定は LPS) は構成ファイルの中で指定し，PrintServer ブート時にローディングされます。このパスワードは，ポストスクリプトの設定を変更する場合と，コンソール・クライアントの特権コマンドを使用する際に必要です。これらを異なったパスワードで運用したい場合は，テキスト・エディタを使用して，構成ファイルを変更してください。以下にその例を示します。

- 構成ファイルに含まれている password (xxxx) の行を削除してください。
- ポストスクリプト・レベル 1 言語またはポストスクリプト・レベル 2 言語の StartJobPassword のパスワードを LPS-operators と設定する場合，以下のコマンドを構成ファイルに加えてください。

  ```
  ps-password (LPS-operators)
  ```

- リモート・コンソールのパスワードを LPS-RC と設定する場合，以下のコマンドを構成ファイルに加えてください。

  ```
  manage-password (LPS-RC)
  ```

- ポストスクリプト・レベル 2 言語の SystemParamsPassword を LPS-SYS-PARAMS と設定する場合，以下のコマンドを構成ファイルに加えてください。

  ```
  systemparams-password (LPS-SYS-PARAMS)
  ```

以下は，変更後の構成ファイルの例です。

```
accounting off
logging on
printername cougar
#password (LPS20)
variant kanji
#The "password" key-value pair above can be commented out and replaced with
#the following 3 lines of key-value pairs that allow you to specify separate
#passwords for separate privileged functions.

manage-password (LPS-RC)       # Password for remote console's privileged commands
ps-password (LPS-operators)    # PostScript Level 1 password, or StartJobPassword
                               # password in PostScript Level 2
systemparams-password (LPS-SYS-PARAMS) # PostScript Level 2 SystemParamsPassword password
language eng
gateway 16.122.128.67
```

5.3 デフォルト・ファイル

デフォルト・ファイル LPS$SUPPORT:LPSDEFAULTS.*printer-node-name* は，インストレーション後の手続きを実行したときに作成されます。

デフォルト・ファイルは，PrintServer プリンタの種類 (ポストスクリプト・レベル 1 またはレベル 2 ソフトウェア) により，実行されるコマンドが異なります。

5.3.1 デフォルト・ファイル (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア)

ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェアを搭載している PrintServer プリンタの設定を示します。

- 印刷ジョブのタイム・アウト (setdefaultjobtimeout)
- 印刷ページのタイム・アウト (setdefaultpagetimeout)
- 給紙トレイの設定 (setdefaultpapertray)
- 排紙トレイの設定 (setdefaultoutputtray)
- プリンタ名 (setprintername)

- 両面印刷モード (setdefaultduplexmode)
- タンブル印刷モード (setdefaulttumble)
- ジョブ・オフセット・スタッキング・モード (setdefaultoutputpositioning)
- DEC イメージの拡張 (setdefaultDECimage)
- DEC イメージの拡張パラメータ (setdefaultDECimageparams)

例 5–1　デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア)

```
%!
% File Name:  lpsdefaults.printer-node-name.
%
% Purpose:    This file is used to set PostScript default values.
%   For PostScript Level 2 PrintServer printers, only
%   the Page Device Parameters can be set in this file;
%   use the lpssysparams.printername file to set
%   System Parameters.
%
% Supported Printers: All PrintServer printers.
%
% How to Change
% Parameter Values: To change the value of the parameter, edit the file
%   and modify the parameter. To avoid setting a default
%   value for a parameter, comment the line out by adding
%   the Percent sign (%) to the beginning of the line with
%   the parameter.
%
% For More Information: See the following documents
%
%   o PrintServer Printers PostScript
%     Level 2 Programmer's Supplement
%
%   o Digital PostScript Printers Programmer's Supplement
%
%   o PrintServer Software Management Guide
%
%
% PostScript Level 1 PrintServer Printers are:
```

(次ページに続く)

例 5–1 (続き) デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア)

```
%    PrintServer 40-series
%    PrintServer 20-series
%    PrintServer 32
%
% Set of allowed values for PrintServer 40-series, PrintServer 20-series
% and PrintServer 32 input trays:
% 1 = Top
% 2 = Middle
% 3 = LCIT
%
% Set of allowed values for PrintServer 20-series and PrintServer 32 output
% trays:
% 1 = Lower
% 2 = Side (face-up)
% 3 = Upper
%
% Set of allowed values for PrintServer 40-series output trays:
% 1 = Side (face-down)
% 2 = Side (face-up)
% 3 = Top
%
%
% PostScript Level 2 PrintServer Printers are:
%    turbo PrintServer 20
%    PrintServer 32-series
%    PrintServer 17-series
%
% Set of allowed values for PrintServer 17 input trays:
% 0  = Top
% 1  = Bottom
% 2  = Envelope
%
% Set of allowed values for PrintServer 17 output trays:
% 0 = Top (face-down)
% 1 = Side (face-up)
%
%
% Here's where we actually start setting the defaults.
```

(次ページに続く)

例 5–1 (続き) デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア)

```
% Use the appropriate section (PostScript Level 1 or PostScript Level 2)
% for your PrintServer Printer.
%

/languagelevel where    % Checks PostScript level
                {    % in your PrintServer Printer.
   pop languagelevel 2 eq  % Do NOT modify.
    {
     /isLevel2 true def
    }

    {
     /isLevel2 false def
    } ifelse
  }

                {
   /isLevel2 false def
  } ifelse

isLevel2 not

{
%
% This section is used for PostScript Level 1 PrintServer Printers
%

statusdict begin

% Input and Output Tray Defaults

      3 setdefaultpapertray    % LCIT input tray
      3 setdefaultoutputtray   % Top or Upper output tray

% Timeouts, Margins and DECimage defaults

      0 setdefaultjobtimeout   % No job timeout
      0 setdefaultpagetimeout  % No page timeout
      0 0 setmargins           % Don't touch this
      false setdefaultDECimage % Default image enhancement

% image enhancement parameters to use if DECimage becomes true...

      0.0 1.0 1.5 1 setdefaultDECimageparams
```

(次ページに続く)

例 5–1 (続き) デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 1 ソフトウェア)

```
% To set two-sided printing as default, change the
% word false to true before the word setdefaultduplexmode.
%
  statusdict /setduplexmode known {
    false setdefaultduplexmode
    false setdefaulttumble
  } if

% To turn off offset-stacking, change true to false
% before the word setdefaultoutputpositioning

  statusdict /setdefaultoutputpositioning known {
    true setdefaultoutputpositioning
  } if

  (JRDKP3) setprintername

 end
%
% End of section for PostScript Level 1 PrintServer Printers
%
stop % stops the execution of the level 2 code on level 1 printers
} if
```

5.3.2 デフォルト・ファイル (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア)

ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェアを搭載している PrintServer プリンタの設定を示します。

- 給紙トレイ (Priority)
- デフォルト用紙サイズ (PageSize)
- 排紙トレイ (OutputType)
- 両面印刷モード (Duplex)
- タンブル印刷モード (Tumble)
- 給紙トレイ自動切り換え (TraySwitch)

- 手挿入印刷時タイムアウト (ManualFeedTimeout)
- ジョブ・オフセット・スタッキング・モード (setdefaultoutputpositioning)

例 5–2 デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア)

```
isLevel2
{

% Check the product type of the PrintServer printer. Do not modify.
systemdict begin /product where { pop product end } { end stop } ifelse
     dup (PrintServer 17) eq /isLPS17 exch def
     dup (PrintServer 32) eq exch (PrintServer 20) eq or /isLPS32 exch def
     isLPS17 isLPS32 or not { stop } if
%
% This section is used for PostScript Level 2 PrintServer Printers
%

%
% Set the defaults using PostScript Level 2 syntax.
% For most efficient setting of the defaults, a single setpagedevice command
% is used.
%

<<

   /InputAttributes   % Default input tray.
   <<
     % If bottom and top trays have matching
     % page sizes, use /Priority to set
     % default input tray.
     %
     % If bottom and top trays do not have
     % matching page sizes, use /PageSize
     % to set default input tray.

isLPS32
{
    /Priority [ 0 2 1 ]   % [0 2 1 ] = bottom tray
                                      % [1 0 2 ] = middle tray
                                      % [2 0 1 ] = upper tray
} if
```

(次ページに続く)

例 5–2 (続き) デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア)

```
isLPS17
{
     % If bottom and top trays match:
    /Priority [ 0 1 ]   % [0 1] = bottom tray
        % [1 0] = top tray
} if
    >>
     % If bottom and top trays do not match,
     % uncomment the /PageSize corresponding
     % to the desired default input tray.
     % All other /PageSize lines should be
     % commented.
     %
%   /PageSize [612 792]   % Paper size = Letter
%   /PageSize [595 842]   % Paper size = A4
%   /PageSize [612 1008]  % Paper size = Legal
%   /PageSize [522 756]   % Paper size = Executive LPS17 only
%   /PageSize [540 756]   % Paper size = Executive LPS32 or LPS20
%   /PageSize [792 1224]  % Paper size = Ledger (B) LPS32 or LPS20
%   /PageSize [842 1190]  % Paper size = A3         LPS32 or LPS20

isLPS32
{
  /OutputType (Upper)   % Default output tray.
                                        % Upper = top output tray
                                        % Lower = lower output tray
                                        % Side = side output tray (for selecting
                                        %        face-up tray)
                                        % OLCOT = optional output stacker
} if

isLPS17
{
  /OutputType (Top)                     % Default output tray.
                                        % Top = top output tray
                                        % Side = side output tray (for selecting
                                        % output stacker or face-up tray)
```

(次ページに続く)

例 5–2 (続き) デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア)

```
  /TraySwitch true   % Controls input tray failover.
     % false = disable
     % true = enable

  /ManualFeedTimeout 1350  % Controls timeout for manual feed.
} if

  /Duplex false    % Controls two-sided printing.
     % false = disabled
     % true = enabled

  /Tumble false    % Controls two-sided binding.
     % false = long-edge binding
     % true = short-edge binding

  /Margins [0 0]                % Default margins - Do NOT change!

  /Policies    % Controls Policies for requests which
   <<     % cannot be satisfied:
    /Duplex 1    % 1: ignore request
    /HWResolution 1   % 0: create configuration error
    /PageSize 1
    /OutputType 0
    /PolicyNotFound 1
   >>

>> setpagedevice

 statusdict begin
    true setdefaultoutputpositioning           % Controls offset-stacking.
    true  setDECfs                             % Controls file system.
                                               % false = disable
                                               % true = enable
 end
```

(次ページに続く)

例 5–2 (続き) デフォルト・ファイルの例 (ポストスクリプト・レベル 2 ソフトウェア)

```
/FontKeyDict 12 dict dup begin  % FontKeyDict-Begin  Don't touch this line
  /Ryumin-Light (TC5XkDuKL-X>D[E?4\\?k) def
  /GothicBBB-Medium (D?k?X4u::g1:B\\LF-]ExCDXk) def
  /Jun101-Light (OT5XkDuKL-X7DCO?4\\?X) def
  /FutoMinA101-Bold (D?x?XBu=T-:OC\\LaXk1OQDXB) def
  /FutoGoB101-Bold (:?CQ?XDBDBuOF\\XXL1:Ba-O) def
  /MidashiMin-MA31 (x?ke?XD~D41T|\\XkLOk=x-x) def
  /MidashiGo-MB31 (DFk-X?e|~xB:D\\1Lk4X?xO) def
end def                         % FontKeyDict-End    Don't touch this line

statusdict begin setDECPGFontKey end

statusdict /DECSysStart known not
{
   (Sys/Start) run
   statusdict begin /DECSysStart 1 def end
} if

%
% Other timeouts and DECimage Plus defaults are contained in the
% lpssysparams.printername file.
%

%
% LaserJetIII device parameter default values are contained in the
% lpspcldefaults.printername file.
%

%
% End of section for PostScript Level 2 PrintServer Printers
%
}
if
```

5.3.3 デフォルト・ファイルの変更

この項では，デフォルト・ファイルの変更方法について説明します。以下のいずれかのファイルを編集します。

- LPSDEFAULTS.*printer-node-name*
- LPSSYSPARAMS.*printer-node-name* (ポストスクリプト・レベル 2 搭載プリンタのみ)

SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS]ディレクトリにある，以下のファイルのいずれかを印刷することにより，プリンタの省略時設定を決定できます。

ポストスクリプト・レベル 2 搭載プリンタ	LPS_STARTPAGE.PS
その他のプリンタ	SHOW_PSLEV1_DEFAULTS.PS

設定項目	対応するポストスクリプト・オペレータ	
	ポストスクリプト・レベル 2 搭載プリンタ	その他のプリンタ
プリンタ名	PrinterName[1]	setprintername
給紙トレイ	InputAttributes	setdefaultpapertray
排紙トレイ	OutputType	setdefaultoutputtray
ジョブ時間切れ値	JobTimeout[1]	setdefaultjobtimeout
ページ時間切れ値	NA	setdefaultpagetimeout
イメージ拡張機能	InstallSpecialImageActive[1]	setdefaultDECimage
片面/両面印刷	Duplex	setdefaultduplexmode
オフセット・スタッキング	setdefaultoutputpositioning	setdefaultoutputpositioning
給紙トレイ・フェイルオーバー	TraySwitch	NA
マニュアル・フィード時間切れ値	ManualFeedTimeout	NA

[1]これらのオペレータは，システム・パラメータ・ファイルにあります。

注意

以下の行をファイルに含めないようご注意ください。

```
serverdict begin
password
exitserver
```

このコードにより，プリンタがハングすることがあります。

5.3.3.1 デフォルト・ファイルおよびシステム・パラメータ・ファイルの編集

これらのファイルを編集するときには，以下のことにご注意ください。

- パーセント記号 (%) を削除しないでください。これはポストスクリプト・インタプリタに対するコメント行を示します。
- どの行を変更したらよいか，また省略時の値を設定するポストスクリプト・オペレータにどんな値を与えればよいかを判断するために，ファイル中のコメントをお読みください。
- ファイル中の単語の大文字/小文字を変更しないでください。ポストスクリプト・コマンドは大文字/小文字を区別します。たとえば，‘‘false’’を変更するときは‘‘TRUE’’ではなく‘‘true’’としてください。

ポストスクリプト・オペレータによるポストスクリプト・ファイルの作成について詳しくは，「PrintServer Printers PostScript Level 2 Programmer’s Supplement」または「Digital PostScript Printers Programmer’s Supplement」を参照してください。

デフォルト・ファイルおよびシステム・パラメータ・ファイルを変更する場合は，以下の手続きに従ってください。

1. PrintServer プリンタがすでにブートされている場合は，新しいデフォルト・ファイルを実行するために，リモート・コンソールから reconfigure コマンドを入力してください。 reconfigure コマンドについては，第 6.6.4.7 項を参照してください。
2. LPS$ADD_PRINTSERVER.COM または LPS$CONFIG.COM を再度実行するときは，以下の質問に NO と答えてください。

```
The file LPSDEFAULTS.printer_node_name already exists.
Do you want to create a new file?  Enter Y or N: [N]?  N

The file LPSSYSPARAMS.printer_node_name already exists.
Do you want to create a new file?  Enter Y or N: [N]?  N
```

変更は保存されます。

5.3.4 PCL パラメータの変更

PCL デフォルト・ファイル LPSPCLDEFAULTS.*printer-node-name* は，ポストスクリプト・レベル 2 を搭載している PrintServer プリンタの PCL5 インタプリタに対する省略時のパラメータを含んでいます。 PCL の省略時設定を変更したい場合は，このファイルを編集してください。表 5–1 は，このファイルのパラメータの一覧です。

表 5–1 PCL パラメータ

指定項目	対応するパラメータ
各ページの印刷枚数	/Copies *x*
片面印刷	/Duplex 0
両面印刷	/Duplex 1
両面印刷 (タンブル)	/Duplex 2
モノスペース・フォント	/FontFixed true
プロポーショナル・フォント	/FontFixed false
フォントのポイント・サイズ (100 の倍数)	/FontHeight *x*
斜体	/FontItalic true
通常書体	/FontItalic false
省略時の常駐フォント	/FontNumber *x* (第 5.3.4.2 項を参照)
モノスペース・スケーラブル・フォントの文字数/インチ (100 の倍数)	/FontPitch *x*
内蔵常駐フォント	/FontSource 0
ダウンロードされるフォント	/FontSource 1
シンボル・セット	/FontSymbolSet *xxx* [1]
タイプフェース	/FontTypeface *x* [1]
フォントの太さ	/FontWeight -7 through +7
ポートレート・オリエンテーション	/Landscape false
ランドスケープ・オリエンテーション	/Landscape true

[1] 「Hewlett-Packard LaserJet III Technical Reference Manual」を参照。

(次ページに続く)

表 5–1 (続き) PCL パラメータ

指定項目	対応するパラメータ
行のラップ	/LineWrap true
行のトランケート	/LineWrap false
PCL エミュレーションのためのメモリ	/MaxLJMemory *x*
省略時の給紙トレイの用紙	/PaperSize -1
エグゼクティブ用紙	/PaperSize 1
レター用紙	/PaperSize 2
リーガル用紙	/PaperSize 3
A4 用紙	/PaperSize 26
3.875 x 7.5 のイメージ領域の封筒	/PaperSize 80
4.125 x 9.5 のイメージ領域の封筒 (#10 Bsiness)	/PaperSize 81
dl イメージ領域の封筒	/PaperSize 90
c5 イメージ領域の封筒	/PaperSize 91
上マージンの空白 (100 の倍数)	/TopMargin *x*
行間の空白 (100 の倍数)	/VMI *x*

5.3.4.1 PCL デフォルト・ファイルの編集

このファイルを編集するときは，以下のことに注意してください。

- パーセント記号 (%) を削除しないでください。この記号は，ポストスクリプト・インタプリタに対するコメントを示します。
- どの行を変更したらよいか，また省略時の値を設定する PCL オペレータにどんな値を与えればよいかを判断するために，ファイル中のコメントをお読みください。
- ファイル中の単語の大文字/小文字を変更しないでください。ポストスクリプト・コマンドは大文字/小文字を区別します。たとえば，‘‘false’’を変更するときは‘‘TRUE’’ではなく‘‘true’’にしてください。

PCL デフォルト・ファイルを編集する場合は，以下の手続きに従ってください。

1. PrintServer プリンタがすでにブートされている場合は，新しいデフォルト・ファイルを実行するために，リモート・コンソールから reconfigure コマンド

を入力してください。 reconfigure コマンドについては，第 6.6.4.7 項を参照してください。

2. LPS$ADD_PRINTSERVER.COM または LPS$CONFIG.COM を再度実行するときは，以下の質問に NO と答えてください。

```
The file LPSPCLDEFAULTS.printer_node_name already exists.
Do you want to create a new file?  Enter Y of N: [N]?  N
```

変更は保存されます。

5.3.4.2 PCL サンプル・ファイルの印刷

日本語 PrintServer Software V5.1 for OpenVMS には，各種の PCL フォントを示すファイルがあります。これらのフォントを見るためには，SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS]:LPS_PCLFONTSAMPLE.PS を印刷してください。

5.4 リソース・ローディング・ファイル

リソース・ローディング・ファイル LPS$SUPPORT:LPSRESOURCES.*printer-node-name* は，インストレーション後の手続きを実行したときに作成されます。

5.4.1 テキスト・トランスレータのプロローグ・ファイル処理

プリント・クライアントに含まれているテキスト・トランスレータは，プリント・ジョブの開始時に大量のポストスクリプト・プロローグ処理を行います。この処理はプリント・ジョブの内容によらず常に同じなので，ブート時にプリンタに常駐させておけば，ジョブの印刷時間が短縮されます。リソース・ローディング・ファイルの最初にこれを常駐させるために必要な記述があるので，これらの行は変更しないでください。

リソース・ローディング・ファイルの例

```
filename lps_deckanji_prologue.ps
type prologue
name lps_deckanji_prologue
version V3.2-00

filename ps_supplement.ps
type prologue
name ps_supplement
version 1.8
#
# Add additional resources below this line
```

5.4.2 リソース・ローディング・ファイルの変更

テキスト・トランスレータのプロローグ・ファイル以外にも，ブート時に PrintServer にポストスクリプト・ファイルを常駐させることができます。常駐させたいポストスクリプト・ファイル名を，以下の例に従ってテキスト・エディタを使ってリソース・ローディング・ファイルの最後に追加してください。#と%は，コメント行です。

例：lps_errorhandler.ps と special_font.ps をブート時に常駐させるとき

```
filename lps_deckanji_prologue.ps
type prologue
name lps_deckanji_prologue
version V3.2-00

filename ps_supplement.ps
type prologue
name ps_supplement
version 1.8
#
# Add additional resources below this line
%
% This file contains a PostScript error handler
file_name lps_errorhandler.ps
%
% This one loads a font to print our corporate logo
file_name special_font.ps
```

5.4.3 リソース・ローディング・ファイルの格納場所

PrintServer に常駐させるファイル (lps_deckanji_prologue.ps を含む) は LPS$ROOT: ディレクトリまたはそのサブ・ディレクトリ上になくてはなりません。以下は，第 5.4.2 項の例で示したポストスクリプト・ファイルをサブ・ディレクトリに置いた場合の例です。

```
$ CREATE/DIRECTORY LPS$ROOT:[RESOURCE_FILE]
$ COPY SYS$SYSROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]LPS_ERRORHANDLER.PS -
LPS$ROOT:[RESOURCE_FILE]LPS_ERRORHANDLER.PS
$ COPY SPECIAL_FONT.PS LPS$ROOT:[RESOURCE_FILE]SPECIAL_FONT.PS
```

対応するリソース・ローディング・ファイルの内容

```
filename lps_deckanji_prologue.ps
type prologue
name lps_deckanji_prologue
version V3.2-00

filename ps_supplement.ps
type prologue
name ps_supplement
version 1.8
#
# Add additional resources below this line
%
% This file contains a PostScript error handler
file_name resource_file/lps_errorhandler.ps
%
% This one loads a font to print our corporate logo
file_name resource_file/special_font.ps
```

5.5 セットアップ・ファイル

セットアップ・ファイル LPS$SUPPORT:LPSSETUP.*printer-node-name* は，インストレーション後の手続きを実行したときに作成されます。

セットアップ・ファイルにポストスクリプト・コマンドを直接記述しておくと，PrintServer のブート時にダウンライン・ロードされ，すべてのジョブに反映されます。たとえば，showpage の再定義やデフォルト・ファイルで行っている給紙，排紙トレイの設定などもできます。

例：showpage の再定義と給紙，排紙トレイの設定

```
%!
% Add PostScript setup code below this line
%
statusdict begin
/shpg showpage def
1 setdefaultpapertray
3 setdefaultoutputtray
end
%
```

5.6 その他

- 構成ファイル，デフォルト・ファイル，リソース・ローディング・ファイル，およびセットアップ・ファイルは，PrintServer をブートするたびにダウンライン・ロードされます。またオプション・ファイルは，サポーティング・ホスト上でマネージメント・クライアントを起動するときに，読み込まれます。
- デフォルト・ファイル，リソース・ローディング・ファイル，セットアップ・ファイルを変更するには，ポストスクリプト言語の知識が必要です。ポストスクリプト言語について詳しくは，「ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル 第 2 版」および「PostScript Printers Programmer's Supplement」を参照してください。
- デフォルト・ファイル，リソース・ローディング・ファイル，セットアップ・ファイルには，以下の行は絶対に入れないでください。

```
serverdict begin
password
exitserver
```

- 構成ファイル，およびデフォルト・ファイルを変更した場合は，コンソール・クライアントから reconfigure コマンドを実行すれば，変更が反映されます。 PrintServer を再ブートする必要はありません。 reconfigure コマンドについては第 6 章を参照してください。
- リソース・ローディング・ファイル，セットアップ・ファイルを変更した場合は， PrintServer を再ブートしてください。ブートすることによって必要なファイルが PrintServer にダウンライン・ロードされます。

6

PRISM (Printer Status Manager) およびコンソール・クライアント機能について

この章では，PRISM (Printer Status Manager) およびコンソール・クライアントについて説明します。

PRISM により，ネットワーク上のすべての PrintServer を監視できます。

サポーティング・ホスト上で起動するコンソール・クライアントを，リモート・コンソール・クライアントと呼びます。この章での説明は概略ですので，詳しくは『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

6.1 PRISM (Printer Status Manager) によるネットワーク上のプリンタの監視

PRISM (Printer Status Manager) を使用して，ネットワーク上のすべての PrintServer を監視できます。 PRISM はプリンタの現在の状態 (印刷中，処理中，紙切れ，紙詰まりなど) を表示します。これにより，各プリンタの状態を知るために各プリンタのフロント・パネルをチェックしたり，リモート・コンソール機能を使用する必要がなくなります。

PRISM を使用するには，ウィンドウ端末が必要です。

6.1.1 PRISM の起動

PRISM を起動するには次のコマンドを入力します。

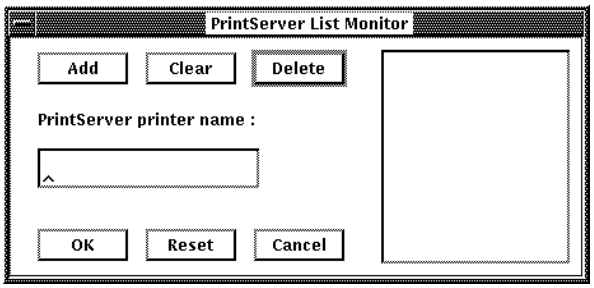
```
$ MCR LPS$PRISM
```

最初のウィンドウでは，監視するプリンタを追加するための空白の領域が表示されます。

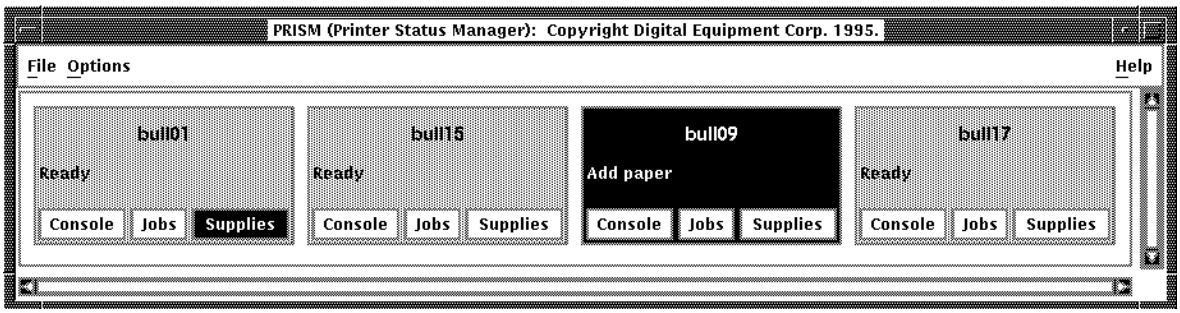
6.1.2 PRISM へのプリンタの登録

次の手順に従って，監視するプリンタのノード名を登録します。

1. Options メニューをプル・ダウンして PrintServer List ... を選択します。次のウィンドウが表示されます。



2. 監視するプリンタ名を入力して，Add ボタンをクリックします。最大 40 台までのプリンタを登録できます。
3. リストへのプリンタの登録が終了したら OK ボタンをクリックします。 PRISM のメイン・ウィンドウに各プリンタの現在の状態が表示されます。



6.1.3 プリンタの状態の確認

各プリンタのボックスは，プリンタの状態に対応して色が変化します。次の表に色の意味を示します。

カラー・モニタ	モノクローム・モニタ[1]	意味
緑	薄グレイ	レディ状態，印刷中，ジョブの処理中のいずれかの状態。
黄	濃グレイ	ウォームアップ状態あるいはエラーが発生しているが継続して印刷可能な状態。
赤	黒	エラーが発生してジョブを印刷できない状態で，担当者による対処を必要とする状態。

[1] この表は，モノクローム・モニタのウィンドウ色の前景色が黒で背景色が白であることを想定している。使用しているモニタ色の前景色が白で背景色が黒である場合は，濃グレイはレディ状態，グレイはソフトウェアのエラー，白は重大なエラーが発生したことを示す。

プリンタ・アイコンでの状態表示

PRISM ウィンドウをアイコン化している場合でも，プリンタの状態を監視できます。アイコン色がプリンタの状態を表わします。

白あるいは緑のアイコンはプリンタが問題なく稼動中であることを示します。

黒または赤の色のアイコンは，少なくとも 1 つのプリンタにエラーが発生していることを示します。

6.1.4 プリンタ状態の監視

PRISM では，各種の方法によりプリンタをチェックできます。

Supplies	Supplies ボタンが強調表示されている場合は，プリンタの保守が必要です。Supplies をクリックして，プリンタに必要な保守あるいはサプライを確認してください。
Jobs	表示されているユーザ名の Job が現在印刷中であることを示します。
Console	そのプリンタのリモート・コンソール機能を起動します。

6.1.5 表示枠の変更

PRISM をカスタマイズして，プリンタ状態を表示する枠の桁数を 1 ~ 8 に指定できます。 Options メニューから Columns ... を選択して，最適な数を選択してください。

6.1.6 PRISM のチェック回数の指定

省略時の設定では， PRISM は 20 秒毎にプリンタの状態をチェックします。 Options メニューから Interval を選択して，チェックの間隔を長くできます。長い間隔を指定した場合は，ネットワークのトラフィック量が減少します。

6.1.7 プリンタ・リストとウィンドウ設定の保存

ウィンドウの設定と監視するプリンタ・リストを保存することで， PRISM を起動するたびにプリンタの登録およびウィンドウのカスタマイズを行う必要がなくなります。

- Options メニューから Save Options を選択して， SYS$LOGIN:LPS$PRISM.DAT という省略時のファイルに設定を保存します。

- いくつかの異なる設定を保存する場合は，Options メニューから Save As ... を選択します。 PRISM は，設定を保存するファイル名を問い合わせます。

6.1.8 プリンタ・リストとウィンドウ設定のリストア

PRISM を起動すると，プリンタ設定の省略時のファイルである SYS$LOGIN:LPS$PRISM.DAT を読み込みます。 Options メニューから Restore Options を選択することでも，省略時の設定を読み込むことができます。

異なるプリンタ・リストに保存した異なるプリンタ設定を読み込む場合は，Options メニューから Restore From ... を選択し，必要なプリンタ・リスト名を入力します。

6.2 リモート・コンソール・クライアントの起動方法

リモート・コンソール機能には，以下の 2 種類のインターフェイスがあります。

- ウィンドウ・インターフェイス
  メニュー・バーのオプションを選択することにより，コマンドを入力できます。
- コマンド・ライン・インターフェイス
  各コマンドをタイプ入力します。

インターフェイス	起動コマンド
ウィンドウ	$ **MCR LPS$XCONSOLE**
コマンド・ライン	$ **MCR LPS$CONSOLE *printer-node-name***

図 6–1 は，ウィンドウ・インターフェイスのスタートアップ画面です。

図 6–1　リモート・コンソール機能 — DECWindows

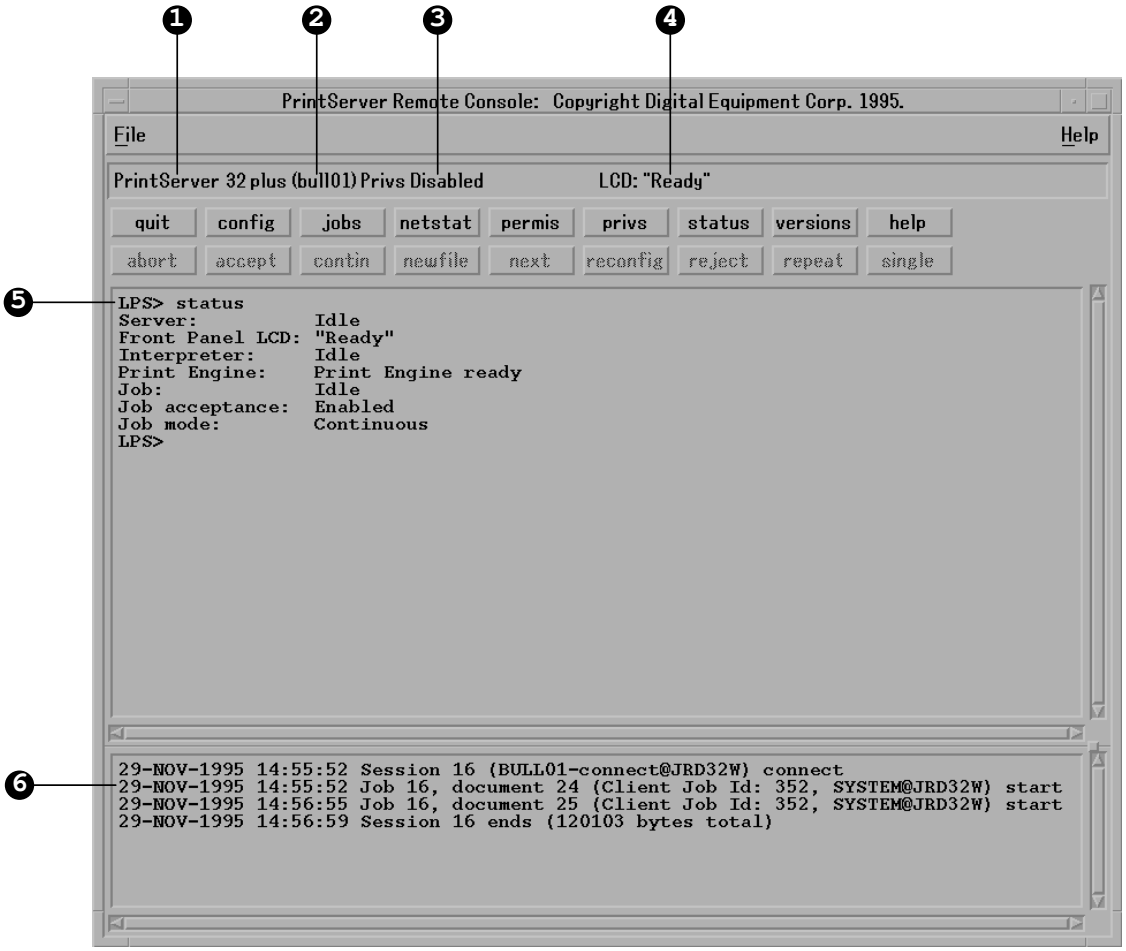
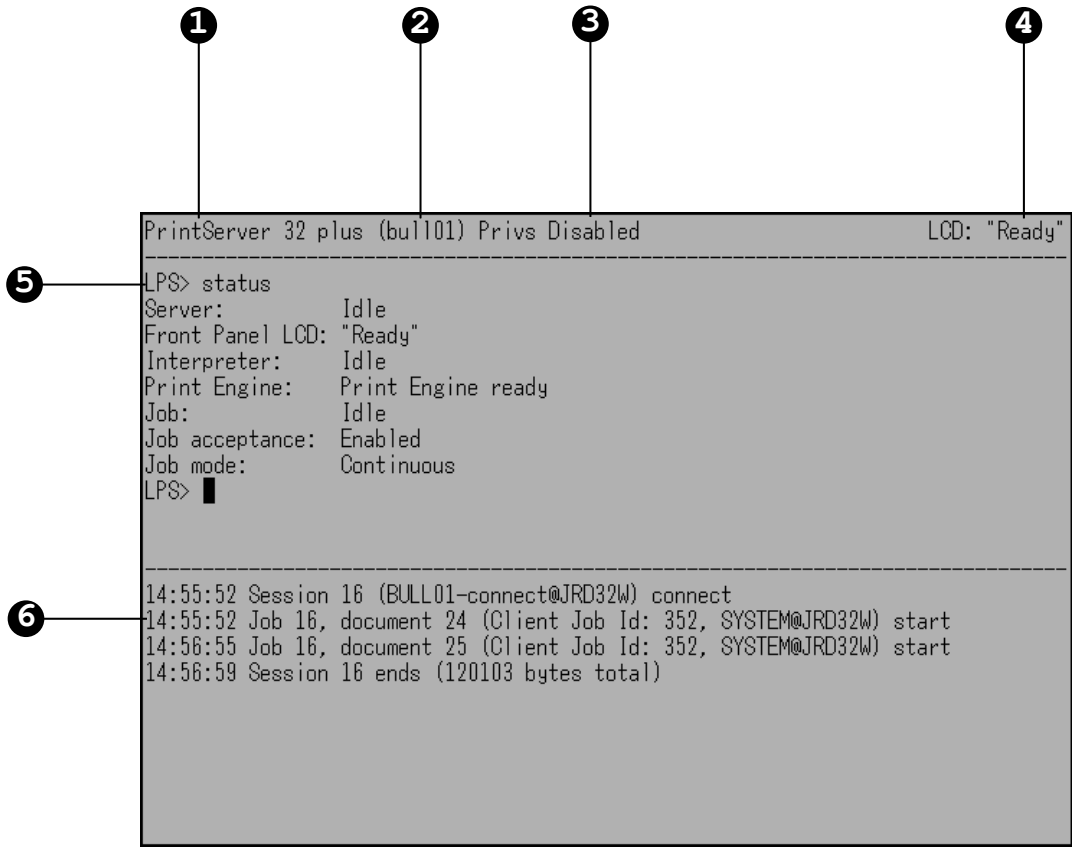


図 6–2 は，リモート・コンソール機能のコマンド・ライン画面です。

図 6–2 リモート・コンソール機能 — コマンド・ライン



エリア番号	表示内容
❶	PrintServer プリンタ・モデル 以下のいずれかが表示される PrintServer 17/600 PrintServer 32 PrintServer 32 plus PrintServer 40 plus turbo PrintServer 20
❷	構成ファイルで指定した PrintServer プリンタ名。インターネット・ノード名または DECnet ノード名と同じである必要はない
❸	特権モード。初期設定では，非特権モード (disabled)
❹	PrintServer プリンタの状態。ジョブの接続を待っているときは Ready 状態になり，構成サービスを待っているときは， Waiting for configuration と表示される
❺	リモート・コンソール機能プロンプト (LPS>)。ここにコマンドを入力すると，その結果の出力が表示される
❻	ログ・ウィンドウ。プリンタで起こったイベントやエラーの情報が表示される。上記の例ならば，ジョブが開始された時刻 (14:55:52)， job 番号 (16)，プリント・クライアント・エントリ番号 (352)，ノード名 (JRD32W)，ユーザ名 (SYSTEM) が表示される

6.3 HELP ファイルの提供

以下のコマンドを入力すると，コンソール・クライアントの HELP が提供されます。

```
$ HELP LPS_CONSOLE
```

6.4 リモート・コンソール・クライアントへのブロードキャスト・メッセージ

通常では，システムのブロードキャスト・メッセージはコンソール・クライアントには表示されませんが， SET HOST を使って他のプロセッサに接続し，リモート・コンソール・クライアントを起動した場合，ブロードキャスト・メッセージがコンソール・クライアント上の表示を上書きする場合があります。この場合，Ctrl/Wでスクリーンをクリアしてください。

また，SET HOST する前に以下の操作をすることにより，この問題を避けることができます。

```
$ SET TERM/NOBROADCAST
```

SET HOST から抜けた後は，以下の操作を行ってください。

```
$ SET TERM/BROADCAST
```

Ctrl/Y を使用するとブロードキャスト・メッセージが受信できない状態になります。その場合は，以下の操作を行ってください。

```
$ SET BROADCAST=ALL
```

6.5 リモート・コンソール・クライアントのタブ設定

リモート・コンソール・クライアントの表示では，タブを使用しています。タブの設定により表示が乱れることがあります。以下にその例を示します。

タブ・ストップが 8 文字間隔 (タブ・ストップ 9， 17， 25) で設定されている場合

```
LPS> status
Server:         Idle
Interpreter:    Idle
Print Engine:   Print Engine ready
Job:            Idle
Job acceptance: Enabled
Job mode:       Continuous
LPS>
```

タブ・ストップが 3 文字間隔 (タブ・ストップ 3， 6， 9 ...) で設定されている場合

```
LPS> status
Server:    Idle
Interpreter:  Idle
Print Engine: Print Engine ready
Job:    Idle
Job acceptance: Enabled
Job mode:  Continuous
LPS>
```

6.6 コンソール・クライアント・コマンド

ここでは，以下の事を説明します。

- コンソール・クライアント・コマンドの入力方法
- help の使い方
- 非特権コマンド
- 特権コマンド

6.6.1 コンソール・クライアント・コマンドの入力方法

コンソール・クライアントのコマンドは，LPS>プロンプトに対して入力します。コマンド入力後は，Returnを押してください。入力は，大文字，小文字どちらでもかまいません。

6.6.2 help の使い方

コマンドの一覧を見たいときは，? を入力してください。

例:

```
LPS> ?
configuration   exit    help    jobs    man     netstat permissions     privs
quit    showq   status  su      versions        ?
```

コマンドの説明が見たいときは，help の後にそのコマンドを入力してください。Space キーを押すとコマンド・ウィンドウが 1 ページ分スクロールします。Return を押すと一行ずつスクロールします。

例:

```
LPS> help jobs
                                                                    jobs

     NAME
          jobs - show the current job queue

     SYNTAX
          jobs

--press space for more--
```

コマンドの簡単な説明を見たい場合は，? の後にそのコマンドを入力してください。

例:

```
LPS> ? jobs
jobs    show the current job queue
```

Help のテキストは，サポーティング・ホストから読み込むので，マネージメント・クライアントとの接続が切れている場合は，以下のようなメッセージがでます。

```
LPS> help jobs
No help page for jobs
```

省略形 (?) を使う場合は，サポーティング・ホストに繋がっている必要はありません。

6.6.3 非特権コマンド

非特権コマンドは，一般ユーザが使えるコマンドです。非特権コマンドの一覧は，? を入力してください。

```
LPS> ?
configuration   exit    help    jobs    man     netstat permissions     privs
quit    showq   status  su      versions        ?
LPS>
```

6.6.3.1 Configuration コマンド

このコマンドは，PrintServer の構成を確認する場合に使います。各行の説明は『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

```
LPS> configuration
Accounting:     Off
Logging:        On -> JESD10
Boot host:      aa:00:04:00:f7:f5 (JESD10)
Configuration host(s):
  Initial:      JESD10
  Latest :      JESD10
IP address:     16.159.32.25
IP subnet mask: 255.255.255.0
Ethernet:       aa:00:04:00:4b:e9
DECnet address: 58.331
Consoles:       SURUGA@JRDESG
Option(s):
  Memory         8M base + 16M optional
  Duplexer      Installed
  Env. Feeder   Not Installed
  Network board ThinWire/ThickWire
LPS>
```

6.6.3.2 Exit または Quit コマンド

コンソール・クライアントを終了するときに使います。

```
LPS> exit
```

6.6.3.3 Jobs または Showq コマンド

PrintServer のキューを見るときに使います。 Jobs と Showq は同じ情報を表示します。

```
LPS> jobs
103:    client jobId 969        YAMADA@AUGUST      [via AUGUST]    ()

LPS> showq
103:    client jobId 969        YAMADA@AUGUST      [via AUGUST]    ()
LPS>
```

6.6.3.4 Netstat コマンド

Internet ネットワークの状態を見ることができます。各行の説明は『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

```
LPS> netstat
remote , port          rcv-q snd-q r-wnd s-wnd snd-seq   ack-seq   state
16.152.0.68 , 1579        0     0  4096 16384 x0274F515 x1CD9675E ESTABLISHED
16.152.0.68 , 1584        0     0  4096 16384 x07C1EBF7 x2289CDA0 ESTABLISHED

No Routes...
IP Address              Ethernet Address
16.152.0.91             aa:00:04:00:4a:e9
16.152.0.68             aa:00:04:00:94:e8
```

6.6.3.5 Permissions コマンド

Permissions コマンドは，どの DECnet および Internet クライアントが PrintServer を利用できるかを表示します。これらの設定は，構成ファイルで行われます。構成ファイルに allowdn， denydn， allowip， denyip コマンドの記述がない場合は，以下のように表示されます。

```
LPS> permissions
DECnet access control disabled (all connections allowed)
IP access control disabled (all connections allowed)
LPS>
```

構成ファイルに以下の記述がある場合の例を示します。

```
allowdn all
denydn 4.436
denydn 55.480
allowip 62
allowip 55

LPS> permissions
DECnet access control:  address action
                        55.480  deny
                        4.436   deny
                        All     allow
IP access control:      address         mask            action
                        55.0.0.0        255.0.0.0       allow
                        62.0.0.0        255.0.0.0       allow
LPS>
```

この例では，DECnet アドレス 55.480， 4.436 以外のクライアントおよび Internet ノード・アドレス 55， 62 のクライアントが PrintServer を利用できます。この場合のクライアントとは，プリント・クライアント，マネージメント・クライアント，およびコンソール・クライアントを含みます。

6.6.3.6 Status コマンド

PrintServer の状態を表示します。 PrintServer がジョブを受け付ける状態にセットされている場合は， Job acceptance: Enabled と表示され，受け付けない場合は， Job acceptance: Disabled と表示されます。 Job mode には， Continuous (継続モード) と Single (シングル・モード) があります。継続モードは，キューに登録されたジョブが順番に自動的に出力されます。シングル・モードは，ジョブごとに PrintServer が印刷を停止し， continuous または next コマンドを入力しない限り次のジョブは印刷されません。

```
LPS> status
Server:         Printing YAMADA@AUGUST
Interpreter:    Active
Print Engine:   Document has been printed
Job:            Waiting for document completion
Job acceptance: Enabled
Job mode:       Continuous
```

6.6.3.7 Versions コマンド

PrintServer で稼動しているソフトウェア，およびファームウェアのバージョンを表示します。

日本語 PrintServer 17/600 の場合

```
LPS> versions

PrintServer Software:       V5.1-nn
VAXELN:                     V4.5
Interpreter:                Adobe PostScript Level 2 V2014.102-nn
Controller hardware:        nn-nn-nn-nn-nn-nn-nn-nn
Controller firmware:        n.n n.n n.n
LPS>
```

日本語 PrintServer 32 の場合

```
LPS> versions
PrintServer Software    V5.1-nn
VAXELN                  V4.5
Print Engine Firmware   1.2
Interpreter             Adobe PostScript V48.3-n
```

6.6.4 コンソール・クライアントの特権コマンド

コンソール・クライアントの特権コマンドを使う場合は， privs または su コマンドを使って privileged mode (特権モード) に入らなくてはなりません。特権モードに入る場合はパスワードが必要です。パスワードは構成ファイルで設定されます。

```
LPS> privs
Password:
Privileges are now enabled
LPS>
```

パスワードは表示 (エコーバック) されません。間違ったパスワードを入力した場合は，特権モードには入れません。

```
LPS> privs
Password:
Sorry
LPS>
```

特権モードから非特権モードに戻る場合は，exit コマンドを入力してください。

6.6.4.1 Abort コマンド

abort コマンドは，印刷中およびキューに登録されているジョブをキューから削除します。パラメータとしてジョブ番号が必要です。ジョブ番号は，jobs または showq コマンドで左端に表示されます (第 6.6.3.3 項参照)。

```
LPS> abort 4
```

注意

ULTRIX プリント・クライアントから iplpscomm (TCP/IP) を使用して登録されたジョブは，プリント状態にならないと削除できません。このジョブをプリント状態になる前に削除したい場合は，プリント・クライアントから lprm を使用して削除してください。

6.6.4.2 Accept コマンド

accept コマンドは，PrintServer がプリント・クライアントからジョブを受け付ける状態にします。

```
LPS> accept
Job acceptance enable
```

6.6.4.3 Continuous コマンド

continuous コマンドは，PrintServer がジョブとジョブの間に止まらず継続して動く状態 (継続モード) にします。

```
LPS> continuous
```

6.6.4.4 Exit または Quit コマンド

exit または quit コマンドは，特権モードから抜けるときに使います。

```
LPS> exit
Privileges are now disable
```

6.6.4.5 Newfile コマンド

newfile コマンドは，現在存在するログまたは，アカウンティング・ファイルの名称を変更して新しいファイルを作成します。

```
LPS> newfile acct
All open accounting files closed.
```

新しいアカウンティング・ファイルを作成します。

```
LPS> newfile log
All open log files closed.
```

新しいログ・ファイルを作成します。

```
LPS> newfile
All open accounting and log files closed.
```

新しいアカウンティングおよびログ・ファイルを作成します。

6.6.4.6 Next コマンド

シングル・モードに設定されている場合， next コマンドを使ってキューに登録されている最初のジョブを印刷します。

```
LPS> next
```

ジョブがキューに登録されていないときは，以下のメッセージが表示されます。

```
LPS> next
No job pending!
```

6.6.4.7 Reconfigure コマンド

サポーティング・ホスト上にある構成ファイル，およびデフォルト・ファイルを変更した場合， reconfigure コマンドを使って PrintServer を再設定することができます。

```
LPS> reconfigure
Configuring from jackson.xxx.yyy.com
Loading $DEFAULTS
$DEFAULTS loaded
LPS>
--------------------------------------------------------------------------
16:21:26 exitserver has been executed - permanent state may be changed
```

マネージメント・クライアントがサポーティング・ホスト上で動いていないと，以下のメッセージが表示されます。

```
No active configuration connections
```

このメッセージが表示されたときは，マネージメント・クライアントを起動してください。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON.COM printer-node-name
```

注意

PrintServer の TCP/IP アドレスを指定するコマンド (ipaddress) と，フロント・パネルを指定するコマンド (language) を変更し， Reconfigure コマンドを使用しても，設定は変更されません。新しい ipaddress および language を指定する場合は， PrintServer を再ブートしてください。

6.6.4.8 Reject コマンド

reject コマンドは， PrintServer がジョブをプリント・クライアントから受け付けない状態にします。

6.6.4.9 Repeat コマンド

repeat コマンドは，自動的にある一定の周期で jobs， showq， netstat，または status コマンドを稼動します。

```
LPS> repeat 60
LPS> jobs
```

これで jobs コマンドが 60 秒おきに稼動します。 repeat モードを解除させたいときは，プロンプトに対して Return または，別のコマンドを入力します。ただし，設

定したコマンド (この場合 jobs) は，まだ repeat モードなので jobs をもう一度入力すると再び repeat モードになります。

repeat モードを終了させたいときは，以下のように入力してください。

```
LPS> repeat 0
```

引き数なしで入力すると，現在設定されている値が表示されます。

```
LPS> repeat
Repeat interval is 60 seconds
```

引き数が -1 だと待ち時間なしで継続的にコマンドが実行されます。

```
LPS> repeat -1
```

注意

repeat コマンドで設定する値が小さすぎると， PrintServer の印刷速度が遅くなることがあります。設定する値は， 30 以上をお勧めします。

6.6.4.10 Single コマンド

Single コマンドは， PrintServer をシングル・モードに設定します。シングル・モードに設定すると，ジョブは続けて印刷されず，ジョブとジョブの間で PrintServer は印刷を停止します。 next コマンドを入力すると次のジョブが出力されます。 continuous コマンドを入力するとシングル・モードが解除され，継続モードになります。

6.6.4.11 Reboot コマンド

リモート・コンソール機能を使用して， PrintServer をリモートで再起動できます。コマンド・ライン・インターフェイスの場合は，以下のように入力してください。

```
LPS> reboot
This command will cause the PrintServer printer to reload its software.
If there is a job in progress, it may jam.
Do you still want to to reboot the printer? (Yes/[No]): Y
```

```
This console connection will be broken by the reboot...
15:23:33 Remote console "REBOOT" command executed, rebooting
```

7

アカウンティング機能について

この章では，アカウンティング機能について説明します。この章での説明は概略ですので，詳しくは『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

アカウンティング機能は，各プリント・クライアントから PrintServer を利用した情報を，マネージメント・クライアントで管理する機能です。またアカウンティング・ユーティリティを使って集められた情報より，アカウンティング・レポートの作成ができます。アカウンティング・レポートには，使用した用紙数，印刷面数，使用した CPU 時間にそれぞれの単価を指定し，各ユーザが使用した資源を金額として算出することができます。

7.1 構成ファイルの設定

PrintServer がマネージメント・クライアントにアカウンティング情報を送る場合，構成ファイルにその設定を行わなくてはなりません。詳細は，本書の第 5.2 節を参照してください。

7.2 マネージメント・クライアントの設定

マネージメント・クライアントが PrintServer からアカウンティング情報を受け取る場合，オプション・ファイルにその設定を行わなくてはなりません。詳細は，第 5.1 節を参照してください。

7.3 アカウンティング情報

PrintServer から出力されるアカウンティング情報には以下の項目が含まれています。

DATE	印刷開始日 (*dd-mmm-yyyy*)
START	印刷開始時間 (*hh:mm:ss.cc*)
USER	ジョブを出力したユーザ
HOST	ジョブを出力したプリント・クライアント
SIDES	印刷したページ数
MEDIA	印刷に使われた用紙サイズ
SHEETS	印刷した用紙数
TIME	ポストスクリプト・インタプリタの処理時間 (1/1000 秒)
IN	プリンタに送られたポストスクリプト・ファイルの大きさ (Byte)

7.4 アカウンティング・ユーティリティの起動

以下にアカウンティング・ユーティリティの起動方法を示します。起動方法の例は，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』第 12.1 節を参照してください。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:LPS$ACCTREPORT
```

7.5 アカウンティング・ユーティリティの起動例

アカウンティング・ユーティリティを起動して作成されるレポートには大きく分けて，ロング・レポートとショート・レポートがあります。それぞれの出力例は，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』第 12.2.1 項 Example 12-1，および第 12.2.2 項 Example 12-2 の表を参照してください。

7.6 ジョブが強制終了した場合のアカウンティング処理

ジョブが強制終了したとき，SIDES の値が SHEETS の値より大きくなることがあります。

- SIDES 値は，ポストスクリプト・インタプリタが作成した論理ページ数を示します
- SHEETS 値は，PrintServer が出力した用紙数を示します

片面印刷の場合は，SIDES 値と SHEETS 値は通常等しくなります。しかしジョブが強制終了した場合，ポストスクリプト・インタプリタはページを作成したにもかかわらず PrintServer が印刷しなかったときには，SIDES 値は SHEETS 値よりも大きくなります。

8

問題解決の手順

この章で説明する問題解決の手順は，ハードウェアおよびソフトウェアの問題を診断するのに役立ちます。以下の表は，問題を診断するために適切な節を選ぶのに役立ちます。

こんな場合は . . .		参照する節
セルフ・テストの画面で 0 まで到達しない	ハードウェア障害です	最寄りの日本 DEC 支店/営業所へお問い合わせください
オペレータ・パネル・ディスプレイが以下のところでストップする: `08-00-2B-0C-48-EE` *x.x y.y z.z*	プライマリ・ブートが失敗しました	第 8.1 節

オペレータ・パネルが以下のエラー・コードのうちの 1 つを表示する
 	
`1501.0001`
`?54`
`?56`
`?57`
	プライマリ・ブートが失敗しました	第 8.1 節

オペレータ・パネルの表示が以下のところでストップする `08-00-2B-0C-48-EE` `VAXELN V4.5 LPS`*nn*	セカンダリ・ブートが失敗しました	第 8.2 節

オペレータ・パネルが以下のエラー・メッセージのうちの 1 つを表示する
 	
`Reboot PrintServer`
 	
`System shutdown complete-`
`use console to halt system`
	プリンタはブートされましたが，クラッシュしました	第 8.3 節

オペレータ・パネルはReady と表示しているが印刷できない	プリント・クライアントがプリンタにアクセスできません	第 8.4 節

どのタイプの問題の場合でも，まず最初に，第 3 章の指示に従ってインストレーション後の手続きが実行されたことを確認してください。

8.1 プライマリ・ブート・プロシージャが失敗する

問題を解決するために，以降の節の手続きを実行してください。

8.1.1 ステップ 1: サポーティング・ホストの論理名の確認

LPS$SUPPORT および LPS$ROOT の論理名が，正しく定義されていることを確認してください。サポーティング・ホスト・システムへログインし，以下のコマンドを入力します。

```
$ SHOW LOGICAL/SYSTEM/FULL LPS$SUPPORT, LPS$ROOT
   "LPS$SUPPORT" [EXEC] = "device-name:[LPS$SERVER]" (LNM$SYSTEM_TABLE)
   "LPS$ROOT" [EXEC] = "device-name:[LPS$SERVER.]" (LNM$SYSTEM_TABLE)
```

論理名が上記のように定義されている場合には，第 8.1.2 項に進んでください。論理名が上記のように定義されていない場合には， LPS$STARTUP_SERVICES を実行することにより，論理名を定義します。その後，プリンタを再ブートしてください。

```
$ @SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM LOGICALS
```

プリンタがブート・プロセスを正しく実行できない場合には，ネットワーク環境を確認してください。

8.1.2 ステップ 2: ネットワーク・イベントの監視

プリンタからブート要求を出した後，サポーティング・ホストでブート要求を受信できない場合には，ネットワーク構成に問題があると考えられます。このような場合には，サポーティング・ホストがブート要求を受信しているかどうかを判断するために，ネットワーク・イベントを監視します。

注意

以下の操作では，いろいろなネットワーク制御プログラム (NCP)・パラメータと，それらのパラメータが格納されるデータベースについて説明します。パラメータを操作するコマンドの例では，NCP SET コマンドを使用しており，このコマンドは揮発性データベースにのみ影響を与えます。揮発性データベースを変更するには，OPER 特権が必要です。

NCP パラメータを変更する場合には，NCP DEFINE コマンドを使用して変更した NCP パラメータを NCP パーマネント・データベースへ格納するようにしてください。パーマネント・データベースを変更するには，SYSPRV 特権が必要です。

NCP コマンドについての詳しい説明が必要な場合には，以下のように入力してください。

```
$ MCR NCP HELP
```

NCP についての詳しい説明は，「VMS Network Control Program Manual」を参照してください。

ネットワーク・イベントを調べる場合には，次の操作を実行します。

ステップ	操作	参照項目
1	DECnet Phase V MOP をチェックする	第 8.1.2.1 項
2	NCP データベースをチェックする	第 8.1.2.2 項
3	サービス・サーキットをチェックする	第 8.1.2.3 項
4	ネットワーク・イベントを監視する	第 8.1.2.4 項
5	OPCOM メッセージを監視する	第 8.1.2.5 項
6	ネットワーク構成をチェックする	第 8.1.2.6 項
7	プリンタがブートされたかどうかを判断する	第 8.1.2.7 項
8	リモート・ブート・サービスを検出し，シャットダウンする	第 8.1.2.8 項

DECnet Phase V システム:
NCP がシステムで動かない場合は，NCP コマンドのかわりに NCL コマンドを使用してください。 NCP コマンドを NCL コマンドに変換する

DECNET_MIGRATE ツールの使用に関して詳しくは，「DECnet/OSI Network Management Guide」を参照してください。

8.1.2.1 DECnet Phase V MOP のチェック

システムで DECnet Phase V を実行している場合は，この項にある問題解決のステップに従ってください。

以下のコマンドを入力して，MOP が実行されていることを確認します。

```
$ MCR NCL SHOW MOP
```

システムが以下のメッセージの他にはなにも返さない場合は，MOP が実行されています。

```
Node 0 MOP
at YYYY-MM-DD-HH:MM:SS.578+00:00.113
```

システムがエラーを返した場合は，MOP が実行されていない可能性があります。以下のコマンドを入力して，MOP を起動してください。

```
$ @SYS$STARTUP:NET$STARTUP NETWORK MOP
```

NCL スタートアップ・ファイルの構成により，以下のコマンドが必要な場合もあります。

```
$ MCR NCL
NCL> CREATE NODE 0 MOP
NCL> ENABLE NODE 0 MOP
NCL> EXIT
```

詳しくは，「DECnet/OSI Network Management Guide」を参照してください。

8.1.2.2 NCP データベースのチェック

以下のコマンドを入力して，ブート・ホストの NCP データベースに PrintServer プリンタの正しいエントリが登録されているかどうかを確認します。

```
$ MCR NCP SHOW NODE printer-node-name CHARACTERISTICS
```

以下の例は，このコマンドからの出力例を示しています。

```
$ MCR NCP SHOW NODE BULL36 CHARACTERISTICS

Node Volatile Characteristics as of  8-JUN-1993 22:04:34

Remote node =   62.114 (BULL36)

Service circuit          = SVA-0
Hardware address         = 08-00-2B-0C-7E-8B
Load file                = LPS$ROOT:[SYS]LPS_PRINTSERVER.SYS
Access                   = incoming and outgoing
```

一部の情報が表示されない場合や誤っている場合には， SYS$MANAGER: LPS$NETSETUP.COM を実行することにより，必要な変更操作を実行してください。

NCP データベースがこの後も誤った情報を表示する場合には， LPS$ADD_ PRINTSERVER.COM プロシージャで入力したインストレーション後のデータに誤りがあります。以下を実行してください。

1. サービス・サーキット名， DECnet ノード・アドレス， Ethernet ハードウェア・アドレスが正しいかどうかを確認する
2. LPS$ADD_PRINTSERVER.COM プロシージャを実行する (第 3.1 節を参照)
3. プリンタを再ブートする

それでもブート・プロセスを正しく実行できない場合には，第 8.1.2.3 項に進んでください。

8.1.2.3 サービス・サーキットのチェック

PrintServer プリンタをブートするために使用されるサービス・サーキットに対して，サービスが有効な状態に設定されているかどうかを確認するために，サービス・サーキット属性をチェックします。

```
$ MCR NCP SHOW CIRCUIT circuit CHARACTERISTICS
```

ネットワーク・インターフェイスのサーキット名を指定します (第 3.1.4 項を参照)。 State が on に設定され， Service が enabled に設定されていることを確認し

てください。以下の例は，サーキット属性を表示するためのコマンドを示しています。

```
$ MCR NCP SHOW CIRCUIT SVA-0 CHARACTERISTICS

Circuit Volatile Characteristics as of  8-JUN-1993 23:59:23

Circuit = SVA-0

State                    = on
Service                  = enabled
Designated router        = 55.155
Cost                     = 4
Maximum routers allowed  = 33
Router priority          = 64
Hello timer              = 15
Type                     = Ethernet
Adjacent node            = 55.155
Listen timer             = 90
```

サービスが disabled に設定されている場合は，以下のコマンドを実行してください。以下の例でのサービス・サーキット名は SVA-0 です。

```
$ MCR NCP SET CIRCUIT SVA-0 STATE OFF
$ MCR NCP SET CIRCUIT SVA-0 SERVICE ENABLED STATE ON
```

注意

この手続きは，指定されたサーキットにアクティブ・リンクを持つプロセスに割り込みをかける可能性があります。

8.1.2.4 ネットワーク・イベントの報告機能を有効にする

NCP からネットワーク・イベントを記録するには，以下のようにします。

1. 表示したいイベントを選択する
2. 選択したイベントの報告機能を有効な状態に設定する

どのイベントが選択されており，イベント・ロギングが有効な状態に設定されているかどうかを確認するには，以下のコマンドを使用します。

```
$ MCR NCP SHOW LOGGING MONITOR
Logging Volatile Summary as of  8-JUN-1993 23:59:44
 Logging sink type = monitor
    Sink Node       Source           Events        State Name
   55.499 (NASDAQ)  (All sources)    0.0-9          on
                    (All sources)    2.0-1
                    (All sources)    4.2-13 15-16
                                     18-19
                    (All sources)    5.0-18
                    (All sources)    128.0-4
```

SET LOGGING MONITOR コマンド
ネットワーク処理に関するイベント・ロギングが有効な状態に設定されていない場合には，NCP SET LOGGING MONITOR コマンドを使用してイベントを選択し，イベントの報告を有効な状態にします。

```
$ MCR NCP SET LOGGING MONITOR STATE ON
```

特定のタイプのイベントを監視する場合には，イベント番号を指定します。

- 自動ライン・サービスを監視するには，イベント番号 0.3 を使用する
- 強制終了されたサービス要求を監視するには，イベント番号 0.7 を使用する

特定のイベントの報告を選択するには，以下のコマンドを入力します。

```
$ MCR NCP SET LOGGING MONITOR EVENT number
```

すべてのイベントの報告を選択するには，以下のコマンドを入力します。

```
$ MCR NCP SET LOGGING MONITOR KNOWN
```

8.1.2.5 OPCOM メッセージのチェック

OPCOM が実行されている場合には，選択されたネットワーク・イベントはシステム・コンソール，および有効な状態に設定されたターミナルに報告され，また，SYS$MANAGER:OPERATOR.LOG ファイルにも記録されます。

1. OPCOM が実行されているかどうかを判断するには，SHOW SYSTEM コマンドを入力し，OPCOM という名前のプロセスを探す

```
$ SHOW SYSTEM
```

2. OPCOM という名前のプロセスが存在しない場合には，以下のコマンドを入力して，そのプロセスを起動する

```
$ @SYS$SYSTEM:STARTUP OPCOM
```

このコマンドを正しく実行するには，SYSPRV 特権が必要です。

3. ネットワーク関連イベントの表示を有効な状態に設定するには，以下のコマンドを入力する

```
$ REPLY/ENABLE=NETWORK
```

以下は，ファイルが正しくロードされたことを示す，OPCOM からの報告の例です。

```
$
%%%%%%%%%%  OPCOM   8-JUN-1995 18:06:04.66  %%%%%%%%%%
Message from user DECNET on NASDAQ
DECnet event 0.3, automatic line service
From node 55.499 (NASDAQ),  8-JUN-1995 18:06:04.62
Circuit SVA-0, Load, Requested, Node = 62.114 (BULL36)
File = LPS$ROOT:[SYS]LPS_PRINTSERVER.SYS, Operating system
Ethernet address = 08-00-2B-0C-7E-8B

$
%%%%%%%%%%  OPCOM   8-JUN-1995 18:06:11.53  %%%%%%%%%%
Message from user DECNET on NASDAQ
DECnet event 0.3, automatic line service
From node 55.499 (NASDAQ),  8-JUN-1995 18:06:11.50
Circuit SVA-0, Load, Successful, Node = 62.114 (BULL36)
File = LPS$ROOT:[SYS]LPS_PRINTSERVER.SYS, Operating system
Ethernet address = 08-00-2B-0C-7E-8B
```

4. PrintServer プリンタをブートし，出力される OPCOM メッセージを確認する

OPCOM ソフトウェアは以下の場合に，プリンタからのブート要求を検出します。

- ネットワーク・イベントが有効な状態に設定されている場合
- PrintServer プリンタの Ethernet ハードウェア・アドレスが NCP データベースに登録されている場合

OPCOM 報告が ‘‘Load, Successful’’ 状態を示す場合には，プライマリ・ブート・プロセスは正常終了しています。

システムがプリンタからブート要求を受信しない場合には，ネットワーク構成をチェックしてください (第 8.1.2.6 項を参照)。

8.1.2.6 ネットワーク構成のチェック

特定のタイプのネットワーク・ブリッジとネットワーク・ルータは，ブート要求メッセージを除外 (フィルタリング) するように構成することができます。サポーティング・ホストとプリンタの間に，ブリッジまたはルータが存在するかどうかについては，ネットワーク管理者に確認してください。

注意

最初のブート要求メッセージは Ethernet マルチキャスト・アドレス AB-00-00-01-00-00 に送信されます。 DEC が提供するブリッジとルータは，このマルチキャスト・アドレスに送信されるメッセージを除外するように構成されています。

ブリッジまたはルータが存在する場合には，ブート要求メッセージの除外 (フィルタリング) を禁止するか，またはプリンタとサポーティング・ホストをブリッジまたはルータの同じ側に配置してください。ネットワーク構成を変更する場合は，プリンタを再ブートしてください。プリンタがブートしないときは，第 8.1.2.7 項へ進んでください。

8.1.2.7 プリンタがブートされたかどうかの判断

OPCOM からの報告で，プリンタに対して ‘‘aborted service request’’ というメッセージが表示され，デバイス時間切れが発生したことが示された場合には，以下のいずれかの操作が実行されています。

- ネットワークの別のシステムがブート要求をサービスした
- プリンタがプライマリ・ブートストラップ・シーケンスを正常終了しなかった

以下の例を参照してください。

```
$
%%%%%%%%%%  OPCOM   8-JUN-1995 18:09:33.41  %%%%%%%%%%
Message from user DECNET on NASDAQ
DECnet event 0.7, aborted service request
From node 55.499 (NASDAQ),  8-JUN-1995 18:09:33.37
Circuit SVA-0, Line open error, Line communication error
%SYSTEM-F-TIMEOUT, device timeout
Node = 62.114 (BULL36), Ethernet address = 08-00-2B-0C-7E-8B
```

プライマリ・ブートが正常終了したかどうかを判断するには，以下の NCP コマンドを使用します。

```
$ MCR NCP TELL printer-node-name SHOW EXECUTOR
```

以下の例は，正しくブートされたプリンタからの典型的な応答を示しています。

```
$ MCR NCP TELL BULL36 SHOW EXECUTOR

Node Volatile Summary as of  8-JUN-1995 18:09:35.14

Executor node = 62.114 (BULL36)

State                    = on
Identification           = VAXELN V4.5 LPS
```

プリンタを正しくブートできない場合には，以下のようなメッセージが表示されます。

```
%NCP-F-CONNEC, unable to connect to listener
-SYSTEM-F-UNREACHABLE, remote node is not currently reachable
```

この場合には，第 8.1.3 項の説明に従って，ハードウェア接続を確認してください。

Identification フィールドが VAXELN V4.5 LPS， LPS*nn*， KPS， KPS*nn* 以外の情報を示す場合には，誤ったファイルがプリンタにダウンライン・ロードされています。どのシステムがブート要求をサービスするのかを判断し，そのシステムからのブートを停止してください (第 8.1.2.8 項を参照)。

8.1.2.8 リモート・ブート・サービスのシャットダウン

別のノードがブート要求をサービスしているのではないかと考えられる場合には，そのシステムがプリンタからのブート要求をサービスするように設定されているかどうかを判断してください。

```
$ MCR NCP TELL node-name SHOW NODE printer-node-name CHARACTERISTICS
```

どのノードがプリンタをブートしているかがわからない場合には，リモート・コンソール機能の configuration コマンドを使用してください。

リモート・コンソール機能がプリンタへの接続に失敗した場合は，プリンタが正しくブートされなかった可能性があります。

リモート・コンソール機能がプリンタへ接続すると，ターミナルにウィンドウが現われて，3 行目にプロンプトを表示します。以下のコマンドを入力して，どのノードがプリンタをブートしたのか調べることができます。

```
LPS> configuration
```

リモート・コンソール機能はブート・ホストの名前を応答し，それにはプリンタのブート要求をサービスしたノードの名前，ネットワーク・アドレスが含まれます。

あるノードによる特定のプリンタのブートを禁止するには，ブート・ホストで以下のコマンドを入力してください。

```
$ MCR NCP CLEAR NODE printer-node-name HARDWARE ADDRESS
$ MCR NCP PURGE NODE printer-node-name HARDWARE ADDRESS
```

プリンタを再ブートしてください。それでもブート・プロセスが異常終了する場合には，第 8.1.3 項に進んでください。

8.1.3 ステップ 3: ハードウェア接続のチェック

プリンタ，サポーティング・ホスト，およびネットワーク・デバイスを接続するすべてのケーブルをチェックしてください。変更があるときは，プリンタを再ブートしてください。この後もブート操作を正しく実行できない場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所に連絡してください。

8.2 セカンダリ・ブート・プロシージャが失敗する

マネージメント・クライアントは PrintServer プリンタに接続するときに，セカンダリ・ブート・ファイルを送信します。そのファイルには，PrintServer ソフトウェアの残りの部分が含まれています。

マネージメント・クライアントの問題を解決するには，以下のプロシージャを実行してください。

ステップ	操作	参照項
1	Phase V DECnet アドレスが追加されているかどうかを確認する.	第 8.2.1 項
2	サポーティング・ホストから構成サービスが提供されることを確認する。	第 8.2.2 項
3	マネージメント・クライアントの状況をチェックする。	第 8.2.3 項
4	マネージメント・クライアントがプリンタに接続したことを確認する。	第 8.2.4 項
5	マネージメント・クライアントのバージョンをチェックする。	第 8.2.5 項
6	接続時間をオーバーした場合は，マネージメント・クライアントを再起動する。	第 8.2.6 項

8.2.1 Phase V DECnet アドレスの追加のチェック

Phase V DECnet 構成を使用している場合，次のファイルに DECnet アドレスを追加する必要があります。

```
SYS$SYSROOT:[SYSEXE]DECNET_LOC_NODE_DEFINITIONS.TXT
```

次に，DECnet REGISTER プログラムを実行して，この定義ファイルを読み込んで DECnet アドレスをデータベースに入れます。

```
$ MCR DECNET_LOC_REGISTER.EXE
DECNET_LOC_REGISTER> LOAD
Clearing old local namespace entries prior to loading new entries
Loading new local namespace node name entries
Saving the new local namespace contents
```

```
Maximum number of node names that can be loaded: 190
Number of node names that are currently loaded: 3

DECNET_LOC_REGISTER> EXIT
```

8.2.2 構成サービスのチェック

-C configuration オプションが LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.*printer-node-name* ファイルに含まれていることを確認してください。このオプションは，マネージメント・クライアントが構成サービスを提供することを許可します。これにより，ブート・プロセスの間に PrintServer プリンタより要求されるすべてのファイルを，マネージメント・クライアントがダウンロードできます。

構成サービスが許可されていないときは， SYS$MANAGER:LPS$OPTIONS.COM を実行して構成サービスに関する質問に対して YES と入力してください。

次に，以下のコマンドを入力してマネージメント・デーモンを停止し，再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON.COM printer-node-name
$ @SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON.COM printer-node-name
```

8.2.3 マネージメント・クライアント・ステータス (LPS$SERVICES) のチェック

第 3.5 節にあるように，システム・スタートアップ・ファイルから SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM プロシージャを実行することにより，サポーティング・ホストが再ブートされるときはいつもでも，マネージメント・クライアントが自動的に起動することを確認してください。 LPS$STARTUP_SERVICES プロシージャは，LPS$SUPPORT:LPSOPTIONS.*printer-node-name* ファイルを持つ各プリンタに対してマネージメント・クライアントを起動します。

関係するメッセージについては， LPS$SUPPORT:LPSLOG.*printer-node-name* ファイルを見てください (第 8.2.7 項を参照)。

マネージメント・クライアントを起動後，LPS$SERVICES プロセスの状態をチェックするために，SHOW SYSTEM コマンドを入力します。

```
$ SHOW SYSTEM

VAX/VMS V5.5-2  on node NASDAQ   8-JUN-1995 21:42:27.90   ...
  Pid    Process Name    State  Pri      I/O       CPU       ...
...
00000604 LPS_BULL36      HIB      5    21605   0 00:01:18.30 ...
...
```

注意

この例では，他のプロセスに関する出力行が (... で示されるように) 省略されて 1 行になっています。

出力の中から LPS_*printer-node-name* という名前のプロセスをさがしてください。システムにこの名前のプロセスがない場合は，次のコマンドを入力してマネージメント・クライアントを起動してください。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON printer-node-name
```

8.2.4 マネージメント・クライアント接続のチェック

マネージメント・クライアントが実行されていることを確認したら，リモート・コンソール機能を使用して現在の状況を調べてください。

リモート・コンソール機能を起動するには，次のコマンドのうち 1 つを入力します。

起動するインターフェイス	コマンド
ウィンドウ	$ **MCR LPS$XCONSOLE**
コマンド・ライン	$ **MCR LPS$CONSOLE *printer-node-name***

リモート・コンソール機能について詳しくは，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。バナー行が‘‘Waiting for configuration’’というメッセージを含んでいるときは，マネージメント・クライア

ントはまだプリンタに接続していません。以下に，日本語 turbo PrintServer プリンタのこのようなバナー行の例を示します。

```
turbo PrintServer 20 () Privs Disabled     Waiting for configuration
```

プリンタが構成されているかどうかを調べるには，configuration コマンドを入力します。構成ホストのフィールドに構成ホスト名が含まれているときは，プリンタが構成されていて，構成ホストが残りのファイルをダウンロードします。

他のフィールドが正しい値でないときは，LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.*printer-node-name* ファイルの内容をチェックしてください。このファイルを変更した場合は，プリンタを再ブートしてください。

8.2.5 マネージメント・クライアントのバージョンのチェック

バージョン 5.1 のソフトウェア構成要素は，以前のバージョンとの互換性がありません。アップグレードした場合には，再ブートする前にすべてのマネージメント・クライアント・プロセスを停止してください。そうしないと，以前のバージョンのマネージメント・クライアントがバージョン 5.1 の PrintServer プリンタに接続しようとして，以下のエラー・メッセージを出して exit します。

```
Management session from node "node" rejected: incompatible versions
```

このメッセージは LPS$SUPPORT:LPSLOG.*printer-node-name* へ書き込まれます。このエラーは，2 つのサポーティング・ホストを持つ PrintServer プリンタの片方だけをアップグレードした場合にも起こります。

8.2.6 マネージメント・クライアントの再起動

プリンタに接続できないままマネージメント・クライアントをしばらく実行していると，マネージメント・クライアントはバックオフ・アルゴリズムを実行してプリンタへの接続を試みる回数を減らします。マネージメント・クライアントが再び接続を試みるのを待つかわりに，マネージメント・クライアントを停止し，再起動することができます。これはバックオフ・タイムを 0 にリセットします。マネージメ

ント・クライアントを停止し，再起動する場合には，次のコマンドを入力してください。

```
$ @SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON printer-node-name
$ @SYS$MANAGER:LPS$START_DAEMON printer-node-name
```

マネージメント・クライアントが起動したことを確認するために， SHOW SYSTEM コマンドを入力してください。マネージメント・クライアントがまだ起動できない場合は，最寄りの日本 DEC 支店/営業所へお問い合わせください。

8.2.7 PrintServer プリンタのイベント・ログ・ファイル

サポーティング・ホスト・ノードで実行されているマネージメント・クライアント・プロセスはプリンタ・メッセージを LPS$SUPPORT:LPSLOG.*printer-node-name* ファイルへ記録します。

いくつかの方法で，このファイルを確認することができます。

- ファイルを表示するために， TYPE コマンドを入力する
- マネージメント・クライアントがまだ実行されている場合は，現在のログ・ファイルがクライアントによってオープンされており，ファイルをコピーおよび印刷することはできない。リモート・コンソール機能の newfile コマンドを使用して，現在のファイルをクローズし，新しいファイルをオープンする
- 次のコマンドにより，ログ・ファイルのコピーを作成する

  ```
  $ CONVERT/SHARE LPSLOG.printer-node-name LPSLOG.COPY
  ```

  マネージメント・クライアントへイベント・メッセージを送信するプリンタに対して，イベント・ロギングが有効になる。 LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.*printer-node-name* ファイルに‘‘Logging On’’という行があるかどうかチェックする

LPSLOG.*printer-node-name* ファイルが有効でない場合は，マネージメント・クライアントがデータを以下のファイルへ送信します。

LPS$SUPPORT:LPSSERVICES_ERROR.*printer-node-name*

LPS$SUPPORT:LPSSERVICES_OUTPUT.*printer-node-name*

イベント・ロギングが有効でない場合は，SYS$MANAGER:LPS$CONFIG.COM を実行してイベント・ロギングに関する質問に YES と入力してください。

以下はプリンタ・ログ・ファイルの例です。

```
lps$services.exe;18  Jun 11 17:55:33:  Start management session ❶
11-JUN-1993 17:56:49 Memory installed - 24M
11-JUN-1993 17:56:49 Load complete (V5.1-15) ❷
11-JUN-1993 17:56:49 Print Engine is in warmup state
11-JUN-1993 17:56:49 PrintServer 17 configured from node SERVR
11-JUN-1993 17:57:50 Privileged command executed, permanent state may be changed ❸
11-JUN-1993 17:57:50 Privileged command executed, permanent state may be changed
11-JUN-1993 17:57:52 Privileged command executed, permanent state may be changed
11-JUN-1993 17:57:53 Privileged command executed, permanent state may be changed
11-JUN-1993 17:58:00 Privileged command executed, permanent state may be changed
11-JUN-1993 18:00:03 Print Engine ready
11-JUN-1993 18:02:35 Session 1 (LAPS-connect@PRINCE) connect ❹
```

この例のメッセージは，以下の事柄を含んでいます。

❶ マネージメント・クライアントが PrintServer プリンタ上でセッションを始めた時間

❷ セカンダリ・ブート・ファイルが正しくロードされたこと

❸ ポストスクリプト・サーバ・ループの外部でロードされたファイル

- LPSDEFAULTS.*printer-node-name*
- LPSSYSPARAMS.*printer-node-name*（ポストスクリプト・レベル 2 プリンタ用）
- LPSPCLDEFAULTS.*printer-node-name*（ポストスクリプト・レベル 2 プリンタ用）
- LPSRESOURCES.*printer-node-name*
- LPSSETUP.*printer-node-name*

リソース・ローディング・ファイルが，ブート時にロードされる複数のファイルを含む時は，追加メッセージが表示されます。

❹ 接続に成功した最初のプリント・クライアント

8.3 PrintServer プリンタをブートした後，クラッシュが発生した

PrintServer プリンタをブートした後，クラッシュが発生した場合には，プリンタの電源を切断した後，再投入することにより電源投入時の診断を再度実行してください。この種の問題は，以下のいずれかの問題がシステムで発生したことを示します。

- ハードウェアの劣化
- 誤ったファイルがプリンタにダウンライン・ロードされた
- サポーティング・ホスト・ディスク上でファイルが壊れたか，送信によってファイルがこわれた

プリンタ・クラッシュを起したイベントについて詳しくは，LPS$SUPPORT:LPSLOG.*printer-node-name* を調べてください (第 8.2.7 項を参照)。

プリンタ・クラッシュが続く場合は，最寄りの日本 DEC 支店/営業所に報告してください。

プリンタがハング状態になった場合や，クラッシュした場合には，クラッシュが発生する前のプリンタの状態に関するすべての情報を記録してください (たとえば紙づまりなど)。その後，LPS$SUPPORT:LPSLOG.*printer-node-name* ファイルのコピーを保存してください。

また，クラッシュが発生した時点で印刷していたファイルのコピーも保存してください。この情報は問題を診断するのに役立ちます。問題は最寄りの日本 DEC 支店/営業所に報告してください。

8.4 プリンタは“Ready”状態になるが，印刷を実行しない

PrintServer プリンタがプライマリ・ブートを終了し，マネージメント・クライアントから接続要求を受信し，印刷可能な状態であることを示した後，クライアント接続要求を印刷しない場合には (つまり，何も印刷しない場合には)，プリント・クライアント・システム固有の問題が発生したと考えられます。

次の表は，プリント・クライアントが PrintServer プリンタをアクセスできなくなるような問題を示します。

問題	参照
Internet アクセスが制限される	第 8.4.1 項
DECnet アクセスが制限される	第 8.4.2 項
プリント・キューが設定されない	第 8.4.3 項

8.4.1 Internet アクセスの制限

Internet ネットワークを使用してプリント・クライアントにプリンティング・サービスを提供する場合， LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.*printer-node-name* ファイルにはプリンタの Internet アドレスとサブネット・マスクが登録されていなければなりません (第 3.1.14 項を参照)。 Internet トランスポート・プロトコルを使用するマネージメント・クライアント，リモート・コンソール・クライアント，およびプリント・クライアントから接続を受け付けるには，この情報が必要です。

詳しい説明は，『PrintServer Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

8.4.2 DECnet アクセスの制限

特定のノードから印刷できない場合には，ノードに対するアクセスが LPS$SUPPORT:LPSCONFIG.*printer-node-name* ファイルで禁止されていないかどうかを確認してください。この情報はリモート・コンソールから permissions コマンドを使用して確認できます。しかし， PrintServer プリンタへのアクセスが禁止されているノードからリモート・コンソール機能を実行することはできません。

アクセス制限によって印刷が妨害されている場合には，リモート・コンソール・スクリーンに以下のメッセージが表示されます。

```
Connection from node-address denied access
```

このメッセージで，*node-address* は印刷できないプリント・クライアント・ノードの DECnet アドレスです。このメッセージはプリンタのイベント・ログ・ファイルにも記録されます。この場合， SYS$MANAGER:LPS$CONFIG.COM を実行し，アクセス制限に関する質問に対して No と応答することにより，問題を修正できます。 LPS$CONFIG を使用して変更した場合には，その変更結果を有効にするために，リモート・コンソール・プログラムから reconfigure コマンドを入力してください。

DECnet または Internet アクセスの制限は，インストレーション後の手続きで指定します (それぞれ第 3.1.13 項および第 3.1.14.4 項を参照してください)。

8.4.3 プリント・キューが設定されていない

プリント・クライアント・システムで PrintServer プリンタに対してプリント・キューを設定しておかなければ，このシステムのユーザはプリンタにアクセスできません。プリント・キューは通常，プリント・クライアント・ソフトウェアをインストールするときに作成されます。プリント・キューを設定する操作については，適切なプリント・クライアントに関する解説書を参照してください。

以上の操作を実行しても， PrintServer プリンタで印刷ができない場合には，最寄りの日本 DEC 支店/営業所に連絡してください。

8.5 日本語が正しく印刷されない (ポストスクリプト・レベル2 ソフトウェアのみ)

プリント・クライアントから印刷要求を受け， PrintServer プリンタは，印刷を始めたが日本語が正しく印字されない時は，以下の問題が発生したと考えられます。

フォント・キーが正しく設定されていない場合，およびマネージメント・クライアントがプリンタに接続されていない場合は，プリンタは，以下のようなエラー・メッセージを出力します。エラー・メッセージに含まれるフォント名は，使用するフォントおよびエンコーディングによって異なります。

```
invalidfont: Bad font name or dictionary - offending command is
Ryumin-Light::JIS83-1Kanji

invalidfont: Bad font name or dictionary - offending command is
GothicBBB-Medium::JIS83-1Kanji
```

8.5.1 フォント・キー

ブート時に印刷されるスタート・ページの各和文フォント名の横に‘‘Not-Installed’’または，‘‘Option’’と表示されている場合，そのフォントは使用できません。 LPS$FONTKEY プログラムを起動して，入力したフォント・キーが誤っている可能性があります。 LPS$FONTKEY を再起動して，印字できないフォントのフォント・キーを再入力してください。 LPS$FONTKEY の起動は，第 3.3 節を参照してください。正しいフォント・キーを入力したにもかかわらず，そのフォントが使用できない場合は，最寄りの日本 DEC 支店/営業所にご連絡ください。

8.5.2 マネージメント・クライアント接続チェック

ポストスクリプト・レベル 2 を使用する場合，マネージメント・クライアントは常にプリンタに接続していなくてはなりません。マネージメント・クライアントの起動方法は，第 8.2.3 項および第 3.5 節を参照してください。

A

インストレーション・セッションの例

例 A–1 は，日本語 PrintServer Software V5.1 for OpenVMS のインストレーションの例です。インストレーション・メッセージと質問は，システム条件，インストレーションがアップグレード・インストレーションであるのか，新しいインストレーションであるのか，どのオプションを選択したかに応じて異なります。このプロシージャについては第 2.1 節を参照してください。

例 A–1 インストレーションの例

```
        UNAUTHORIZED ACCESS TO THIS SYSTEM IS PROHIBITED

Username: SYSTEM
Password:
        Welcome to OpenVMS VAX version V6.0 on node JRDQ25
    Last interactive login on Friday,  7-JUL-1995 09:20
    Last non-interactive login on Tuesday, 24-AUG-1993 15:01

$ @sys$update:vmsinstal lpsj051 MUA0:

        OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V6.0

It is 7-JUL-1995 at 09:33.

Enter a question mark (?) at any time for help.
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?  Return

The following products will be processed:
  LPSJ V5.1

        Beginning installation of LPSJ V5.1 at 09:33

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

    Copyright Digital Equipment Corporation 1995. All Rights Reserved.
```

(次ページに続く)

例 A–1 (続き) インストレーションの例

```
    Restricted Rights: Use, duplication, or disclosure by the U.S.
    Government is subject to restrictions as set forth in Subparagraph
    (c) (1) (ii) of DFARS 252.227-7013, or in FAR 52.227-19, or in FAR
    52.227-14 Alt III, as applicable.

    The software contained on this media is proprietary to and embodies the
    confidential technology of Digital Equipment Corporation. Possession,
    use, or copying of this software and media is authorized only pursuant
    to a valid written license from Digital or an authorized sublicensor.

    ************************************************************************
    You are installing a JAPANESE VERSION of LPS software.  This software
    requires minimum of one Japanese PrintServer.  If you DO NOT HAVE
    Japanese PrintServer(s), please terminate this installation because
    you are installing a wrong software.
    ************************************************************************

* Do you want to continue [Y]? Return

        1.  Base Installation

        2.  Optional Kanji Fonts Installation

        3.  Full Installation (Base + Optional Kanji Fonts)

        4.  Exit

* Please select installation type [1]: Return

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? Return


   This installation procedure will create an account named LPS$SERVER.
   The UIC of this account will be used by the management client process
   to provide the PrintServer with its secondary boot files and to
   create event log and accounting files on this supporting host system.

   You must specify a unique UIC for this account. In order to maintain proper
   system security, please choose a UIC with a group number that does
   not give the account system privileges.

*  Enter the UIC for LPS$SERVER account (include brackets) [[477,477]]: Return
```

(次ページに続く)

例 A–1 (続き) インストレーションの例

```
Enter the name of one of the disk devices available on your host system.
Be sure that the device you specify has enough free blocks.

* Enter the device name where the supporting host directory will be created
[SYS$SYSDEVICE]: Return
%LPSJ-I-NO_MORE_QUESTIONS, No further questions will be asked during this installation.
%LPSJ-I-ESTTIME, This installation will take approximately 20-40 minutes.
%LPSJ-I-CREATE_ACCOUNT, Creating LPS$SERVER account for the PrintServer supporting host
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation creates an ACCOUNT named LPS$SERVER.
%UAF-I-ADDMSG, user record successfully added
%UAF-I-RDBADDMSGU, identifier LPS$SERVER value: [000477,000477] added to rights data base
%UAF-I-RDBADDMSGU, identifier LPS value: [000477,177777] added to rights data base
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named LPS$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated


%LPSJ-I-ADD_LOGICALS, Creating the LPS$SUPPORT and LPS$ROOT logicals.
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[CAT].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[SYS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[FS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[USR].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[ENCODINGS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[FSUPP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[PGFONTS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[PGFSUPP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[FONTS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  LPS$ROOT:[CHARSTRINGS].

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set E ...


The installation of PrintServer Software for OpenVMS has completed successfully.

For both an upgrade and new installation, you must perform the following steps:

* Execute SYS$MANAGER:LPS$ADD_PRINTSERVER.COM for each new PrintServer printer.

* Execute SYS$MANAGER:LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM for each existing PrintServer
  printer you want to upgrade to PostScript Level 2.
```

(次ページに続く)

例 A–1 (続き) インストレーションの例

```
* Your system-specific startup command file must call the supporting host
  startup file, SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM.

* Execute SYS$MANAGER:LPS$STOP_DAEMON.COM and
  SYS$STARTUP:LPS$STARTUP_SERVICES.COM and reboot the PrintServer printers.

Failure to follow the above steps may prevent your PrintServer printers from
booting. Please refer to the PrintServer Software for OpenVMS Installation Guide
for further instructions.

%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
        Installation of LPSJ V5.1 completed at 09:47

        VMSINSTAL procedure done at 09:47
$ logout
  SYSTEM       logged out at  7-JUL-1995 09:48:28.61
```

例 A–2 は，オプショナル・フォント・インストレーションの例です。

例 A–2 オプショナル・フォント・インストレーションの例

```
 UNAUTHORIZED ACCESS TO THIS SYSTEM IS PROHIBITED

Username: SYSTEM
Password:
 Welcome to OpenVMS VAX version V6.0 on node JRDQ25
    Last interactive login on Friday,  7-JUL-1995 09:33
    Last non-interactive login on Tuesday, 24-AUG-1993 15:01

$ @sys$update:vmsinstal lpsj051 MUA0:

 OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V6.0

It is 7-JUL-1995 at 09:55.

Enter a question mark (?) at any time for help.
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?  Return

The following products will be processed:
  LPSJ V5.1

 Beginning installation of LPSJ V5.1 at 09:55

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

    Copyright Digital Equipment Corporation 1995. All Rights Reserved.

    Restricted Rights: Use, duplication, or disclosure by the U.S.
    Government is subject to restrictions as set forth in Subparagraph
    (c) (1) (ii) of DFARS 252.227-7013, or in FAR 52.227-19, or in FAR
    52.227-14 Alt III, as applicable.

    The software contained on this media is proprietary to and embodies the
    confidential technology of Digital Equipment Corporation. Possession,
    use, or copying of this software and media is authorized only pursuant
    to a valid written license from Digital or an authorized sublicensor.
```

(次ページに続く)

例 A–2 (続き) オプショナル・フォント・インストレーションの例

```
    ******************************************************************
    You are installing a JAPANESE VERSION of LPS software.  This software
    requires minimum of one Japanese PrintServer.  If you DO NOT HAVE
    Japanese PrintServer(s), please terminate this installation because
    you are installing a wrong software.
    ******************************************************************

* Do you want to continue [Y]?  Return

 1.  Base Installation.

 2.  Optional Kanji Fonts Installation.

 3.  Full Installation (Base + Optional Kanji Fonts).

 4.  Terminate Installation.

* Please select installation type [1]: 2

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? Return


%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named LPS$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated

%LPSJ-I-NO_MORE_QUESTIONS, No further questions will be asked during this installation.
%LPSJ-I-ESTTIME, This installation will take approximately 20-40 minutes.
%LPSJ-I-SH_LOGICAL_EXISTS, The LPS$SUPPORT logical exists.  Assume it is correct.

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set F ...


The installation of Optional Kanji Fonts has completed successfully.
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
 Installation of LPSJ V5.1 completed at 10:13

 VMSINSTAL procedure done at 10:13
$ logout
  SYSTEM       logged out at  7-JUL-1995 10:16:10.73
```

B

インストレーションで追加されるファイル

B.1 ユーティリティ・ファイル

PrintServer ソフトウェアをインストールする間に，以下に示したユーティリティ・ファイルがシステムに追加されます。

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS$ADD_PRINTSERVER.COM	SYS$MANAGER PrintServer プリンタをブートし，構成するためにサポーティング・ホストを設定する
LPS$ADD_NETSETUP.COM	SYS$MANAGER インストールされる各 PrintServer プリンタの DECnet データを格納する， LPSNETSETUP.DAT ファイルを作成する
LPS$NETSETUP.COM	SYS$MANAGER LPSNETSETUP.DAT によって DECnet データベース・パラメータを設定する
LPS$CONFIG.COM	SYS$MANAGER PrintServer プリンタに対して構成ファイル，省略時の設定を登録したデフォルト・ファイル，リソース・ローディング・ファイル，およびセットアップ・ファイルを作成する
LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM	SYS$MANAGER ポストスクリプト・レベル 2 プリンタにアップグレードする
LPS$OPTIONS.COM	SYS$MANAGER カスタマイズされた LPSOPTIONS.*printer-node-name* ファイルを作成する
LPS$START_DAEMON.COM	SYS$MANAGER パラメータとして指定された *printer-node-name* に対して，マネージメント・クライアント・プロセス (LPS$SERVICES.EXE) を起動する

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS$STARTUP_SERVICES.COM	SYS$STARTUP LPS$SUPPORT および LPS$ROOT という論理名を定義し，定義されている各 *printer-node-name* に対してマネージメント・クライアント・プロセスを起動する
LPS$STOP_DAEMON.COM	SYS$MANAGER パラメータとして指定された *printer-node-name* に対して，マネージメント・クライアント・プロセスを停止する
LPS_SETOUTPUTTR.	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] lpr の -o オプションを使用するすべての PrintServer プリンタ上で，排紙トレイを選択する ULTRIX デバイス制御ファイル。 ULTRIX と OpenVMS が混在する環境で提供される
LPS_SETINPUTTRA.	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] lpr の -I オプションを使用するすべての PrintServer プリンタ上で，給紙トレイを選択する ULTRIX デバイス制御ファイル。 ULTRIX と OpenVMS が混在する環境で提供される
LPS$DELETE_OLD_LPS.COM	SYS$UPDATE ソフトウェアの以前のバージョンの不要なファイルを削除する

B.2 情報ファイル

以下のファイルは，日本語 PrintServer Software に関する追加情報を提供します。

ファイル	ディレクトリ/説明
LPSJ051.RELEASE_NOTES	SYS$HELP 日本語 PrintServer Software for OpenVMS リリース・ノート

B.3 実行可能ファイル

LPS$ROOT および LPS$SUPPORT は[LPS$SERVER]を指すシステム全体の論理名です。インストレーションの省略時デバイスは SYS$SYSDEVICE です。

以下の実行ファイルが，インストレーション中に追加されます。

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS$ACCTREPORT.EXE	SYS$SYSTEM 集中化されているアカウンティング・ファイルを読み込み，レポートを作成する
LPS$PRISM.EXE	SYS$SYSTEM PRISM (Printer Status Manager) ユーティリティ
LPS$PRISM.UID	SYS$SYSTEM PRISM のユーザ・インターフェイス定義ファイル
LPS$SERVICES.EXE	SYS$SYSTEM マネージメント・クライアントが起動されるときに，LPS$START_DAEMON.COM によって実行される
LPS$CONSOLE.EXE	SYS$SYSTEM リモート・コンソール機能
LPS$XCONSOLE.EXE	SYS$SYSTEM DECwindows Motif のリモート・コンソール機能
LPS$XCONSOLE.UID	SYS$SYSTEM DECwindows Motif のリモート・コンソール機能のユーザ・インターフェイス定義ファイル
LPS$FONTKEY.EXE	SYS$SYSTEM フォント・キー入力プログラム
LPS_PRINTSERVER17.SYS	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのプライマリ・システム・イメージ・ファイル
KPS_PRINTSERVER.SYS	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのプライマリ・システム・イメージ・ファイル
LPS_PRINTSERVER.SYS	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのプライマリ・システム・イメージ・ファイル

ファイル	ディレクトリ/説明
KPS_PRINTSERVER40.SYS	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタのプライマリ・システム・イメージ・ファイル
LPS_LNVDRIVER.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタの LNV11 ドライバ
LPS$NEWFILE.EXE	SYS$SYSTEM 新しいアカウンティングおよびログ・ファイルを作成する
LPS_KPS.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのポストスクリプト・レベル 2 イメージ・ファイル
LPS_KPS17.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのポストスクリプト・レベル 2 イメージ・ファイル
LPS_KPS_LEV1.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのポストスクリプト・レベル 1 イメージ・ファイル
LPS_KFONTS.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語ポストスクリプト・レベル 1 用フォント・イメージ
LPS_KPS40.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタのポストスクリプト・イメージ・ファイル
LPS_IMAGE.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 32 シリーズと日本語 turbo PrintServer プリンタのイメージ・インタプリタ
LPS_DMA.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのポストスクリプト・レベル 2 用ビデオ・ドライバ
LPS_DMA_LEV1.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのポストスクリプト・レベル 1 用ビデオ・ドライバ
LPS_PANEL.DUT	LPS$ROOT:[STS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのオランダ語フロント・パネル
LPS_PANEL.ENG	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタの英語フロント・パネル

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS_PANEL.FRE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのフランス語フロント・パネル
LPS_PANEL.GER	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのドイツ語フロント・パネル
LPS_PANEL.ITA	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのイタリア語フロント・パネル
LPS_PANEL.NOR	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのノルウェー語フロント・パネル
LPS_PANEL.POR	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのポルトガル語フロント・パネル
LPS_PANEL.SPA	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのスペイン語フロント・パネル
LPS_PANEL.SWE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのスウェーデン語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.DUT	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのオランダ語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.ENG	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタの英語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.FRE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのフランス語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.GER	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのドイツ語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.ITA	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのイタリア語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.NOR	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのノルウェー語フロント・パネル

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS_CN1_PANEL.POR	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのポルトガル語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.SPA	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのスペイン語フロント・パネル
LPS_CN1_PANEL.SWE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのスウェーデン語フロント・パネル
LPS_CN1_VE.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタの仮想エンジン
LPS_CNDRIVER.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのドライバ
LPS_DMA_S.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 PrintServer 17/600 プリンタのビデオ・ドライバ
LPS_PCSI.EXE	LPS$ROOT:[SYS] 日本語 turbo PrintServer と日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタのドライバ
LPS_SNMPD.EXE	LPS$ROOT:[SYS] SNMP MIB II イメージ・ファイル

B.4 ポストスクリプト・ファイル

以下のポストスクリプト・ファイルがインストレーション中に追加されます。

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS_ANSI_PROLOGUE.PS	LPS$SUPPORT ANSI プロローグ
LPS_DECKANJI_PROLOGUE.PS	LPS$SUPPORT DECkanji 用プロローグ
LPS_PCLFONTSAMPLE.PS	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] PCL フォント・サンプル
LPS_PRINTING_REF_CARD.PS	LPS$SUPPORT および SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] OpenVMS および ULTRIX のためのプリンティング機能参照カード
LPS_STARTPAGE.PS	LPS$SUPPORT SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] PrintServer プリンタのスタートアップ・ページ (ポストスクリプト・レベル 2 の省略時設定を示す)
SHOW_PSLEV1_DEFAULTS.PS	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] ポストスクリプト・レベル 1 デフォルト・ページ
LPS_QLTY.PS	LPS$SUPPORT Digital サービス専用のテスト・パターン
LPS_QLTY_600.PS	LPS$SUPPORT Digital サービス専用のテスト・パターン
LPS_STATUSDICT.PS	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.LPS] ポストスクリプト拡張エミュレーションを提供する
PS_SUPPLEMENT.PS	LPS$SUPPORT ポストスクリプト拡張エミュレーションを提供する

B.5　リモート・コンソール機能ヘルプ・ページ (ファイル)

以下のヘルプ・ページがインストレーション中に追加されます。

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS_ABORT.S	LPS$ROOT:[CAT] abort コマンドに関するヘルプ
LPS_ACCEPT.S	LPS$ROOT:[CAT] accept コマンドに関するヘルプ
LPS_CONFIGURATION.S	LPS$ROOT:[CAT] configuration コマンドに関するヘルプ
LPS_CONTINUOUS.S	LPS$ROOT:[CAT] continuous コマンドに関するヘルプ
LPS_EXIT.S	LPS$ROOT:[CAT] exit コマンドに関するヘルプ
LPS_HELP.S	LPS$ROOT:[CAT] help コマンドに関するヘルプ
LPS_JOBS.S	LPS$ROOT:[CAT] jobs コマンドに関するヘルプ
LPS_NETSTAT.S	LPS$ROOT:[CAT] netstat コマンドに関するヘルプ
LPS_NEWFILE.S	LPS$ROOT:[CAT] newfile コマンドに関するヘルプ
LPS_NEXT.S	LPS$ROOT:[CAT] next コマンドに関するヘルプ
LPS_PERMISSIONS.S	LPS$ROOT:[CAT] permissions コマンドに関するヘルプ
LPS_PRIVS.S	LPS$ROOT:[CAT] privs コマンドに関するヘルプ
LPS_REBOOT.S	LPS$ROOT:[CAT] reboot コマンドに関するヘルプ
LPS_RECONFIGURE.S	LPS$ROOT:[CAT] reconfigure コマンドに関するヘルプ
LPS_REJECT.S	LPS$ROOT:[CAT] reject コマンドに関するヘルプ
LPS_REPEAT.S	LPS$ROOT:[CAT] repeat コマンドに関するヘルプ

ファイル	ディレクトリ/説明
LPS_SHORTHELP.S	LPS$ROOT:[CAT] すべてのヘルプ・トピックの簡単なリスト
LPS_SINGLE.S	LPS$ROOT:[CAT] single コマンドに関するヘルプ
LPS_STATUS.S	LPS$ROOT:[CAT] status コマンドに関するヘルプ
LPS_VERSIONS.S	LPS$ROOT:[CAT] versions コマンドに関するヘルプ

B.6 データ・ファイル

以下のデータ・ファイルがインストレーション後に作成されます。

ファイル	ディレクトリ/説明
LPSACCT.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT アカウンティングが有効な状態に設定されているときに，マネージメント・クライアントが作成するアカウンティング・ジャーナル・ファイル
LPSCONFIG.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT LPS$CONFIG.COM によって作成される PrintServer 構成ファイル。アカウンティング，ロギング，アクセス制御パラメータに対する PrintServer オプションを記録する。また，プリンタの名前 (リモート・コンソールのバナー行に表示される) とプリンタのパスワードも設定する
LPSDEFAULTS.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT プリンタの省略時の設定を登録したデフォルト・ファイル。 LPS$CONFIG.COM によって作成される
LPSLOG.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT ロギング機能が有効な状態に設定されているときにマネージメント・クライアントが作成するイベント・ログ・ファイル
LPSNETSETUP.DAT	LPS$SUPPORT LPS$ADD_NETSETUP.COM プロシージャによって作成される。このファイルは， DECnet データベース・パラメータを設定するための情報を含んでいる

ファイル	ディレクトリ/説明
LPSOPTIONS.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT LPS$OPTIONS.COM によって作成されるオプション・ファイル。 LPS$START_DAEMON.COM を実行するのに必要なファイル
LPSPCLDEFAULTS.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT LPS$CONFIG.COM によって作成される PCL デフォルト・ファイル
LPSRESOURCES.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT LPS$CONFIG.COM によって作成されるリソース・ローディング・ファイル
LPSSETUP.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT LPS$CONFIG.COM プロシージャによって作成されるポストスクリプト・セットアップ・ファイル
LPSSYSPARAMS.*printer-node-name*	LPS$SUPPORT LPS$CONFIG.COM によって作成されたシステム・パラメータ・デフォルト・ファイル

B.7 日本語フォント V3.0

表 B–1 システム・ファイル

ファイル	ディレクトリ
PGFINIT.	LPS$ROOT:[SYS]
PGFINIT2.	LPS$ROOT:[SYS]
PGFKEYS.	LPS$ROOT:[SYS]
START.	LPS$ROOT:[SYS]

表 B–2 ユーザ・ファイル

ファイル	ディレクトリ
START.	LPS$ROOT:[USR]

表 B–3　ファイル・システム・サポート・ファイル

ファイル	ディレクトリ
CHECKDISK.	LPS$ROOT:[FS]
COPYDISK.	LPS$ROOT:[FS]
COPYDISK2.	LPS$ROOT:[FS]
FILEUTILS.	LPS$ROOT:[FS]
FILEUTILS2.	LPS$ROOT:[FS]
LEVEL1.	LPS$ROOT:[FS]
LEVEL2.	LPS$ROOT:[FS]
LOADDISK.	LPS$ROOT:[FS]
MERGEKEYS.	LPS$ROOT:[FS]
MERGEKEYS2.	LPS$ROOT:[FS]
VERSION.	LPS$ROOT:[FS]

表 B–4　エンコーディング・ファイル

ファイル	ディレクトリ
ADD-JIS12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
ADD-SJ-B-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
ADD-SJ12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
EUC12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
EUCENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
EXT-JIS12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
EXT-SJ-A-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
EXT-SJ12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
HANKAKUENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
HIRAGANAENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
HROMAN83PVENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
HROMANENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
ISOLATIN1ENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]

(次ページに続く)

表 B–4 (続き) エンコーディング・ファイル

ファイル	ディレクトリ
JIS12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
JISENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
KATAKANAENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
NOMINALJISENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
NOTDEFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
NWP-JIS12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
PCHIRAKATAENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
PCSYMENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
SJ-A-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
SJ-B-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
SJ12-88-CFENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
SJENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]
STANDARDENCODING.	LPS$ROOT:[ENCODINGS]

表 B–5 キャラクタストリング・ファイル

ファイル	ディレクトリ
CHARMAP.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
EUCCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
HANKAKUCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
HIRAGANACHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
HROMANCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
HROMAN2CHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
HROMAN83PVCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
HROMAN83PV2CHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
JISCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
KATAKANACHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
PCHIRAKATACHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]

(次ページに続く)

表 B–5 (続き) キャラクタストリング・ファイル

ファイル	ディレクトリ
PCSYMCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]
SJCHARSTRINGS.	LPS$ROOT:[CHARSTRINGS]

表 B–6 PG フォント・ファイル

ファイル†	ディレクトリ
GENERIC$$FULLWIDTH.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
GENERIC$$HALFWIDTH.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$ALPHABETIC.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$ALPHANUM.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$DINGBATS.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$HKANA.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$HROMAN.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$JIS83-1KANJI.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$JIS83-2.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$KANA.	LPS$ROOT:[PGFONTS]
face$$KANJISUPP.	LPS$ROOT:[PGFONTS]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

表 B–7 PG フォント・サポート・ファイル

ファイル†	ディレクトリ
GENERIC$$FULLWIDTH_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
GENERIC$$FULLWIDTH_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
GENERIC$$HALFWIDTH_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

(次ページに続く)

表 B–7 (続き) PG フォント・サポート・ファイル

ファイル†	ディレクトリ
GENERIC$$HALFWIDTH_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$JIS83-1KANJI_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$JIS83-1KANJI_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$JIS83-2_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$JIS83-2_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$HROMAN_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$HROMAN_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$KANA_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$KANA_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$HKANA_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$HKANA_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$ALPHABETIC_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$ALPHABETIC_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$DINGBATS_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$DINGBATS_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$KANJISUPP_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$KANJISUPP_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$ALPHANUM_COD.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]
face$$ALPHANUM_CSA.	LPS$ROOT:[PGFSUPP]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

表 B–8 ベースフォント・ファイル

ファイル†	ディレクトリ
NOTDEFFONT.	LPS$ROOT:[FONTS]
PCHELVETICA.	LPS$ROOT:[FONTS]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

(次ページに続く)

表 B–8 (続き) ベースフォント・ファイル

ファイル†	ディレクトリ
PCTIMES-ROMAN.	LPS$ROOT:[FONTS]
PCCENTURY-BOLD.	LPS$ROOT:[FONTS]
PCCENTURYOLDSTYLE-REGULAR.	LPS$ROOT:[FONTS]
PCHELVETICA-BOLD.	LPS$ROOT:[FONTS]
PCHELVETICANEUE-MEDIUM.	LPS$ROOT:[FONTS]
PCJUN101-LIGHT.	LPS$ROOT:[FONTS]
face.HANKAKU	LPS$ROOT:[FONTS]
face.HIRAGANA	LPS$ROOT:[FONTS]
face.KATAKANA	LPS$ROOT:[FONTS]
face.ROMAN	LPS$ROOT:[FONTS]
face.WP-SYMBOL	LPS$ROOT:[FONTS]
face.OUBUN	LPS$ROOT:[FONTS]
face.OUBUN-ADD	LPS$ROOT:[FONTS]
RYUMIN-LIGHT-EXT.HIRAGANA	LPS$ROOT:[FONTS]
RYUMIN-LIGHT-EXT.KATAKANA	LPS$ROOT:[FONTS]
face.SUPPK	LPS$ROOT:[FONTS]
face.ROMAN83PV	LPS$ROOT:[FONTS]
face-JIS.ZM_23	LPS$ROOT:[FONTS]
face-JIS.ZM_29	LPS$ROOT:[FONTS]
face-JIS.ZM_2E	LPS$ROOT:[FONTS]
face-SJ.ZM_82	LPS$ROOT:[FONTS]
face-SJ.ZM_82V	LPS$ROOT:[FONTS]
face-SJ.ZM_85	LPS$ROOT:[FONTS]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

表 B–9　コンポジット・フォント

ファイル†	ディレクトリ
MINCHO-PC-HIRAGANA.	LPS$ROOT:[FONTS]
MINCHO-PC-KATAKANA.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-RKSJ-USERGAIJI.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EUC-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EUC-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-RKSJ-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-RKSJ-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-83PV-RKSJ-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-RKSJ-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-RKSJ-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-NWP-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-NWP-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-RKSJ-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-RKSJ-V.	LPS$ROOT:[FONTS]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

表 B–10　コンポジット・フォント・サポート・ファイル

ファイル†	ディレクトリ
face-SUPPA-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-SUPPA-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-SUPPB-HV.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-83PV-SUPPA-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-83PV-SUPPB-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-SUPPA-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-SUPPA-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-EXT-SUPPB-HV.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-SUPPA-H.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-SUPPA-V.	LPS$ROOT:[FONTS]
face-ADD-SUPPB-HV.	LPS$ROOT:[FONTS]
*face*_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-EUC_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-EXT_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-NWP_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-ADD_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-SUPPA_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-SUPPB_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-83PV-SUPPA_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-83PV-SUPPB_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-EXT-SUPPA_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-EXT-SUPPB_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-ADD-SUPPA_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]
face-ADD-SUPPB_BDY.	LPS$ROOT:[FSUPP]

†*face* には，RYUMIN-LIGHT，GOTHICBBB-MEDIUM，JUN101-LIGHT，FUTOMINA101，FUTOGOB101-BOLD，MIDASHIMIN-MA31，MIDASHIGO-MB31 がそれぞれ対応します。

C

Ethernet ハードウェア・アドレスの確認

C.1 はじめに

サポーティング・ホスト・ソフトウェアを設定するための LPS$ADD_PRINTSERVER .COM プロシージャでは，PrintServer プリンタの Ethernet ハードウェア・アドレスを指定しなければなりません。この情報をまだ確認していない場合には，プリンタから Ethernet ハードウェア・アドレスを確認することができます。

- 日本語 PrintServer 17/600，日本語 turbo PrintServer，および日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタにはオペレータ・パネルがあり，ここから Ethernet ハードウェア・アドレスを確認できます。これらの PrintServer プリンタから Ethernet ハードウェア・アドレスを入手する方法については，第 C.2 節を参照してください。
- 日本語 PrintServer 40 Plus プリンタにはコンソール・ターミナルがあり，このターミナルを使用して Ethernet ハードウェア・アドレスを確認できます。日本語 PrintServer 40 Plus プリンタの Ethernet ハードウェア・アドレスを入手する操作については，第 C.3 節を参照してください。

C.2 オペレータ・パネルでの Ethernet ハードウェア・アドレスの確認

オペレータ・パネルはブート・プロセスで発生した一連のイベントや，ある時間のプリンタの状態を表示します。

Ethernet ハードウェア・アドレスを判断するには，以下の操作を実行します。

1. ハードウェアのインストレーションを正しく実行する
2. プリンタの ON/OFF スイッチを ON の位置に設定する

プリンタは電源投入時の診断テストを実行します。ウィンドウには最初に数字の 9 が表示され，0 までカウントダウンして表示されます。

3. このカウントダウン中の数字が 7 になったときに，プリンタのフロント・パネルの Pause を押す

```
9,8,7
```

数分後に，ハードウェア・アドレスが以下の例の形式でパネルに表示されます。

```
08-00-2B-0C-48-EE
1.3 1.2 1.1
```

Pause を押すと，ブート・プロセスだけが停止します。電源投入時の診断は継続して実行されます。この操作を実行しても，プリンタが破損することはありません。この間に Ethernet ハードウェア・アドレスを記録し，その後，サポーティング・ホスト・ソフトウェアのインストレーションを最後まで実行してください。

4. プリンタの電源を落してから，再び入れる

C.3 日本語 PrintServer 40 Plus の Ethernet ハードウェア・アドレス

日本語 PrintServer 40 Plus プリンタはローカル・コンソール・ターミナルにメッセージを表示します。

プリンタの Ethernet ハードウェア・アドレスをまだ確認していない場合には，PrintServer をコンソール・モードに設定し，一連の DEC Ethernet Q–busネットワーク・アダプタ (DELQA)・デバイスのレジスタを調べることにより，アドレスを確認できます。

MicroVAX CPU のバック・パネルの Halt スイッチは， Enabled (on) の位置に設定しておかなければなりません。このスイッチの設定方法については，プリンタのインストレーション・ガイドを参照してください。

C.3.1 操作手順

日本語 PrintServer 40 Plus プリンタの Ethernet ハードウェア・アドレスを確認するには，以下の操作を実行します。

1. プリンタ・コンソールに>>>プロンプトが表示されない場合には， PrintServer プリンタの電源ボタン ON/OFF を OFF の位置に設定し，その後， ON の位置に戻してください。
2. >>>プロンプトに対して，以下のコマンドを入力します。

```
>>> E/P/W/N:5 20001920
```

システムは P 2000192*x* FF*yy* の形式で， 6 つの出力文字列を表示します。以下の例を参照してください。

```
P  20001920  FF08
P  20001922  FF00
P  20001924  FF2B
P  20001926  FF02
P  20001928  FFD4
P  2000192A  FFC3

>>>
```

各出力文字列の最後の 2 文字 (*yy*) をハイフンで連続的に結合すれば，PrintServer の Ethernet ハードウェア・アドレスになります。

この例のハードウェア・アドレスは 08-00-2B-02-D4-C3 です。

注意

Ethernet ハードウェア・アドレスを確認した後， MicroVAX のバック・パネルの Halt スイッチは Disabled (off) の位置に戻してください。

D

PostScript プリンタ・ソフトウェアの関連資料

ここでは，ソフトウェアと PostScript プリンタの関連資料のリストと，各々の注文番号を示します。

D.1 日本語 PrintServer Software for OpenVMS

ドキュメント・キット (オーダー番号: QA–798JA–GZ)

- PrintServer Software for OpenVMS Management Guide
- 日本語 PrintServer Software for OpenVMS インストレーション・ガイド
- 日本語 PrintServer Software V5.1 for OpenVMS リリース・ノート
- ソフトウェア仕様書

D.2 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS

ドキュメンテーション・キット (注文番号: QA-09NJA-GZ)

- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS リリース・ノート
- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS インストレーション・ガイド
- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド
- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド

D.3 ポストスクリプト・ドキュメント

以下のポストスクリプト・ドキュメントが株式会社 ASCII より販売されています。

- ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル 第 2 版
- ページ記述言語 PostScript チュートリアル&クックブック
- ページ記述言語 PostScript プログラム・デザイン

D.4 その他の PostScript プリンタ関連ドキュメント

以下のマニュアルは別売です。詳しくは，最寄りの日本 DEC 各支店/営業所へお問い合わせください。

- Digital PostScript Printers Programmer's Supplement
- PrintServer Printers PostScript Level 2 Programmer's Supplement
- PostScript Translator's Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010 /4014

D.5 日本語 ULTRIX PrintServer クライアント・ユーザーズ・ガイド

日本語 ULTRIX ドキュメンテイション・キット (オーダー番号:NA–VWGJA–*Z) に含まれています。

索引

?54 エラー 8–1
?56 エラー 8–1
?57 エラー 8–1
1501.0001 エラー 8–1
face-83PV-RKSJ-H. ファイル B–16
face-83PV-SUPPB-H. ファイル B–17
face-83PV-SUPPA-H. ファイル B–17
face-83PV-SUPPB_BDY. ファイル B–17
face-83PV-SUPPA_BDY. ファイル B–17

A

Aborted service requests メッセージ
問題解決 8–9
Abort コマンド 6–16
Accept コマンド 6–16
Accounting コマンド 5–8
face-ADD-H. ファイル B–16
ADD-JIS12-88-CFENCODING. ファイル B–11
face-ADD-RKSJ-H. ファイル B–16
face-ADD-RKSJ-V. ファイル B–16
ADD-SJ-B-CFENCODING. ファイル B–11
ADD-SJ12-88-CFENCODING. ファイル B–11
face-ADD-SUPPA-H. ファイル B–17
face-ADD-SUPPA-V. ファイル B–17
face-ADD-SUPPA_BDY. ファイル B–17
face-ADD-SUPPB-HV. ファイル B–17
face-ADD-SUPPB_BDY. ファイル B–17
face-ADD-V. ファイル B–16
face-ADD_BDY. ファイル B–17
Allowdn コマンド 5–10
Allowip コマンド 5–11
face$$ALPHABETIC. ファイル B–13
face$$ALPHABETIC_COD. ファイル B–14
face$$ALPHABETIC_CSA. ファイル B–14
face$$ALPHANUM. ファイル B–13
face$$ALPHANUM_COD. ファイル . . . B–14
face$$ALPHANUM_CSA. ファイル . . . B–14

B

*face*_BDY. ファイル B–17
BOOTP 4–1
BOOT コマンド 4–6

C

-C オプション 8–13
CD-ROM 1–4
CHARMAP. ファイル B–12
CHECKDISK. ファイル B–11
Configuration オプション 8–13
Configuration コマンド . . 6–12, 8–11, 8–15
Continuous コマンド 6–16
CONVERT/SHARE コマンド 8–16
COPYDISK. ファイル B–11
COPYDISK2. ファイル B–11

D

DDIF2 値イメージ 3–12
DECnet Phase IV 1–5
問題解決 3–9
DECnet Phase V 1–5, 3–2
問題解決 8–4

DECnet アクセスの制限 3–13
DECnet アドレス 3–6
DECnet ノード名 3–5
DECwindows Motif for OpenVMS 1–5
Denydn コマンド 5–10
Denyip コマンド 5–11
face$$DINGBATS. ファイル B–13
face$$DINGBATS_COD. ファイル B–14
face$$DINGBATS_CSA. ファイル B–14
Duplex オペレータ 5–22

E

Ethernet ハードウェア・アドレス
決められているもの 3–7, 3–11
日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタ C–2
日本語 turbo PrintServer プリンタ C–1
face-EUC-H. ファイル B–16
face-EUC-V. ファイル B–16
EUC12-88-CFENCODING. ファイル B–11
face-EUC_BDY. ファイル B–17
EUCCHARSTRINGS. ファイル B–12
EUCENCODING. ファイル B–11
Exit コマンド 6–12, 6–16
face-EXT-H. ファイル B–16
EXT-JIS12-88-CFENCODING. ファイル B–11
face-EXT-RKSJ-H. ファイル B–16
face-EXT-RKSJ-V. ファイル B–16
EXT-SJ-A-CFENCODING. ファイル B–11
EXT-SJ12-88-CFENCODING. ファイル B–11
face-EXT-SUPPA-H. ファイル B–17
face-EXT-SUPPA-V. ファイル B–17
face-EXT-SUPPA_BDY. ファイル B–17
face-EXT-SUPPB-HV. ファイル B–17
face-EXT-SUPPB_BDY. ファイル B–17
face-EXT-V. ファイル B–16
face-EXT_BDY. ファイル B–17

F

FILEUTILS. ファイル B–11
FILEUTILS2. ファイル B–11

G

Gateway コマンド 5–11
GENERIC$$FULLWIDTH. ファイル B–13
GENERIC$$FULLWIDTH_COD. ファイル B–13
GENERIC$$FULLWIDTH_CSA. ファイル B–13
GENERIC$$HALFWIDTH. ファイル B–13
GENERIC$$HALFWIDTH_COD. ファイル B–13
GENERIC$$HALFWIDTH_CSA. ファイル B–14

H

face-H. ファイル B–16
HANKAKUCHARSTRINGS. ファイル B–12
HANKAKUENCODING. ファイル . . . B–11
face.HANKAKU ファイル B–15
HIRAGANACHARSTRINGS. ファイル B–12
HIRAGANAENCODING. ファイル . . . B–11
face.HIRAGANA ファイル B–15
face$$HKANA. ファイル B–13
face$$HKANA_COD. ファイル B–14
face$$HKANA_CSA. ファイル B–14
face$$HROMAN. ファイル B–13
HROMAN2CHARSTRINGS. ファイル B–12
HROMAN83PV2CHARSTRINGS. ファイル B–12
HROMAN83PVCHARSTRINGS. ファイル B–12
HROMAN83PVENCODING. ファイル B–11

face$$HROMAN_COD. ファイル B–14
face$$HROMAN_CSA. ファイル B–14
HROMANCHARSTRINGS. ファイル B–12
HROMANENCODING. ファイル B–11

I

InputAttributes オペレータ 5–22
InstallSpecialImageActive オペレータ 5–22
Internet アクセス 3–14
　の制限 3–15
Internet アドレス 3–14
Internet ゲートウェイ・ノード・アドレス 3–15
Internet サブネット・マスク 3–15
Ipaddress コマンド 5–10
ISOLATIN1ENCODING. ファイル . . . B–11

J

face-JIS.ZM_23 ファイル B–15
face-JIS.ZM_29 ファイル B–15
face-JIS.ZM_2E ファイル B–15
JIS12-88-CFENCODING. ファイル . . . B–12
face$$JIS83-1KANJI. ファイル B–13
face$$JIS83-1KANJI_COD. ファイル B–14
face$$JIS83-1KANJI_CSA. ファイル B–14
face$$JIS83-2. ファイル B–13
face$$JIS83-2_COD. ファイル B–14
face$$JIS83-2_CSA. ファイル B–14
JISCHARSTRINGS. ファイル B–12
JISENCODING. ファイル B–12
Jobs コマンド 6–13
JobTimeout オペレータ 5–22

K

face$$KANA. ファイル B–13
face$$KANA_COD. ファイル B–14
face$$KANA_CSA. ファイル B–14
face$$KANJISUPP. ファイル B–13
face$$KANJISUPP_COD. ファイル . . . B–14
face$$KANJISUPP_CSA. ファイル . . . B–14
KATAKANACHARSTRINGS. ファイル B–12
KATAKANAENCODING. ファイル . . . B–12
face.KATAKANA ファイル B–15
KPS_PRINTSERVER.SYS ファイル . . B–3
KPS_PRINTSERVER40.SYS ファイル 4–6, B–3

L

Language コマンド 5–9
LEVEL1. ファイル B–11
LEVEL2. ファイル B–11
LOADDISK. ファイル B–11
Logging コマンド 5–8
LPS$ACCTREPORT.EXE ファイル . . . B–3
LPS$ADD_NETSETUP.COM ファイル B–1
LPS$ADD_PRINTSERVER.COM ファイル 3–1, B–1
　起動 3–5
　実行 3–9
　ヘルプの起動 3–5
　問題解決 8–5
LPS$CONFIG.COM ファイル B–1
LPS$CONSOLE.EXE ファイル B–3
LPS$DELETE_OLD_LPS.COM ファイル B–2
LPS$FONTKEY 3–20
LPS$FONTKEY.EXE ファイル B–3
LPS$OPTIONS.COM ファイル 8–13, B–1
LPS$PRISM.EXE ファイル B–3
LPS$PRISM.UID ファイル B–3
LPS$ROOT 論理名 1–6, 3–24
　確認 8–2
　定義 8–2
LPS$SERVER アカウント 1–7
LPS$SERVICES.EXE ファイル . . . B–1, B–3
LPS$SERVICES プロセス 8–14

LPS$START_DAEMON.COM ファイル 3–24, 8–14, 8–16, B–1, B–3
LPS$STARTUP_SERVICES.COM ファイル 3–24, 3–25, 8–13, B–1
LPS$STOP_DAEMON.COM ファイル 3–24, 8–16, B–2
LPS$SUPPORT 論理名 1–6, 3–24
定義 8–2
確認 8–2
LPS$UPGRADE_PRINTSERVER.COM ファイル B–1
LPS$XCONSOLE.EXE ファイル B–3
LPS$XCONSOLE.UID ファイル B–3
LPS$NETSETUP.COM ファイル 3–8, 8–5, B–1
LPS$NEWFILE.EXE ファイル B–4
LPS_ANSI_PROLOGUE.PS ファイル B–7
LPS_CN1_PANEL.*language* ファイル B–5
LPS_*command_name*.S ファイル B–8
LPS_DECKANJI_PROLOGUE.PS ファイル B–7
LPS_DMA.EXE ファイル B–4
LPS_DMA_LEV1.EXE ファイル B–4
LPS_IMAGE.EXE ファイル B–4
LPS_KFONTS.EXE ファイル B–4
LPS_KPS.EXE ファイル B–4
LPS_KPS17.EXE ファイル B–4
LPS_KPS40.EXE ファイル B–4
LPS_KPS_LEV1.EXE ファイル B–4
LPS_LNVDRIVER.EXE ファイル B–4
LPS_PANEL.*language* ファイル B–4
LPS_PCLFONTSAMPLE.PS ファイル B–7
LPS_PCSI.EXE ファイル B–6
LPS_PRINTING_REF_CARD.PS ファイル B–7
LPS_PRINTSERVER.SYS ファイル . . . 4–4, B–3
LPS_PRINTSERVER17.SYS ファイル 4–2, B–3
LPS_QLTY.PS ファイル B–7
LPS_QLTY_600.PS ファイル B–7
LPS_SETINPUTTRA. ファイル B–2
LPS_SETOUTPUTTR. ファイル B–2
LPS_SNMPD.EXE ファイル B–6
LPS_STARTPAGE.PS ファイル B–7
LPS_STATUSDICT.PS ファイル B–7
LPSACCT.*printer-node-name* ファイル 5–3, B–9
LPSCONFIG.*printer-node-name* ファイル 3–9, 5–3, 5–5, 8–15, B–9
LPSDEFAULTS.*printer-node-name* ファイル 5–3, 5–13, 5–22, 8–17, B–9
LPSJ051.RELEASE_NOTES ファイル B–2
LPSLOG.*printer-node-name* ファイル 5–3, 8–18, B–9
LPSNETSETUP.DAT ファイル . . . 3–8, B–9
LPSOPTIONS.*printer-node-name* ファイル 5–2, 5–4, B–1, B–9
LPSPCLDEFAUTLS.*printer-node-name* ファイル 5–3, 8–17, B–10
LPSRESOURCES.*printer-node-name* ファイル 5–3, 5–26, 8–17, B–10
LPSSERVICES_ERROR.*printer-node-name* ファイル 8–16
LPSSERVICES_OUTPUT.*printer-node-name* ファイル 8–17
LPSSETUP.*printer-node-name* ファイル 5–3, 5–28, 8–17, B–10
LPSSYSPARAMS.*printer-node-name* ファイル 5–3, 5–22, 8–17, B–10

M

Maintenance Operation Protocol 4–1
MAXSYSGROUP パラメータ 1–7
MERGEKEYS. ファイル B–11
MERGEKEYS2. ファイル B–11
MINCHO-PC-HIRAGANA. ファイル B–16
MINCHO-PC-KATAKANA. ファイル B–16
MnualFeedTimeout オペレータ 5–22
MOP 4–1
確認 8–4
起動 8–4

MOP (続き)
チェック 3–2

N

NCL SHOW MOP コマンド 3–2, 8–4
NCL コマンド 3–9, 8–4
NCP CLEAR NODE コマンド 8–11
NCP DEFINE コマンド 8–3
NCP PURGE NODE コマンド 8–11
NCP SET CIRCUIT コマンド 3–9, 8–6
NCP SET LOGGING MONITOR コマンド 8–7
NCP SET コマンド 8–3
NCP SHOW CIRCUIT コマンド . . 3–9, 8–6
NCP SHOW NODE コマンド 8–4
NCP TELL コマンド 8–10
NCP データベース
確認 8–4, 8–5
Netstat コマンド 6–13
Newfile コマンド 6–17, 8–16
Next コマンド 6–17
NOMINALJISENCODING. ファイル B–12
NOTDEFENCODING. ファイル B–12
NOTDEFFONT. ファイル B–14
face-NWP-H. ファイル B–16
NWP-JIS12-88-CFENCODING. ファイル B–12
face-NWP-V. ファイル B–16
face-NWP_BDY. ファイル B–17

O

OPCOM 8–7, 8–8
メッセージ 8–8, 8–9
face.OUBUN-ADD ファイル B–15
face.OUBUN ファイル B–15
OutputType オペレータ 5–22

P

Password コマンド 5–8
PCCENTURY-BOLD. ファイル B–15
PCCENTURYOLDSTYLE-REGULAR. ファイル B–15
PCHELVETICA-BOLD. ファイル B–15
PCHELVETICA. ファイル B–14
PCHELVETICANEUE-MEDIUM. ファイル B–15
PCHIRAKATACHARSTRINGS. ファイル B–12
PCHIRAKATAENCODING. ファイル B–12
PCJUN101-LIGHT. ファイル B–15
PCL サンプル・ファイル 5–26
PCL デフォルト・ファイル 5–3, B–10
の変更 5–24
編集 5–25
PCL パラメータ 5–24
PCL フォント・サンプル・ファイル . . . B–7
PCSYMCHARSTRINGS. ファイル . . . B–13
PCSYMENCODING. ファイル B–12
PCTIMES-ROMAN. ファイル B–15
Permissions コマンド 6–13
PGFINIT. ファイル B–10
PGFKEYS. ファイル B–10
PrinterName オペレータ 5–22
Printername コマンド 5–8
PrintServer プリンタ
DECnet アドレス 3–6
言語の選択 3–11
サポーティング・ホスト・ディストリビューション・メディア 1–4
のタイプ 3–5
ノード名 3–5
PRISM (Printer Status Manager) 6–1
PRISM
起動 6–2
プリンタの登録 6–2
privs コマンド 6–15
ps-error-trace コマンド 5–8
PS_SUPPLEMENT.PS ファイル B–7

Q

Quit コマンド 6–12, 6–16

R

Reboot コマンド 6–19
Reconfigure コマンド 6–17
Reject コマンド 6–18
Repeat コマンド 6–18
REPLY/ENABLE コマンド 8–8
face-RKSJ-H. ファイル B–16
face-RKSJ-USERGAIJI. ファイル B–16
face-RKSJ-V. ファイル B–16
face.ROMAN83PV ファイル B–15
face.ROMAN ファイル B–15
RYUMIN-LIGHT-EXT.HIRAGANA ファイル B–15
RYUMIN-LIGHT-EXT.KATAKANA ファイル B–15

S

setdefaultDECimage オペレータ 5–22
setdefaultduplexmode オペレータ 5–22
setdefaultjobtimeout オペレータ 5–22
setdefaultoutputpositioning オペレータ 5–22
setdefaultoutputtray オペレータ 5–22
setdefaultpagetimeout オペレータ 5–22
setdefaultpapertray オペレータ 5–22
setprintername オペレータ 5–22
SHOW_PSLEV1_DEFAULTS.PS ファイル B–7
SHOW LOGGING MONITOR コマンド 8–6
Showq コマンド 6–13
SHOW SYSTEM コマンド 8–7, 8–14, 8–16
Single コマンド 6–19
SJ-A-CFENCODING. ファイル B–12
SJ-B-CFENCODING. ファイル B–12
face-SJ.ZM_82V ファイル B–15
face-SJ.ZM_82 ファイル B–15
face-SJ.ZM_85 ファイル B–15
SJ12-88-CFENCODING. ファイル . . . B–12
SJCHARSTRINGS. ファイル B–13
SJENCODING. ファイル B–12
STANDARDENCODING. ファイル . . . B–12
START. ファイル B–10
Status コマンド 6–14
face-SUPPA-H. ファイル B–17
face-SUPPA-V. ファイル B–17
face-SUPPA_BDY. ファイル B–17
face-SUPPB-HV. ファイル B–17
face-SUPPB_BDY. ファイル B–17
face.SUPPK ファイル B–15
su コマンド 6–15
SYS$STARTUP:SYSTARTUP_V5.COM ファイル
  編集 3–26
SYSGEN 1–7
SYSTARTUP_V5.COM ファイル
  編集 3–25
SYSTARTUP_VMS.COM ファイル . . . 3–25
System Generation ユーティリティ (SYSGEN) 1–7
SYSUAF 1–6

T

TK50 カートリッジ 1–4
TraySwitch オペレータ 5–22

U

ULTRIX ノード
  プリント・ジョブの受け付け 3–14
UNIX ノード
  プリント・ジョブの受け付け 3–14

V

face-V. ファイル B–16
Variant kanji コマンド 5–9
VERSION. ファイル B–11
Versions コマンド 6–15
VMSINSTAL プロシージャ
  エラー・メッセージ 2–10

VMSINSTAL プロシージャ (続き)
の会話型インストレーション 2–1

W

Waiting for configuration メッセージ 8–15
face.WP-SYMBOL ファイル B–15

ア

アカウンティング
Reliable 3–12
機能 3–11, 7–1
アカウンティング情報 7–2
起動 7–2
構成ファイルの設定 7–1
ジョブが強制終了したとき 7–3
マネージメント・クライアントの設定 7–1
ユーティリティ 7–2
アクセスの制限 3–13, 3–15
アップグレード
制限事項 3–23, 8–15

イ

イベント・ロギング機能 3–12, 8–17
イベント・ログ・ファイル 8–16
イメージ・インタプリタ 3–12
インストレーションで追加されるファイル B–1
インストレーションの種類 1–1
インストレーションの必要条件 . . . 1–4, 1–6
Ethernet ハードウェア・アドレス . . . 3–7
PrintServer の DECnet アドレス 3–6
PrintServer ノード名 3–5
サービス・サーキット 3–6
時間 1–2
システム・ディスクのバックアップ 1–7
システム特権 1–2
ソフトウェア 1–4
ディスク空間 1–3
特権 1–2
インストレーションの必要条件 (続き)
ハードウェア 1–3, 1–4
インストレーション・プロシージャ 2–1
新しいファイル B–1
サンプル・セッション A–1

エ

エラー・メッセージ
VMSINSTAL プロシージャ 2–10
エリア番号 3–6

オ

オプショナル・フォント・インストレーション 1–1
オプション・ファイル
マネージメント・クライアント 5–4
オペレータ・パネル
言語 3–11
言語ファイル B–4
ファームウェアのバージョン番号 4–2

カ

会話型インストレーション 2–1
関連製品 xii

キ

強制終了されたサービス 8–7

ケ

継続モード 6–14
ゲートウェイ・アドレス 3–15
言語の選択 3–11

コ

構成サービス 5–1, 5–2, 8–13
チェック 8–13
構成ファイル 5–3, 5–5
Accounting コマンド 5–8
Allowdn コマンド 5–10

構成ファイル (続き)
Allowip コマンド 5–11
Denydn コマンド 5–10
Denyip コマンド 5–11
Gateway コマンド 5–11
Ipaddress コマンド 5–10
Language コマンド 5–9
Logging コマンド 5–8
Password コマンド 5–8
Printername コマンド 5–8
ps-error-trace コマンド 5–8
Variant kanji コマンド 5–9
の変更 5–12
の例 5–6
パスワード 5–12
コンソール・クライアント 6–1
Abort コマンド 6–16
Accept コマンド 6–16
Configuration コマンド 6–12
Continuous コマンド 6–16
Exit コマンド 6–12, 6–16
HELP 6–8
Jobs コマンド 6–13
Netstat コマンド 6–13
Newfile コマンド 6–17
Next コマンド 6–17
Permissions コマンド 6–13
Quit コマンド 6–12, 6–16
Reboot コマンド 6–19
Reconfigure コマンド 6–17
Reject コマンド 6–18
Repeat コマンド 6–18
Showq コマンド 6–13
Single コマンド 6–19
Status コマンド 6–14
Versions コマンド 6–15
コマンド 6–10
特権コマンド 6–15
非特権コマンド 6–12
コントローラ・ファームウェアのバージョン番号
日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4

サ

サービス・サーキット 3–6, 8–5
確認 3–9
有効にする操作 3–8
サポーティング・ホスト
サービス・サーキット 3–6
ソフトウェア・セーブ・セット 1–5
ディストリビューション・メディア 1–4
複数のサポーティング・ホストの構成 3–26
論理名の設定 3–24

シ

実行可能ファイル B–3
システム・スタートアップ・ファイル 8–13
VAXcluster ノード 3–26
スタンドアロン・システム 3–25
編集 3–24, 3–25, 3–26
システム・パラメータ・ファイル 5–3
編集 5–23
システム・ファイル
日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタ 4–6
日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4
自動ライン・サービス 8–7
情報ファイル B–2
シングル・モード 6–14

ス

スタートアップ・ファイル
VAXcluster ノード 3–26
エラー 3–26
スタンドアロン・システム 3–25
編集 3–25
スタートアップ・ページ 4–3, 4–5
ファイル 4–3, 4–5, B–7

セ

セカンダリ・ブート・プロセス
エラー 8–1
日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–3
日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタ 4–6
日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4
問題解決 8–1, 8–12
セットアップ・ファイル 4–3, 4–5, 5–3, 5–28, B–1

タ

大容量給紙トレイ・ファームウェアのバージョン番号
日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4

テ

ディスクのバックアップ 1–7
テキスト・トランスレータ 5–26
テスト・パターン B–7
デタッチド・プロセス 5–2
データ・ファイル B–9
デバイス時間切れ 8–9
デフォルト・ファイル 4–3, 4–5, 5–3, 5–13, B–1
の例 5–14, 5–18
変更 5–21
編集 5–23

ニ

日本語 OpenVMS Alpha 1–4
システム・スタートアップ・ファイル 3–25
日本語 OpenVMS VAX 1–4
システム・スタートアップ・ファイル 3–25
日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 1–4
ブート 4–1
フロント・パネル言語ファイル B–5
日本語 PrintServer 32 plus プリンタ . . . 1–4
日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタ
フロント・パネル言語ファイル B–4
日本語 PrintServer 40 Plus プリンタ
Ethernet ハードウェア・アドレス . . C–2
ブート 4–6
日本語 PrintServer 40 プリンタ
ブート 4–6
日本語 turbo PrintServer プリンタ
Ethernet ハードウェア・アドレス . . C–1
のブート 4–3
フロント・パネル言語ファイル B–4
日本語フォント V3.0 . . . . . B–10
PG フォント・サポート・ファイル B–13
PG フォント・ファイル B–13
エンコーディング・ファイル B–11
キャラクタストリング・ファイル . . . B–12
コンポジット・フォント B–15
コンポジット・フォント・サポート・ファイル B–16
システム・ファイル B–10
ファイル・システム・サポート・ファイル B–10
ベースフォント・ファイル B–14
ユーザ・ファイル B–10

ネ

ネットワーク・イベント 8–6, 8–7
監視 8–2
ネットワーク構成
確認 8–9
問題解決 8–2
ネットワーク・デバイス 8–11
ネットワーク・ブリッジ 8–9
ネットワーク要求
フィルタリング 8–9
ネットワーク・ルータ 8–9

ノ

ノード番号 3–6

ハ

パスワード 3–10
ハードウェア・アドレス
  Ethernet ハードウェア・アドレス . . . 3–7
  日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
  日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
  日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4
ハードウェア接続 8–11

ヒ

必要なディスク空間 1–3
必要なソフトウェア 1–4
必要なハードウェア 1–3
必要なメモリ
  日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 1–4
  日本語 PrintServer 32 plus プリンタ 1–4
ビデオ・ドライバ・ファイル B–6
表記法 xiii

フ

ファイル B–10
ファームウェア・バージョン番号
  日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
  日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
  日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4
フォント・フォルティング 5–1
ブート 5–1
  スクリーン・ディスプレイ 4–1
  の操作方法 4–1
ブート・サービスの禁止 8–11
ブート・プロシージャ 4–1
  日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–1
ブート・プロシージャ (続き)
  日本語 turbo PrintServer 4–3
  日本語 PrintServer 40 Plus 4–6
  日本語 PrintServer 40 4–6
ブート・プロセス
  問題の分析 8–2
ブート・プロトコル
  選択 4–3
ブート要求 8–11
  確認 8–3
  除外される 8–9
プライマリ・システム・イメージ・ファイル B–3
プライマリ・ブート
  エラー・メッセージ 8–10
  確認 8–9
  失敗 8–2
  状態の確認 8–10
プライマリ・ブート・プロセス
  エラー 8–1
  日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
  日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
  日本語 PrintServer 40 シリーズ・プリンタ 4–6
  日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4
  問題解決 8–1
プリンタ・ドライバ・ファイル B–6
プリンティング・リファレンス・カード B–7
プリント・エンジン・ファームウェアのバージョン番号
  日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
  日本語 PrintServer 32 プリンタ 4–4
  日本語 turbo PrintServer プリンタ . . 4–4
プリント・キューの設定 8–20
フル・インストレーション 1–1
フロント・パネル言語 3–11
  ファイル
    日本語 PrintServer 17/600 プリンタ B–5
    日本語 PrintServer 32 シリーズ・プリンタ B–4

フロント・パネル言語
ファイル (続き)
日本語 turbo PrintServer プリンタ B–4
フロント・パネル・ファームウェアのバージョン番号
日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2

ヘ

ページ・カウント
日本語 PrintServer 17/600 プリンタ 4–2
ベース・インストレーション 1–1
ヘルプ・ファイル B–8

ホ

ポストスクリプト・オペレータ 5–22
ポストスクリプト拡張エミュレーション・ファイル B–7
ポストスクリプト・ファイル B–7
ポストスクリプト・レベル 1 イメージ・ファイル B–4
ポストスクリプト・レベル 1 デフォルト・ファイル B–7
ポストスクリプト・レベル 2 イメージ・ファイル B–4
ポストスクリプト・レベル 2 デフォルト・ファイル B–7

マ

マネージメント・クライアント . . 5–1, 8–16
エラー 3–23, 3–26, 8–15
オプション 5–2
アカウンティング (-A) 5–3
構成サービス (-C) 5–2
ノード名 (-N) 5–2
ログ (-L) 5–3
起動 3–24, 8–14
クラスタでの起動 3–26
構成サービスを有効にする 8–13
自動起動 3–26, 8–13
マネージメント・クライアント (続き)
状態の確認 8–15
ステータスのチェック 8–17
停止 3–23, 8–15
メッセージ 8–17
問題解決 8–12

メ

メッセージ
重大度レベル 2–11
説明 . . . . . 2–11 ~ 2–14

モ

問題解決の手順
ブート・プロセス 8–2
プリンタの Idle 状態 8–18
プリンタのクラッシュ 8–18
プリンタのブート 8–18
問題の判断と報告 4–6

ユ

ユーザ識別コード (UIC) 1–7
ユーティリティ・ファイル B–1

リ

リソース・ファイル 4–3, 4–5, 5–3
リソース・ローディング・ファイル . . 5–26, B–1, B–10
格納場所 5–28
の変更 5–27
リモート・コンソール機能 8–11, B–3
画面 6–7
起動 8–14
ヘルプ・ファイル B–8
リモート・コンソール機能ヘルプ・ページ B–8
リモート・コンソール・クライアント . . . 6–1
起動 6–5
リリース・ノート 1–6

ロ

ロード完了メッセージ 8–17
論理名 B–3
　確認 8–2

日本語 PrintServer Software for OpenVMS
インストレーション・ガイド

1996 年 2 月　発行

日本ディジタル イクイップメント株式会社

〒 167 東京都杉並区上荻 1-2-1

電話　(03)5349-7111 (大代表)

AA–PM1UC–TE